

小中学校再編計画(原案)説明会 アンケート(質問と意見)について

1 アンケートの調査の概要	1
1.1 小中学校再編計画説明会の開催	1
1.2 アンケートの回収状況	1
2 自由意見(質問と意見)	2
2.1 自由意見の総括	2
2.2 自由意見	4

令和7年8月
桑名市

I アンケートの調査の概要

1.1 小中学校再編計画説明会の開催

小中学校再編計画原案について地域の皆様からご意見等をお聞かせいただく場として、小中学校再編計画説明会を下記日程で開催しました。

表 小中学校再編計画説明会の開催日程

	学区	日程	場所
1.	光風学区	5月31日（土曜日） 10時00分～11時30分	くわなメディアライヴ 多目的ホール
2.	成徳学区	5月31日（土曜日） 13時30分～15時00分	くわなメディアライヴ 多目的ホール
3.	陽和学区	6月1日（日曜日） 10時00分～11時30分	くわなメディアライヴ 多目的ホール
4.	明正学区	6月1日（日曜日） 13時30分～15時00分	くわなメディアライヴ 多目的ホール
5.	光陵学区	6月7日（土曜日） 10時00分～11時30分	大山田まちづくり拠点施設 （大山田複合施設）2階会議室
6.	陵成学区	6月7日（土曜日） 13時30分～15時00分	大山田まちづくり拠点施設 （大山田複合施設）2階会議室
7.	長島学区	6月8日（日曜日） 9時00分～10時30分	長島防災コミュニティセンター
8.	正和学区	6月8日（日曜日） 14時00分～15時30分	正和中学校体育館

1.2 アンケートの回収状況

小中学校再編計画説明会会場のほか、動画配信を用いた説明資料の提供を実施し、アンケートを行った結果、下記の回答数となりました。

内容	実施期間	回答数
WEB アンケート（動画）	R7.05.20～07.11	44 票
WEB アンケート（説明会）	R7.05.31～07.11	114 票
WEB 自由意見	R7.05.20～07.11	28 票
説明会（光風・成徳）	R7.05.31	140 票
説明会（陽和・明正）	R7.06.01	120 票
説明会（光陵・陵成）	R7.06.07	63 票
説明会（長島・正和）	R7.06.08	38 票
合計		547 票

※WEB 自由意見については

「会場での質疑時間中にご発言いただけなかった、再編計画(原案)に関するご意見等がありましたら、以下に自由にご記入ください。」で得られた自由意見の内容のみを転記しています。

2 自由意見（質問と意見）

2.1 自由意見の総括

自由意見としていただいた内容を① 再編計画、② 学校教育、③ 通学路・スクールバス、④ 地域コミュニティ・跡地利用、⑤ その他に区分し、質問と意見として整理しました。

1) 再編計画について

学校再編を進める時期や期間、順序、財源、通学距離、学校規模などに対する質問をいただいています。

意見としては、学校施設の老朽化や分散進学の問題への対応は必要としつつも、小中一貫校の教育効果や再編計画の進め方、財政負担、地域性への配慮などに対する不安や疑問をいただいています。

また、年度によっては光風小中一貫校の児童生徒数が多い中で通学距離が長くなる場合もあり、教育環境や安全面、地域性への配慮が必要であるとして、学区の見直しや段階的な再編を求める意見もあります。

2) 学校教育について

小中一貫教育による学年の区切りや教員免許の問題、多人数教育による子どもへの影響、不登校・いじめへの懸念、支援体制の充実、進学や選択肢の保障などに対して不安や疑問が多く寄せられており、教育の質と子ども一人ひとりへの配慮のあり方などに対する質問をいただいています。

意見としては、少子化や施設老朽化による学校再編の必要性は理解されているものの、義務教育学校の一律導入や大規模校化による教育効果・安全性・教職員負担・地域性・子どもの発達段階への懸念を多くいただいています。

また、小学校同士の統合や施設分離型の小中一貫校にすべきという意見もあります。

3) 通学路・スクールバスについて

小中一貫校への再編により通学距離が長くなることに関する質問が多く寄せられており、スクールバスの導入・運行体制、安全な通学路の整備、費用負担の公平性、運転手の確保などに対する質問をいただいています。

意見としては、小中一貫校の再編に伴う通学距離の増加や交通環境の悪化により、特に低学年児童の安全面への不安が強く示されており、スクールバスの導入や通学路の整備など、具体的かつ十分な安全対策を求める意見をいただいています。

4) 地域コミュニティ・跡地利用について

学校の統廃合に伴い地域の避難所やコミュニティ拠点が失われることや、学校跡地の防災機能の継続、地域コミュニティの維持、跡地の具体的な利活用方針などに対する質問をいただいています。

意見としては、学校再編に伴う地域コミュニティの希薄化や防災拠点の喪失、今後の跡地利用に対する不安が示されており、教育だけでなく地域の安全・文化・つながりを守る視点からの意見をいただいています。

5) その他について

小中一貫校のモデル校である多度学園の検証や視察実績、合意形成の方法、説明会の継続、子どもへの意見聴取や計画の進め方などに対する質問をいただいています。

意見としては、教職員や保護者・子どもの声の反映、住民合意の形成と丁寧な情報共有・説明を求める意見や多度学園の成果や課題の検証が現在はされていない状態で、全市一斉に小中一貫校を進めることに対する意見もあります。

次ページ以降に自由意見としていただいた質問への回答などの一覧を示します。

2.2 自由意見

1) 質問と回答

(1) 再編計画について

自由意見（質問）	市の回答
三重県の教育方針と整合性は取れているのか？	桑名市立小中学校再編計画は、「くわなっ子教育ビジョン」を基本に策定をしており、整合性は取れています。桑名市教育振興基本計画「くわなっ子教育ビジョン」の位置付けは、文部科学省教育振興基本計画、学習指導要領、三重県教育ビジョン、桑名市教育大綱、桑名市総合計画を基にできています。
いつから再編を始めるのか。	本計画は市教育委員会が考える学校の将来構想であり、大枠をお示ししたものです。具体的にどこから学校再編が行われるか、何年かかるかも現時点では決定していません。多度学園では、一から検討を始めて10年、基本構想基本計画策定から6年かかっています。市では保護者、地域等のご理解ご協力を得ながら1年でも早く子どもたちにより良い教育環境を提供したいと考えており、そのためには、再編の要望をいただいた地域から進めていければと考えています。
いつから始まるのか。	
最初の学校は早くて令和何年度に開校か知りたい。	
廃校の発表だけあるがいつなのか明かしてほしい。老朽化が理由なのに、時期が決まっていないのは矛盾してませんか？	
どれぐらいの年数をかけて、実行していくのか？	
大山田東小はR13年で小学1年生の数が1/3になる予想ですが、早急に計画する必要があると思います。何年計画ですか？	
計画がスムーズに進んでいった場合、何年後に桑名市の全校の小中一貫が終わる予定なのか。	
桑部小学校に行く子供がいます。お姉ちゃんが通っていた小学校も中学校も閉校になるのはさみしいですし正和になるのも不安ですが、今から10年後まで変わらないのですね。中学校は2年後に閉校？小学校はいつまで？もっと詳しい内容を早急によりしくお願い致します。	
実際どこまで計画は進行しているのか？ 今年度中に光風学園は議会を通過するとの事ですが	
賛成案が決定した後の市内部におけるスケジュールはどのようなものか？	
再編が必要な優先順位付けは出来ているのか？	
いつから生徒は小中一貫に通うようになる予定ですか？具体的にスケジュールを知りたいです。	
老朽化が激しく、大地震が起きた際に児童生徒により危険がある地区から行うべきではないでしょうか？命が最優先だと思います。	
おそらく、財政的な理由も大きく、小中学校の再編は進んでいくと思うのですが、仮スケジュールをはやく教えていただきたいです。①どこから始めていくのか②最終的にすべての再編が完了するのはいつの予定なのか。	

自由意見（質問）	市の回答
望ましい教育人数にするために、徐々に学校の統廃合を行っていく予定なのでしょうか？その説明も合わせてお願いします。	(前掲)
「全体の対応をしないといけない」と言いながら、優先を求めるのは矛盾している。この全体像はいつ完成するつもりなのでしょうか？	
詳細を教えて欲しいです。場所、いつ建つのか。	
質問で再編の順番は要望に応じてとの返答があったが、自分の住んでいる地区は子供の数がすでに少ない。そうすると必然的に要望は少なくなるのではないかと？少なくなる子供のために再編する目的があるのにおかしいのではないかと？	現時点で、具体的にどこから学校再編が行われるのか、何年かかるのか、現時点では決定していません。多度学園では、一から検討を始めて10年、基本構想基本計画策定から6年かかっています。多度学園での進め方を踏まえた上、基本構想である小中学校再編計画を策定し、保護者、地域等のご理解ご協力を得ながら1年でも早く子どもたちにより良い教育環境を提供したいと考えており、このような形で進めております。地域からのご要望を重視しますが、重複した場合は減少数や老朽具合も考慮し、市で決定します。
早くやってほしいという声が全体の地区からあがった場合はどのような順番で決めるのか。早いもの順、手をあげた人順で進めるのはちがうのでは？	
再編計画資料のP7で、なぜこんなに少なくなるまでほっておいたのか？	市では、「桑名市人口減少対策パッケージ“14”万リバウンドプラン」として、人口減少に対し、生産年齢人口の「流入促進」「定着環境整備」「流出抑制」の3つのフェーズに応じたそれぞれの施策に取り組んでいます。
子供増やす事は出来ない？人、入れることは出来ないのか？	
子どもの減少による再編よりも、子どもを増やす事を考えるのが先ではないか？成徳地区は市街化調整区域多いが、それをなくせば住宅が増えるのでは？	
市として子どもを増やすのは諦めたのですか。	
深谷地区に住んでいると光風まで通うのが遠いから市内に引っ越す事も考える人もいます。そうすると深谷地区の人口がへってしまい各地域の住民数のバランスが悪くなると思います。対策とかあるんですか？	
新学校区割でR45年に600人を切る中学は統合したとありますが、45年にした理由は何でしょうか？児童生徒数が現在の半分になるからですか？（割合計算ですが、成徳中はわずかに600人に足りなそうでした）統合されるされない問題は大きい問題なので45年の根拠が知りたいです。	ご指摘の令和45年については、令和5年に実施した児童生徒数の推計結果において、令和5年時（1校最短で5年×多度を除く中学校8校）から40年後に焦点を置き、新しい学区割案を検討しています。
なぜ令和45年を的にしているのか？	
説明に使われる年代の根拠が知りたい。	
中学校だけくっつけたらどうか？	
なぜ小学校数を減らす。中学校数を減らすだけではいけないのか。	小中学校再編計画では中学校の統合は考えていません。

自由意見（質問）	市の回答
この先新しい住宅が増えていくことは、計算に入っているのか？	児童生徒数の推計を行った令和5年度に申請のあった大規模開発については、児童生徒数の推計に含めていますが、それ以降想定される都市開発や経済状況によって左右される不確定な要因については、推計の客観性、中立性の観点から含めていません。なお、今後の社会情勢の変化等により児童生徒数が増減し、推計に大幅なズレなどが生じた場合、再編計画の見直しを検討することを考えています。
人口が増えてきた場合どうするのか(移住など) 兄弟で学校が違うことになりうるのか。	
学校施設の老朽化や少子化による生徒数維持の困難さから、学校を再編しなければならないという考えは納得できます。しかし、新しい学校配置案ではあまりにも学校を集約しすぎているため R45 年の予想でも光風小中一貫校では千人を超える生徒数が予測されています。これは生徒数としては多すぎて子供たちへの悪影響が心配されます。小学生では一学年2クラス程度が理想とされているというアンケート結果に矛盾した形になります。また、光風地区周辺といえば現在宅地工事が盛んに行われている地域であり、今後、子育て世代の人口の増加が見込まれる地域でもあるためそもそも R45 年の予想がこれで正しいのかという点も疑問です。同じく、藤が丘小学校の周辺の地域でも大規模な宅地開発が実施されているため、ここでも子育て世代の人口の増加が見込まれるのではないのでしょうか？そのあたりのことも計画には考慮されているのでしょうか。	
小中一貫が完了してから児童数が増加した場合、どのような対策を考えているのか教えて欲しい。	市では「望ましい学校教育のあり方について」の答申に基づき、令和2年度から小中一貫教育に取り組んでいます。小中学校再編計画では小学校の統合は考えていませんが、具体的に再編が進む過程において個別に判断されていくものと考えています。
なぜ全体に統合？少ない学校だけでよいのでは？中学まで必要ない。	
なぜ小中一貫校にする必要があるのか、小学校の統合だけではいけないのか？	
児童数の減少も老朽化も認めます。が、小学校の統廃合で無く、なぜ一貫校なのでしょう。	
一気にくっつけるのではなく、大和・大成とか小学校を少しずつくっつけて学校の老朽化も見直して…の方が先ではないですか？	
小中一貫校にする前に小学校の再編を考えたことはなかったですか？	
小中一貫校にこだわる理由がわからない。学校の老朽化と子供の人数減少が問題なら、小学校の統合でもいいはずでは？	
小学校も小さい規模どうしなら、建てかえている間、となりの小さい学校に通うなどできないのか？	
分散進学で児童が心的不安になる人が多いのかどうか？	令和4年のアンケート結果では、通っている学校により差はありますが、同じ中学校に進学した方が良いと思う、概ねそう思うと回答した児童（小学5年生）の割合が5割以上となっています。
再編の必要性や方針は理解できました。学区割についてもう少し詳しい部分が知りたいのですが、前回の業務ではどこまで検討されているのでしょうか。閲覧可能な資料があるのであれば、情報提供してもらいたいです。これで学区割は決定ですか？	再編計画原案でお示ししている整備候補地や学校区割の検討資料は桑名市ホームページに掲載されています。また、本計画は現段階での学校の将来構想であり、大枠をお示ししたものです。今後の社会情勢の変化や児童生徒数の推計の変化により、見直すことがあります。

自由意見（質問）	市の回答
地区によってはすごく良い事で是非進めていただきたい事だと思いますが、地区によってはやはり登校が大変になることから、しなくても良いとも思いますが、桑名市として全て同じ様に9年生として考えなければならないのでしょうか。地区によっては違うと難しいことでしょうか。	市では令和2年より市内すべての学校において小中一貫教育を実施しています。現在は小学校と中学校が離れた施設分離型で小中一貫教育を実施していますが、今後、施設一体型小中一貫校にすることで、児童生徒が日常的に異学年交流をすることができ、多様な価値観に触れることが可能となり、また小学校・中学校の環境の違いが緩やかになる、教職員が子どもたちの様子や情報を共有する打合せ時間の確保など、現在、進めている小中一貫教育をより効果的に展開できる施設一体型小中一貫校への再編がこれからの時代に合ったより良い教育環境と考えることから、地区によって環境を変えることは考えていません。
分散進学については現時点で解決していこうと思わないのか。小学校も中学校も近くにありすぎだから、変更しやすいと思う。	本市は自治会ごとに学校の通学区区域が定められており、その中で別々の中学校へ進学している分散進学対象の小学校が6校あり、このことで学校と地域との連携に影響が生じています。分かれて進学することの子どもたちの不安をなくすためにも1年でも早く子どもたちにとってより良い教育環境を実現することを最大の目的として、小中学校の再編を行いたいと考えています。なお、通学区は自治会が決定しているものではございません。自治会ごとの説明会については、ご要望がありましたら調整し、意見交換等を行なってまいりたいと考えています。
分散進学について通う学校区について、変更がある時点で、改めて自治会単位で決め直した方がよいと考えます。自治会が決めていることに対して、小学校から中学校に上がる際に、分散進学をすることで心理的不安があるという考え方に矛盾があります。子どもの心理不安も踏まえて自治会が学校区を決めています。新しい学校区になることで、通学距離や環境が変わる為、自治会毎に考え方が変わる可能性があります。その為、自治会単位で説明会を開き、自治会単位でどの学校区に通うか、決め直した方がよいと考えます。自治会毎の説明会と学区を自治会単位で選定し直すことについてご検討いただけないでしょうか。	学校再編により学校規模が大きくなることによるデメリットについては、校区が広がることで保護者や教職員の負担に繋がる懸念はあります。また現状、学校はそれぞれの校区の皆様に支えていただいているため、地域組織の活動等の変更などの影響はあると考えられます。さらに、これまで小規模校で育ってきた子どもたちが統合後の学校に馴染めるかという点、この点については子どもたちもいくつかは大きな集団の中で生きていくことになるため、子どもたちに寄り添いながら、それぞれに対応する必要があると考えています。
デメリットの記載がない。デメリットに対してどの様に考え、どの様な対策するのか？	
デメリットも教えてほしい。それらのデメリットの対処法まで。他の地域で失敗した事例は無いのでしょうか？	
再編後他の学校の方が近いが学校を自由に選べるのか？	お住まいの地区毎に指定された学校に通っていただくことになります。

自由意見（質問）	市の回答
小中一貫となった場合、配置される教員の小学校部・中学校部の人数の増減を知りたい。 多様性を認め合う人間を育てる目的が一つあるが、支援級への充実はどの程度検討を進めているのか。その分支援員などの専門教員をどの程度配置できるか考えてほしい。	各学校に配置される教職員数は学級数に応じてなど、「教職員定数の標準に関する法律」に基づき配置されます。現時点でどこから学校再編が進められていくか、何年かかるかも決定していませんので、お示しすることができません。なお、学習支援員等の配置については学校再編を進めていく過程の中で検討、協議されていくものと考えています。
小中一貫校の校長は誰がやるのか？小学校、中学校の教員を共に経験したものがやるのか？最大 2200 人の生徒に問題が起きた場合、本当に対応できるのか？ 義務教育学校 1 校につき校長先生一人だけで本当に大丈夫なのでしょうか。 1 人の校長によるメリットに触れられているが、実際に可能なのか、教員や校長への負荷はどのような予想がされているのかもデメリット（精神的な負担 etc）も知りたい。 望ましい学校規模について 資料では、義務教育学校の学級数は「18～27 学級」が標準とされています。学校再編の基本方針では令和 45 年時点での児童・生徒数を基準としていますが、それまでの期間の児童・生徒数については考慮しないのでしょうか？午後の説明会では、計画を進める時期について「要望がある地区は出来るだけ早く取り組んでいきたい」と答えていましたが、仮に計画が順調に進み R25 年度に義務教育学校が開校したとすると、児童・生徒数が 600～1000 人規模の校区は 6 校区中 3 校区にとどまり、他の 3 校区は国の標準とされている基準を大きく上回る規模になります。特に光風地区では 1721 人・学級数も 45 前後となり、文部科学省の学校統合時の条件緩和である「24～36 学級まで」とされている数をも大きく逸脱します。国が基準を定めるのも根拠があるはずで、大きく逸脱する規模の学校に通う子どもたちの環境は果たして「良い教育環境」といえるのでしょうか？令和 45 年度の児童生徒数ばかりを重視して、それまでに通う子どもたちには窮屈な環境で我慢させるというような事態になることは避けていただきたいと思います。市の考えをお聞きしたいです。 光風学区は大きすぎます。適切な人数 1000 人になるまで延期してください。ガイドラインにある 600-1000 人という、適切な規模の学区から検討してください。なぜそれを無視した日本一の規模になるのですか？学区を考えて、自宅を買いました。5-6 年先の子供の未来を、いきなりひっくり返さないでください。合意を得た基準は、何で判断するのか曖昧です。何をもって合意と判断されるのか知らせてください。 目的が理解できない。なぜ小中を一体化して、日本最大の生徒数にするのか。駅前には修徳、精義、立教を一つにするくらいで良いのではないのか。桑名市に日本最大規模の学校を管理する能力・自信はあるのか。 1000 人を超える生徒数になった時、子どもたち一人ひとりに先生方は配慮できますか？現在、とても配慮していただいています。そのおかげで学校の雰囲気もとても良く、子どもも毎日楽しく通っています。この学校で良かったと親子共に感謝しています。	再編計画原案の学校区割は、子どもたちのことを最優先に考え、様々なパターンを検討した結果です。現時点でどこから学校再編が進められていくか、何年かかるかも決定していません。仮に学校再編を進める過程において、望ましい学校規模とならない場合には、校舎の建て方や運営方法など、教育活動に支障がないような工夫をし、対応いたします。

自由意見（質問）	市の回答
光風はマンモスになりすぎる。どの様に考えるか？	(前掲)
学校配置案に関して、R45 年度時点では適性人数になっているのかもしれないが R13 年度は約 2200 人（光風）という生徒数を見ると、マンモス校すぎて保護者としては心配。教職員の目が行き届くのか？	
義務教育学校の規模感は妥当でしょうか。（1000 人越えは適正規模でしょうか）	
望ましい教育環境について 1 校あたりと 1 学年あたりの望ましい人数に対して、それを越えている学校や、倍以上の学校が R45 年時点でもある理由を教えてください。	
正和中が後からできたのになぜ明正がなくなるのですか？	学校区割を検討するにあたっての基本条件として、中学校区を基本とすること、そして 9 つの中学校区から、多度地区と地理的条件から長島地区は単独で再編を行うこととし、7 つの中学校区から学校区割案の検討を始めました。整備候補地、学校区割の原案を検討する過程において、明正中学校地は周囲を住宅や工場に囲まれており、施設一体型小中一貫校を整備する面積を確保することが困難なことから整備候補地として選定していません。
区割に納得がいかず、光風が多い。敷地規模の問題かもしれないが深谷、大和は陵成でいいのでは？	再編することによる児童生徒への影響など、様々な検討・評価を行った結果の原案となります。ご意見としてお聞きします。
細かいことですが以下に追加します。深谷地区に住んでいるが建設予定の光風小中学よりも大山田の学校の方が近いので好きな方を選択することはできないか？	
初めてこの再編計画を新聞で見てびっくりしました。私自身は 2000 年在良小卒業ですが 88 中 11 人だけ正和中に行くメンバーの一人で、本当に辛かったのを覚えています。なので、分散進学がなくなるのは賛成です。今日初めてわかったことは、中学の敷地内に小学校を作って施設一体型にすることです。時代背景などで仕方がないことなのかなとも思います。とても自分勝手な意見ですが、在良小を正和中に通わせたくありません。子育ても在良学区でしている中で、とても長い時間をかけて在良全員が明正中に行けるようになりました。いじめ被害者の保護者たちががんばって変えてくれました。私自身、正和ではなく明正に行けていたら人生ちがっていただろうなど、変に根に持っています。老朽化や少子化で仕方がない部分は理解できます。在良小は光風校区にしていただけないでしょうか。	
小学校 6 年、中高一貫校 6 年の方が、子どもの発達状況と、私立の中高一貫校で既に確立されている体系的な教育の在り方を取り入れた方がよりよい教育になると考えます。また、私立のみならず、愛知県や静岡県など、公立の学校での中高一貫校の事例もありますので、参考にできるかと思います。	

自由意見（質問）	市の回答
理解できても納得は出来ません。 そもそもどうして義務教育学校なのですか？教員数を減らす為ですか。	義務教育学校は、学校全体で校長は1人、教職員組織も1つです。既存の小中学校の学習指導要領を基本に、9年間の系統性を踏まえた学校教育目標や教育カリキュラムが定められます。制度上は前期6年と後期3年に分かれています。が、実際に学年段階を何年ごとに区切るか、カリキュラムの区切りを何年生にするかは、各自治体などの設置者が決めることができます。一方、小中一貫型小学校・中学校では、小学校と中学校それぞれに校長が置かれ、教職員組織は別々となります。校舎が一緒かどうかや、独自のカリキュラム設定ができるかといった点は、義務教育学校と小中一貫校で制度上の違いはありません。市においては、今後の市全域の学校再編を進める中で、児童生徒数の減少、校舎の老朽化、小中一貫教育の推進、また、校長1人に権限と責任を集約することで、学校運営の舵取りがしやすいことなど、さらには平成29年桑名市学校教育あり方検討委員会からの答申及び多度学園開校までにおける様々な協議を背景に、市教育委員会が総合的に判断し、義務教育学校を設置する計画としています。
中高一貫ではなく小中一貫であるのはなぜ？	小中一貫校の推進は平成29年桑名市学校教育あり方検討委員会から答申をいただいております。小中一貫校では、少人数のグループ活動なども可能になり、指導方法、指導形態の幅が広がります。また、児童生徒から多様な意見を引き出しやすくなり、授業の質が高まります。また、体育のチーム競技や音楽の合奏、合唱など、ダイナミックな集団活動の実施が可能になり、教育効果が上がることを期待できます。さらには、集団指導、少人数指導面の両方の良さを生かしたハイブリットな指導が可能になり、子どもたちの多様な学びの実現につなげることができると考えています。例えば、愛知県での中高一貫校は県立で先取り学習などのカリキュラムが実施されているところがほとんどですが、本市では、先取り学習によるカリキュラムは考えていません。
計画の背景について 中高一貫校ではなく小中一貫校である理由を教えてください。	

自由意見（質問）	市の回答
築年数が 47 年（認定耐用年数）を越えた所はすぐ建て替えが出来ないのか？多少ムダになってもするべきできるベースで考えてください。	学校校舎の老朽化以外の課題の解決が図られないこと、同一敷地内の建設は教育活動に支障を生ずることから、現在の学校をそのまま建て替えることは考えていません。また、財源は市民の税金であることから効果的かつ効率的な活用をしていかなければならないと考えています。
なぜ今まで老朽化を放置してきたのですか？数校を一斉に問題視する方がおかしいでしょ。	学校施設は、学校施設適正管理計画に基づき、適正に管理しています。
行政が老朽化の校舎の建替は 50 年程度で計画的に行ってこなかったのは何故？	
法定耐用年数 47 年は帳簿上の話であり、実際にどのくらい老朽化しているのか調査などして原案を作成しているか？調査しているのならば、具体的な内容を教えてほしい。現状の校舎の状況がわからなければ計画案を正確に評価、納得して判断できない	
耐震性についての説明が全くないけど 1980 年以前の建物の耐震性は？	本市の学校施設は、平成 24 年度までに耐震改修は完了しています。
校舎の建て替えは出来ないとの事でしたが今現在川越町で中学校が建て替え工事中ですがそれについての意見をお聞きしたいです。	川越町の中学校建て替えについては、川越町の事情において行われているものと考えております。
再編まで老朽化の対応はしないのか。	本市の学校施設は、平成 24 年度までに耐震改修は完了しています。学校施設の改修や長寿命化、空調設備の設置等の環境設備は、財政負担の軽減や平準化を図り、学校施設適正管理計画に基づき、適正に対応しています。
建替が前提で補強補修して使う事は考えていないのではないのか。	
現在の校舎について耐震補強や補修等の経費、いつまで使えるのか、そういう観点からの必要性の説明もあると、お金については理解が進むのではないのか。	
小中一貫よりも、施設内の設備の充実が優先ではないか。	
まず、何年もかかる一貫校を作るよりも老朽化している学校の修繕が優先ではないですか。今も生徒は通っているのですから、今の学生はみすてるわけですか。	
再編計画の終了まで 36 年から 60 年かかるとの見通しでした。一方で廃校予定の小学校は再建、改築は一切考えていないとの説明でした。再編計画の根幹である老朽化はどこへ行ったのですか。	
学校施設の老朽化の状況について同じ学校の中で建て替えはできないとの説明に対し、新しい学校の校舎を建てる間、例えば(仮称)光風中学校に通っている学校の生徒はどこで学習をするのか説明がなかったが、どうする予定なのか知りたいです。	新しい校舎が完成するまでは既存校舎で引き続き教育活動を行っていくこととなります。
建設中の学校生活はどうなるのか具体的に知りたい。	

自由意見（質問）	市の回答
光陵中学校の隣接地が大山田北小で拡張の可能性があるということでしたが、道を挟んでいるのでどのように拡張するのでしょうか。	再編計画は現時点での学校の将来構想であり、大枠をお示したものです。具体的にどこから学校再編が行われるか、何年かかるかも現時点では決定していません。学校再編を進めていく過程の中で検討、協議されていくものと考えています。
光陵中は大山田北小に拡張可能とのことですが、そもそも隣ではなく、対角線上にあるとおもいますが、どうするつもりですか？	
体育館、運動場などはどうするのか？	
運動場の利用方法、部活動はどのようになっていくのか。小学生は学校から帰宅後小学校に遊びに行っているが遊びに行けるのか。	
屋外、体育館での部活動はどこで行うのか。もし同一敷地内のグラウンドや体育館とは別の場所で行う場合、移動手段はどのように考えているのか。	
特別教室は、2つずつ作る計画なのか？	
プール、運動場などの共用はどうなりますか？一校に一つなのですか？	
グラウンドにプレハブの校舎を建てるのはよくないとのことだが光風はどうするの？	
騒音、振動が教育面で支障をきたす恐れ有りとのことですが、大山田東小は敷地内ですか？	
PTA や学年別の各役員は継続なのか？親側の負担のメリットが見えなかった。	
参観日などは開催できるのか(駐車場はとてもいいそう)	
小学生は学校から帰宅後小学校に遊びに行っているが、遊びに行けるのか。	
小さな子供達の下校が心配 運動場も充分使えるのだろうか。	
課題はわかるが優先課題がある。生命・安全を第一にして欲しい。通級教室は全ての一貫校に作られるのか？	
障害を持つ生徒のサポートは十分に出来るのか。昨今ますます障害を持つ生徒のサポートが重要とされているが、専門知識、資格、経験を持った人員は配置されるのか。	
服装はどうなるのか？小学校は私服、中学校は制服。中学校も私服になる？小学校が制服になると何回も買い替えが必要。	
小中一貫教育の「質」と教員への支援について 計画の成功は、立派な「施設（ハード）」ではなく、充実した「教育（ソフト）」にかかっています。懸念点:小学校と中学校の異なる文化を持つ教員間の連携を促し、質の高い9年間のカリキュラムを構築するための具体的な研修・準備計画が見えません。新しい教育課程への対応や環境の激変が、現場の教員に過度な負担を強いることになり、結果として教育の質の低下を招く恐れがあります。市への要望: 教員の合同研修、カリキュラム開発、相談体制の構築など、教育の質を担保するための詳細な支援計画と、それに伴う予算を示してください。	
現在の住まいや七和小学校は、浸水リスクが少ない場所になります。そこからわざわざ浸水リスクの高い正和中学校へ通わせる意味が分かりません。子どもたちの安全の確保はできますか？	浸水区域の学校施設については、対策が必要であると考えており、新しい学校を建設する際に考慮したうえで進めていくこととなると考えています。

自由意見（質問）	市の回答
新西方の小学生が陵成中学校まで歩くと1時間くらいかかるといいます。小学一年生が炎天下に1時間あるけるとはおもえません。建設場所を新西方の近くに変えてほしいです。光陵・陵成このふたつが近すぎるかと思います。新西方は今住宅の建設ラッシュです。人口も増えていきそうなのに、なぜ遠い場所に小学校を建設するんですか？	整備候補地を検討するにあたり、施設一体型小中一貫校が整備できる広さ（3.2～4.1ha）を有し、地形条件や既存の土地利用、通学圏域などの条件を満たす、全く新しい場所は見当たりませんでした。次に、ある程度の広さを有する既存の中学校地について検討を行い、現状の中学校地のみで整備することは難しいことから、敷地を拡張できる7つの中学校地（成徳・光風・陽和・正和・陵成・光陵・長島）を整備候補地としています。
小学校が全部なくなると横にある公立幼稚園はどうなるのでしょうか。公立幼稚園をなくす計画というのを前から噂では聞いていましたが、小中一貫校のためだったのかとガッカリしております。公立幼稚園を3年保育にして学校に併設すればまた子どもも増えると思います。公立幼稚園は良いところなのでなくさないでほしいです。	就学前施設の公立幼稚園については、学校再編計画と別の計画（桑名市就学前施設再編実施計画）があります。今後、具体的に再編が進む過程において、市子ども未来部と連携し、就学前施設の利用動向や社会情勢の変化、また、保護者のニーズ等を踏まえながら協議、検討してまいりたいと考えています。
地域に若い世代がいなくなれば保育園の再編も進むと思いますがそれも考慮に入れているのでしょうか？	
公立幼稚園はどのような形になるのでしょうか？	
公立幼稚園はどうなるのでしょうか。無償化の際に、2年保育の公立幼稚園の入園希望者が減ることは想像がついたと思うのですが。3年保育に移行せず、園児が減り閉園してしまいました。この再編成の中で幼稚園がなくなるとなると、あと、3年保育への要望など、あれが叶わなかったのは、再編でなくなるからだったのかな。と思ってしまいます。	
小学校に隣接している公立幼稚園についてどうなるのか考えを教えて欲しい。	
学童については何か考えているのか。	学童保育所については、各地域で様々な形態で運営されているため、今後、具体的に再編が進む過程において、市子ども未来部と連携し、協議、検討してまいりたいと考えています。なお、多度学園については内設されています。
学童保育はどうなりますか？	
学童保育も敷地内に設置予定なのか。	
学童保育がないと、働くことができないが、放課後の子どもの生活を補償していくことができるか？	
学童保育所はどうなる	
学校給食はどうなりますか？子どもの身体を育むために、給食は必要不可欠な物だと思います。	学校給食の実施方式には、主に4つあり、各学校の敷地内で給食を調理する「自校方式」、給食センターで一括調理する「センター方式」、調理場を持つ学校で調理した給食を、調理場を持たない学校へ配送する「親子方式」、民間事業者で給食を調理し配送する「デリバリー方式」があげられます。学校給食の実施方式については、今後、具体的に再編が進む過程において、協議、検討してまいりたいと考えています。
多度学園には給食室がないと聞きましたが、今中学校はスクールランチですが、中学校と小学校が一緒になったら、全体の給食はどうなりますか？	
小学生の子どもがいます。中学校はお弁当または注文制のランチと聞いているので、再編で中高一貫校となった場合は、中学生も給食が実施されるのでしょうか？給食は地域の食文化の伝達、栄養バランスの考えられた食事という意味で成長期の子どものにとって必要であると考えます。再編の際はぜひ中学生にも給食が食べられる環境を整えてほしいです。	

自由意見（質問）	市の回答
桑名市は借金だらけ（R5 年度 508 億円）なのにどこに財源があるのでしょうか？また借金増やすのか？	総事業費については、建設時期、再編の順番によってその規模が大きく変わるため、現段階での試算は行っていません。再編が進む中でお示しできるものと考えています。修繕費が年々増加する中、再編して新たな学校を建設する方が、長期的には財政負担の軽減につながります。
今まで公立学校の改修に予算をつけていなかったのにどこからお金が出るのでしょうか？そもそも桑名市にそんなお金があるのですか？	
お金はあるのか	
質問でもあったが財源はどうするのか？	
質疑応答において、市の方の回答があいまい。予算について、これから考えていくでは計画事体NGではないか？	
施設一体型小中一貫校を設置するには多額の費用が必要だが、少子高齢化が進む中どこから捻出するのか。財政調整基金の繰入の増加、民生費の増加など不安材料が多くあるが、机上の空論にならないか。	
お金について一番心配です。新しく建てたらすぐに既存の施設の処分が必要などの条件がある可能性があれば、先に明らかにして欲しい。市債で賄うのであれば、極めて厳しい条件がつくはずだから。	学校再編を行わない場合 学校施設適正管理計画において、国が示す計算式に当てはめると、令和 47 年までに必要な維持・更新費用は、長寿命化に取組んだとしても 919 億円を要すると試算されます。 学校再編を行った場合 建設時期、再編の順番によってその規模が大きく変わるため、現段階での試算は行っていません。
仮に建設を実施した際の歳出増加に対して、歳入を増加させる具体策を教えてください。床面積の大きな校舎を作った後には更なる人口減少が進む事が予測される為、校舎を持て余す状況が発生するかと思います。無理して大きいモノを作らずに、現状よりも小さい校舎を再築する計画との具体的な建設費用の比較検証を行うべきです。比較検証資料の作成をお願いします。	
原案の段階では多数不安や批判が出ることは仕方ないと思う。私も気になることや不安は多くある。統合した場合、しなかった場合の見込み予算を知りたい。 建物を小、中それぞれ建て替えが必要？ 1つ建物建設+用地整備？ その次の建て替えも考えていくと？ 再編応援しています！全体再編賛成です。個別にするとどこかで歪になると思う。	
多度学園の成果を見てから、計画を進めた方が良いのでは？	
再編計画はモデル校である多度学園が開校して教育効果のメリット・デメリットを検証してから策定する方がより「子供たちにとってよい環境」を準備することができるのではないのでしょうか？	令和 5 年に実施した市内の児童生徒数の推計結果において、想定を超えるスピードで児童生徒数が減少していくことが示されました。多度学園については、開校後、検証は行いますが、そこにはかなりの期間を要することになります。検証後に計画を作り出してはさらに時間を要することになります。市としては、1 年でも早く子どもたちにより良い教育環境を提供したいと考えており、学校再編計画の策定を進めてまいります。なお、計画後、再編を進めていく過程において、多度学園の検証結果は反映いたします。

自由意見（質問）	市の回答																																	
多度の一貫校での検証もなしに計画を進めるのは納得できない。	ご意見としてお聞きします。																																	
多度学園の開校後の状況を検討してから他の地域を進めるべきではないか。																																		
多度での通学状況 比較的通学に問題の無い大山田（陵成、光陵）での一貫校の実績評価をしてから他行の編成を検討してはどうか？																																		
現状の原案が教育委員会で成案となる時期はいつか？	桑名市小中学校再編計画は令和 8 年 3 月の策定を目指しています。																																	
原案でない案はいつ決まりますか。																																		
来年 3 月までに決定すると強弁されたが、あれだけ疑問点が多く出されているのにもう決まった話なのか？桑名市のホームページで調べたところコンサルとの契約期間（年に一千万円くらい？）が来年 3 月までだから計画の決定も来年 3 月までにということではないのか？はなから期限ありきで市民の話を聞く気がないのではないのか？																																		
再編計画を今年度末までに策定するという計画には反対です。	ご意見としてお聞きします。																																	
中学校の生徒数を表してほしい。	<table><tr><th>学校名</th><th>R 7</th><th>R45</th></tr><tr><td>成徳中</td><td>185 人</td><td>114 人</td></tr><tr><td>明正中</td><td>488 人</td><td>243 人</td></tr><tr><td>光風中</td><td>400 人</td><td>209 人</td></tr><tr><td>陽和中</td><td>349 人</td><td>196 人</td></tr><tr><td>正和中</td><td>308 人</td><td>186 人</td></tr><tr><td>陵成中</td><td>710 人</td><td>317 人</td></tr><tr><td>光陵中</td><td>477 人</td><td>215 人</td></tr><tr><td>多度中</td><td>319 人</td><td>138 人</td></tr><tr><td>長島中</td><td>335 人</td><td>170 人</td></tr><tr><td>合計</td><td>3571 人</td><td>1791 人</td></tr></table>	学校名	R 7	R45	成徳中	185 人	114 人	明正中	488 人	243 人	光風中	400 人	209 人	陽和中	349 人	196 人	正和中	308 人	186 人	陵成中	710 人	317 人	光陵中	477 人	215 人	多度中	319 人	138 人	長島中	335 人	170 人	合計	3571 人	1791 人
学校名	R 7	R45																																
成徳中	185 人	114 人																																
明正中	488 人	243 人																																
光風中	400 人	209 人																																
陽和中	349 人	196 人																																
正和中	308 人	186 人																																
陵成中	710 人	317 人																																
光陵中	477 人	215 人																																
多度中	319 人	138 人																																
長島中	335 人	170 人																																
合計	3571 人	1791 人																																
資料に多度の数値が示されていない	<table><tr><th colspan="2">多度学園（小中一貫校）</th></tr><tr><td>R13</td><td>562 人</td></tr><tr><td>R25</td><td>511 人</td></tr><tr><td>R45</td><td>418 人</td></tr></table>	多度学園（小中一貫校）		R13	562 人	R25	511 人	R45	418 人																									
多度学園（小中一貫校）																																		
R13	562 人																																	
R25	511 人																																	
R45	418 人																																	
そもそも推計数の誤差はどれくらいか示してほしい。	令和 5 年に実施した市内の児童生徒数の推計結果については、将来推計のため、誤差を示すことはできません。																																	
なぜ小規模校では子どもの教育にとってダメなのか客観的な根拠とデータを示してほしい。	市としても小規模校がだめと否定するものではありません。今そしてこれからの時代を生きる子どもたちにとって、たくさんの同世代とのコミュニケーションを通じて身につける力（表現力や思考力、判断など）はとても重要になると考えています。そこで、一定の集団規模を確保することにより、大人数の中で小さな集団を作る場合、いろいろなバリエーションで組むことができます。																																	

自由意見（質問）	市の回答
学校再編をすると多様な価値観の共有をする事になり、「生きる力」育成に繋がるとの意見の論拠が書かれていません、説明をお願いします。	文部科学省の学習指導要領では「生きる力」をより一層育むことを目指しており、「これからの社会を生きる子どもたちは、自ら課題を発見し解決する力、コミュニケーション能力、物事を多様な観点から考察する力（クリティカル・シンキング）、様々な情報を取捨選択できる力などが求められると考えられます。」（文部科学省 新学習要領 保護者用パンフレットより抜粋）とあります。これらの力は様々な意見や考え方を持った仲間と交流したり、議論したりすることを通じて身につけていくものであり、そのためには、一定の集団規模の確保が必要です。また、人間関係を通じて他者と協調できる社会性を身につけていくことも大変重要です。このような中、市の児童生徒数は減少傾向にあるものの、学校施設は児童生徒数のピーク時からほぼ変わってないことから学校の小規模化が進んでいます。今後一定の集団規模を確保するため、学校再編を行い一定の集団規模を確保することが子どもたちの生きる力を育むためには必要と考えています。
「理解できた」というのは説明は理解できたということ。なぜ学校再編（小中一貫校）が必要なのか、	市では令和2年より市内すべての学校において小中一貫教育を実施しています。現在は小学校と中学校が離れた施設分離型で小中一貫教育を実施していますが、施設一体型小中一貫校にすることで、児童生徒が日常的に異学年交流でき、多様な価値観に触れることが可能となり、また小学校・中学校の環境の違いが緩やかになる、教職員が子どもたちの様子や情報を共有するための打合せ時間の確保など、今進めている小中一貫教育をより効果的に展開できる施設一体型小中一貫校への再編がこれからの時代に合ったより良い教育環境と考えています。
少子化に伴う再編はよく理解できますが、小中一貫校のメリットや、具体的な内容について説明をしていただきたいです。 データの提示、R45 天皇が代替りすれば年号も変わる。期間の一貫性を保つため「西暦」表示にすべき。 R6 棒グラフ 2025・3/E 桑名市人口 137,481 人 →R7 2025・3/Eとすべき 6 ページ下部棒グラフ R45 5290 人 1791 人 3499 人 30 ページ (R45=2063) 4861 人 1652 人 3209 人 なぜ違うのか 人口各年度の確定値と推定値の乖離について何%以内ならその数値ベースに決断（土地の取得、学校の建設に踏みきるのか）	西暦及び年度末の表記についてはご意見としてお聞きします。 ご質問の説明会資料 30 ページには多度学園の人数が含まれておりません。 本計画は現段階での学校の将来構想であり、大枠をお示ししたものです。具体的にどこから学校再編が行われるか、何年かかるかも現時点では決定していません。市では保護者、地域等のご理解ご協力

自由意見（質問）	市の回答
（前頁のつづき）	を得ながら1年でも早く子どもたちにより良い教育環境を提供したいと考えており、そのためには、再編の要望をいただいた地域から進めていければと考えています。

(2) 学校教育について

自由意見（質問）	市の回答
再編計画資料の P22 で小中一貫型による義務教育 9 年間の学年制について色々パターンだされているがこの様な仕組みを考える理由が知りたい。	小学校 6 年間で低学年、中学年、高学年というまとまりに分けるように、義務教育 9 年間で子どもの心身の発達段階に応じて学年の区切りを考えることができます。現在、市では、市内全域で小中一貫教育を進めており、前期 4 年間で学習の基礎基本の定着を図る期間、中期 3 年間で小中の円滑な接続を図る期間、後期 2 年間で自分の課題を解決する力を育成する期間と位置付けています。多度学園ではこの 4－3－2 の学年段階の区切りを意識した学校づくりを進めていきます。なお、この学年の区切りは運用上のものであって、小学校にあたる前期課程では小学校の学習内容を学習し、中学校にあたる後期課程では中学校の学習内容を学習します。学習内容の先取り学習などは考えていません。
中学と一緒にすることで 6 年生が最高学年ではなくなるのは納得がいきません。9 年を 5 年と 4 年などと分けるとありましたが、それは学校ごとに変わるのでしょうか？それとも桑名市全体が同じになるのでしょうか。	
義務教育を受けることに対して、子どもには選択肢があるべきだと考えます。将来設計をする中で私立学校へ中学から進学する子どもがいる現状があります。9 年間の学年再編をあげられる中、こういった配慮をしてもらえるのか、ご教示ください。	
義務教育 9 年の学年制で従来の 6 年制・3 年制を変えとなると、もし、中学受験を希望する生徒がいた場合、学習内容に差がでたり、そういったへい害が出てくるのではないのでしょうか？	
小中一貫校となることで、先生方の混乱はないのでしょうか？先生の人数が増えれば、意思の疎通が難しくなることもあると思います。校長先生は、中学校の先生がされるのか、小学校の先生がされるかで、考え方も変わると思います。	開校当初は統合が伴うこともあり、子どもたちだけではなく、すべての先生が新たな環境の中でスタートします。義務教育学校として小中学校の先生の組織が一つになることで一層意思疎通は図られると考えています。また、先生の人数が増えることで、多面的できめ細やかな指導が可能となりますし、先生の業務負担も軽減され、より質の高い授業や学校運営を行う環境が整うと考えています。
義務教育学校になると、教員は小中両方の免許が必要になると聞いています。中学校の免許しかない場合、小学校で授業をするときは、臨時免許で対応するのでしょうか。	義務教育学校での教員免許は小中両方の免許を取得していることが望ましいとなっていますが、当面の間は小免許、中免許それぞれで義務教育学校において働くことはでき、様々な勤務（前期課程・後期課程など）において取り組みが可能と考えています。
小中一貫施設一体型の場合、中学校と小学校の両方の免許を持っている教師はよいと思いますが、片方しかもっていない教師はどうするのでしょうか？もっていない方の免許をあらたにとらせるのですか？それは大変な負担になると思います。	
教師、小学校のみ・中学校のみ免許の人がいるのでは？	
1 つの学校に大勢集めてしまうのはきめこまかい教育が出来ないと思う。子供達の人間性をのばす教育が必要なのではないかと思う	ご意見としてお聞きします。
人数が多くなり過ぎて、心配です。対応してくれる方、担任は、親身になって対応してくれるのでしょうか？	最大学級人数は国の法律で定められています。そのため、学級担任はその人数までの個性を掴みながら学級運営を行い、授業者は一人ひとりの学習定着状況を把握しながら授業を進めることが責務です。1 学年に複数学級があることで、学年団としてチームとなり、学級担任 1 人だけではなく、より多くの教員の眼で子どもたちを見

自由意見（質問）	市の回答
（前頁のつづき）	守り対応していきます。また、意図的に少人数指導や複数の教員が役割を分担し、協力して指導する授業方式（ティームティーチング）などの指導法を活用することで、個々への対応も確かなものとするができると考えています。
施設一体型の場合、小学生が中学生のいじめの対象やゆすりの対象にならないか？（体力に違いがありすぎる）	小中一貫校では、子どもの成長段階に応じて、生活スペースを棟や階層で分け、そのうえで教育活動の中で意図的に交流できるスペース等を設け、異学年交流を進めていきたいと考えています。中学生等の問題行動が波及することよりも、中学生は責任感や年少者に対する優しさが育まれたり、小学生は目標や見通しをもって過ごせるようになったりすることが、小中一貫校の大きなメリットの一つと考えています。
不良がいるような中学校に小1の児童を通わせるのは反対です。 配慮するつもりはありますか。	
小学校と中学校では体と心の発達が大きく違う。教師の免許状は両方持っておられても、行き来をして教えることは無理を感じる。今でも小学校で不登校やいじめがあると聞いている。なぜ教師はなくせないのか？再編したらそれだけで不登校といじめはなくせるのか？	
不登校が増えるなどがあった場合、どのように市は考えて責任をとりますか？	不登校は様々な要因が複雑に絡み合って生じると考えられており、「義務教育学校だから不登校が増える」とは誤りであると考えています。1つの要因として小学校と中学校の違いや学習面でのつまずきなどともいわれていますが、市教育委員会としては、小学校高学年からの教科担任制による学習環境変化の緩和、義務教育9年間の指導のつながりにより、学習のつまずきがどこから起因するのかなど、小中一貫教育の取組のなかで、不登校の起因を軽減することが期待できると考えています。
小学校の卒業式・中学校の卒業式と修了式ではなく、卒業式として、していただきたいですし、6年生を最高学年として扱って1年間責任感を持ってもらうのも大事だと思います。行事を主体でやるではなく、1年間毎日最高学年という意識をもって行動するのは大切だと思います。	ご意見としてお聞きします。
単学級の学校は全国でどのくらいあるのか教えてほしい。	ご質問いただいた件については、文部科学省等の調査を確認しましたが単学級の学校数をお示しできるデータはございませんでした。
本日の説明会ではふれられませんでした。今、市内の小学校でどのくらい不登校者、いじめ件数があるのか？ 私の町内のある保護者（小学生有）の方が言われるには、「2クラスあればいじめている子といじめられている子を分けることができるのに…」と。これは違います。2クラスあれば、いじめがなくなるのではない。1クラスでもイジメをなくせないのに、問題をすり変えるのは、それは教育の負けである。この保護者はごまかされているのだ、と考えます。	文部科学省は不登校児童生徒を「病気や経済的理由を除き、様々な理由により登校しない、したくてもできない状況により、年間30日以上欠席している者」と定義し、毎年全国の状況を調査し、前年度の結果を10月末に公表しています。全国的に不登校児童生徒数は年々増加しており、令和に入りその数は急速に増えています。その傾向は本市も同様で、令

自由意見（質問）	市の回答
（前頁のつづき）	和5年度の不登校児童生徒数は、小学校で149名、中学校で235名と過去最多となっています。また、いじめ件数については、小学校が148件、中学校が57件となっています。なお、令和6年度の件数等は令和7年10月末に公表されます。 また、クラス替えがいじめの根本的な解決ではないということは認識しています。教職員の見守り等も含め、対応は状況により異なりますが、クラスが替わり、現実的に顔を合わせる機会が減るだけでも子どもの気持ちは違うと考えています。
多人数の中で過ごすことが困難な子供が一定数いることを考えてほしい。 学校に行けないお子さんに対して、他のところを…。根本的な原因は何か、他の対応は？	不登校の要因としては、生活リズムの不調、学校生活に対してやる気が出ない、不安や抑うつが上位を占めています。令和時代に入り、基本的な生活リズムを確立する大切な時期にコロナ禍を経験し、生活リズムを崩す子、マスク生活で人の表情を読み取りにくい状況で、人との距離をとることが求められる環境の中、うまく人間関係を築くことができず、ストレスを抱え、登校しづらくなっている子のケースもあったものと考えています。また、学校に関わる背景のほか、児童生徒がそれぞれ抱える家庭の背景や生活環境など、社会的な影響を受けていることも考えられ、登校しづらくなっている理由は単一的にではなく、複雑に絡み合い、複合的に重なっている事例が散見される状況です。登校しづらい児童生徒への支援として、一例を申し上げますと、学校には行けるが、教室には入れない児童生徒の居場所として、校内に校内教育支援センターを設置し、自分のペースで学校生活を送ることで継続的な登校ができ、教室復帰につながるというケースが見られています。また、教育支援スタッフを配置したことで、同じ担当者と関われることで、児童生徒の安心感につながっているとの声もいただいています。
1～6まで理解はできたが納得は全くできません。第一に特に小学校低学年では、少人数学級の方が教育効果があると私は考えています。	ご意見としてお聞きします。
世界的に先進国で少人数から多人数に変えているところはあるのか？お尋ねしたい。	お示しできる先進国のデータはございません。

自由意見（質問）	市の回答
国や他県も桑名市のように小中一貫にしていける流れなのか？それならば市民の協力も必要かと思う。国や他県のデータも知りたい。	国の教育施策の動向として、平成17年度の中央教育審議会答申「新しい義務教育を創造する」の中で、義務教育においては学校種間の連携・接続のあり方に大きな課題があり、学校種間の連携・接続を改善するための仕組みについて検討する必要性が指摘されました。この頃から全国において小中一貫教育に取り組む自治体が増加し、小中一体型の施設を建設して小中一貫教育を行う自治体が見られるようになりました。また、平成24年7月13日に中央教育審議会初等中等教育分科会において「小中連携、一貫教育に関する主な意見等の整理」が取りまとめられ、小中一貫教育を進めることで、義務教育期間において児童生徒の資質、能力、態度をよりよく育めるようになったり、中学生の不登校出現率の減少や学習状況調査等の平均正答率の上昇などの効果がみられることが明らかになり、小中一貫教育を実施する自治体が増加しました。さらに、教育再生実行会議の第5次提言や中央教育審議会答申を経て、平成27年度の通常国会において、9年間の義務教育を一貫して行う新たな学校の校種である「義務教育学校」の設置を可能とする学校教育法が成立し、関係政省庁、告示と合わせて平成28年4月1日に施行されました。その後、各自治体において義務教育学校が検討・設置されています。また、国が平成29年に行った小中一貫教育の導入状況調査においては、小中連携教育を実施している市区町村が72%、小中一貫教育を実施している市区町村が14%という結果が出ています。学習指導要領（小学校は令和2年度、中学校は令和3年度に全面実施）において、小学校には「中学校教育及びその後の教育との円滑な接続が図られるよう工夫すること」、中学校には「小学校教育までの学習の成果が中学校教育に円滑に接続され、義務教育段階の終わりまでに育成することを旨とする資質・能力を生徒が確実に身に付けることができるよう工夫すること」と示されており、小中の接続が重視されています。このため、市では令和2年より市内すべての学校において小中一貫教育を実施しています。

自由意見（質問）	市の回答
（前頁のつづき）	現在は小学校と中学校が離れた施設分離型で小中一貫教育を実施していますが、施設一体型小中一貫校にすることで、児童生徒が日常的に異学年交流ができ、多様な価値観に触れることが可能となったり、小学校・中学校の環境の違いが緩やかになる、教職員が子どもたちの様子や情報を共有するための打合せ時間の確保など、今、進めている小中一貫教育をより効果的に展開できる施設一体型小中一貫校への再編がこれからの時代に合ったより良い教育環境と考えています。

(3) 通学路・スクールバスについて

自由意見（質問）	市の回答
危険な道が多く、車やトラックとの事故率が高まると予想します。そのため、小学生はスクールバスが必須。しかし、その予算はあるのか？	再編の順番によってその規模が大きく変わるため、現段階での試算は行っていません。
バス通学になった際の費用は補助が出るのか？	具体的に再編が進む過程において検討、協議されていくものと考えています。多度学園のバス通学は、すべて公費で賄うため、児童への負担はありません。 スクールバスを適用する地域はまだ決定していません。具体的に再編が進む過程において検討されていくものと考えています。また、通学路は通学距離だけではなく、通学路の安全性・高低差等を総合的に考え、保護者や地域、教職員など、関係者の方々と協議の上、決定していきたいと考えています。また、中学生のスクールバス通学に関しては、委員会活動等が制限されるなど、現在、各中学校で行っている課外活動に制約が生じることも多いため、現時点では従来通り徒歩又は自転車通学を考えています。
電車を使う場合の費用負担への補償はどうなるのか。	
配慮すべき事項で、通学方法および安全性の配慮で、統合されることにより通学が遠くなる人もいると思うが、通学方法はどうなるのか？	
通学について、バス等を用意するとあるが全生徒への配慮ができるのか？例）バス停配置間隔は歩きで5分以内程度であるか？	
通学バスなどになった場合送迎可能なのか。	
子ども達の通学方法は？具体的に教えて欲しい。	
通学時間が1時間くらい（徒歩）は、親として心配。中学生になった時でも帰宅時間がおそくなると心配。自転車通学できるのか？	
距離があるところはスクールバスでと考えているのかもしれないが運転手不足で路線バスが廃止になっている状況でどう確保しようとしているのか説明してほしい。	
バス通学になった場合、星川の渋滞に巻き込まれることになります。渋滞の緩和対策がなされないままでは通学の負担が大きいです。バスの運転手の確保はされますか？確保できなかった場合、子供たちはどうなりますか？	
遠い生徒のため、スクールバスはどう考えているのか。何km？	
小中一貫校にするとバスで登校ということになると思う。運転手不足といわれる中でやっていけるのか？	
深谷地区から光風に通うようになると、バスを使うか、電車を使うことになるかと思うが、バスなら通学時間も何倍もかかる（早くなったり、学校ついてから待機時間が長くなる）と思いますが、子供達への負担はどう考えているのか。	
遠い子どもにはスクールバスが出るのでしょうか？深谷大和→光風など	
スクールバスを利用するとした地区（4km以上）の保護者と学校近隣の保護者と負担金の違いがあってはならない。あくまでも対等・平等である。スクールバスも無料では運行維持ができないので学校の配置には十分な配慮が必要である（民間の大型バスをチャーターするなら1日1台5万円以上はかかるはずである→財源は？大変ですががんばって下さい。	
課題の中で通学方法があげられたが、小学一年生が4kmも歩くのはむづかしいと思うが、どのような方法があるのか。	
計画策定にあたり配慮すべき事項として 通学方法及び安全性の確保について、どのような通学方法を検討しているか。	

自由意見（質問）	市の回答
通学路の安全はかくほされているか。 児童・生徒の通学の安全と心身への負担について学校統合による通学距離の長大化は、子どもたち、特に低学年の児童にとって深刻な問題です。懸念点:スクールバスの導入・運行計画（対象地域、費用負担、運行ルート、所要時間）が具体的に示されていません。新しい通学路の安全対策（歩道整備、見守り体制の再構築など）が追いつかない可能性があります。長時間の通学が、子どもたちの体力や学習時間、放課後の活動に与える負の影響が十分に考慮されていません。市への要望:想定される新しい学校区ごとに、具体的な通学支援策（スクールバス計画、公共交通補助など）と、徹底した安全確保策を明示してください。	
深谷地域から光風地区への通学は小学生にとって遠すぎます。おそらくバス通学を考えておられると思いますがどれくらいの通学時間を想定しているのでしょうか。朝は停留所を周りながらですと1時間かかることもあると思います。小学生にとって長すぎませんか？歩いて5-10分で来れる近所の子供と比べて不公平です。あとバス停は新たに数多く整備するつもりでしょうか？夏の暑い時や冬の寒い日に快適にバスを待てる停留所を作っていただけるのでしょうか。そもそも2000人規模の学校で何台のバスを用意するつもりで運転手は何人確保するつもりですか？今もすでに市内のバス運転手は足りないですが若い運転手を確保できますか？さらには親が自家用車で子供を連れてくることも想定されますがそうなれば渋滞は必須と思いますがどうしますか？各地域からバスは1日何本出ますか？一本乗り遅れたらその日は学校いけませんか？	(前掲)
原案はバス通学を想定しているようですが、そのバスは本当に持続可能なのでしょうか？原案では学校の数をものすごく少なくしてしまっているがゆえに、徒歩で通学できない地域がかなりの広範囲に及びます。この先子供の数的大幅に減ったとしても、全ての子供が通学可能なようにバスを維持することが可能なのでしょうか？少子化に対応してというのであれば、児童数が著しく少ない学校を廃校として隣の地区の小学校に廃校となった学校の生徒を1年生から入学させていけば良いと思います。小中一貫校をつくりたいのであれば施設分離型にして、会議などはオンラインで行えば良いと思います。児童の通学の負担を減らすために、そのような方法で対応していったほしいです。	

(4) 地域コミュニティ・跡地利用について

自由意見（質問）	市の回答
現在の地域の避難所は小学校ですが廃校後も同じ建物を避難所として使うのでしょうか？それとも避難所を新築するのでしょうか？	再編計画の提案時点において跡地利用については未定です。 学校施設は子どもたちの教育活動を営む場だけではなく、地域の防災拠点となっていることや、夜間・休日にはスポーツ団体等が施設を利用するなど、地域コミュニティの核としての役割も果たしています。そのため、廃校後の跡地利用については、地域での利用ニーズ（避難所等の役割など）を伺い、学校施設ではなく、公共施設としてどのように活用していくのかを検討していく必要があります。また、民間による活用も調査を行うことで検討することもできます。今後、どのような活用の方法が最適であるか、具体的に再編が進む過程において地域等の声を伺いながら検討していくものと考えています。
計画策定にあたり配慮すべき事項の中に、学校跡地の利活用があります。学校は地域の拠点として、避難所等にもなっているかと思います。閉校した学校は、避難所等の役割は残すのでしょうか。	
災害時の避難所が減少するがどう考えるか？	
今の小学校中学校は避難場所になっているがそこはどうなる？	
災害時の避難所はどうなるのですか？ 私の住んでいる地区は小学校がなくなるので遠くまで行かなければなりません。これから小中一貫校が出来る頃には歩いて避難が出来ません。10年後15年後を考えて高齢者はどうすればよいかも子どもの事とあわせて考えてほしいと思います。	
小学校の多くは避難場所に指定されています。廃校になったらどうするのか？	
再編をして、避難所や防災施設としての学校の機能はどうなるのか。	
跡地利活用において具体的に市としてどう考えていますか？ →長島にとっては防災拠点がなくなりますか？→大地震や津波、台風などの水害が起きた際、国道の橋や高速道路が閉鎖されれば、市長の言われる大山田の高台ににげることも不可能で、長島に住む市民は、どう命を守ればよいですか。市としての具体的な方針（学校跡地の利活用、防災拠点としてのこれまでの学校の機能、長島に住む市民の命を守るための公助など）を公に示してから進めるつもりか、もう一度じっくり再検討したうえで、説明会を重ねて、市民の総意を経てほしい。	
学校は子どもたちだけの物ではありません。学区に住んでいる市民に対する考えはどうか？	
教育とは、離れるが今小学校は選挙の投票所、災害時の避難所、スポーツ少年団等の活動場所、一部小学校は学童保育もあるがどう考えていますか？	
廃校となる小中の跡地はどのように活用される予定なのか。 （子供達や地域の方々が集える場所（児童館など）として活用してほしい）	
廃校になった小学校のあと地はどのように活用するのか。	
学校跡地の利活用方法はどのような方法を検討しているのか、などの具体的な内容を聞きたいです。	
小学校や中学校は避難所として指定されている所が多いが、バリアフリーや避難所としての機能を果たす建物になっているか。	
学校跡地の利用で現在使用（利用）している団体等への説明は？	
跡地のグラウンド等はその後も使えるように残して欲しい。	

自由意見（質問）	市の回答
小学校（あるいは中学校）がなくなってしまう地域では土地の値段が下がり、人口減少が起き、過疎化が進みます。（不動産業もやっていますが学校が遠い物件は売れません。）今回の小中再編を進めると将来の桑名市が再編された学校を中心としたコンパクトシティになっていくことが予想されるが過疎化する地域をどう扱うのか。例えば、廃校跡地に子供達が遊べるような大規模公園や図書館などを建設してもらわないと学校から遠い子供達の下校後や休日の居場所がなくなってしまう。（現在は小学校で遊んだり、スポーツ活動をしたりしています。）学校から遠い子供たちには代わりに人気の出るような施設を作ってほしいです。	(前掲)
地域コミュニティ機能の維持と跡地活用について学校は地域のアイデンティティと防災を担う「核」です。その喪失は計り知れない影響を及ぼします。懸念点:学校の統廃合により、地域の祭りや運動会、避難所といったコミュニティ機能が失われることへの対策が不明確です。全ての学校跡地が有効活用される保証はなく、管理不全のまま「負の資産」として地域に放置されるリスクがあります。市への要望:廃校となる地域に対して、コミュニティ機能を維持するための代替案（公民館機能の強化など）を具体的に示してください。また、跡地活用の明確なビジョンと、活用が見込めない場合の管理計画も併せて提示してください。	
それぞれの小学校のイベントはどうするのか。打球技、地域の人との文化祭。	地域から学校がなくなるからといって、地域と学校の連携が弱まるものがあってはならないものと考えています。地域範囲が広がることにより、子どもたちがそれぞれの地域に根付いた多様な文化に触れ、より一層の連携や協働が期待できると考えており、様々な地域の力を活かした教育活動に取り組み、地域とともにある学校づくりを進めていきたいと考えています。再編が進む過程において、地域と学校が連携のあり方を検討、協議していくものと考えています。
各地区にある伝統的な行事はどうするのか？	
私は日進小学校区だが伝統的に子供がいるいないに関わらずPTA 会員として支えている地区でもあります。その様な地区もあるという事を知っていますか？	
ほかの小学校のことはよくわからないが、長島北部小の場合、地域とのつながりがうまくいっていると感じる。ふれあいなつまつり、ふれあいあきまつりなど、地域に支えられた行事が 30 年以上続いている。田植え、稲刈りの体験や、地域の農場の見学など、統合されると、各学校の行事や活動はどうなるのかと思う。	地域では、自治会をはじめ、たくさんの活動団体が暮らしの基盤となる地域を守り支えていただいています。学校は統合されますが、それぞれの地域で培われている活動については、各連合自治会等やまちづくり協議会の活動とともに受け継がれていくものと考えています。
「地域コミュニティへの配慮」の地域とは、どこを指すのか？ 不明。それが新しい学校配置案の事だとすれば、配慮した結果学区ごとに再編の形態を変える事が可能か？	
小学校単位で旧桑名市内は消防団がありますがそれはどうなっていくのですか？ 地域自治会連合会まちづくり、同じです。学校は子どもたちの為の事ではありません。桑名市民は子どもだけではなく。これから高齢者になっていく大人がいなければ子どもたち、地域を守ることは出来ません。	学校再編によって、今の消防団の単位を見直すことは考えていません。
まちづくり協議会について、現在桑名市内にある 21 のまちづくり協議会の多くは小学校区を単位としているが、再編後まちづくり協議会の単位、活動はどうしていくのか。見通しがあれば示してほしい。	学校再編によって、今のまちづくり協議会の単位を見直すことは考えていません。

(5) その他について

自由意見（質問）	市の回答
モデル校が開校される前にすすめ始めたということは、当然、全国各地にある公立の小中一貫校には視察に行かれていますよね？説明会ではつくばの件が出ましたが、失敗したところはさておき、今開校されている小中一貫校は、全国に何校あって、それはそれぞれ開校されて何年目なのか。そしてその中の何校視察に行かれたのか。いつ行ったのか。それは何県の何という学校なのか。また、視察されて、その学校たちでは、開校前どのように市民に合意を得たのか、開校後どのような問題が起こり、どのように解決したのか。良いとされている点は本当に良いように機能していたのか。教えてください。	説明会でも申し上げていますが、小中一貫校には、施設形態として「施設一体型」「施設隣接型」「施設分離型」の3種類と、校種の「義務教育学校」「小学校・中学校」の2種類があり、再編計画の基本方針として施設形態を「施設一体型」、校種を「義務教育学校」での整備を基本としてお示ししています。 文部科学省で公開している「小中一貫教育の導入状況調査について」の中で「平成29年度における義務教育学校、小中一貫型小学校・中学校の設置状況（予定を含む）」では、義務教育学校（公立）は46校、小中一貫型小学校・中学校（公立）は246校となっており、「令和6年度学校基本調査（確定値）」では、校種の義務教育学校（公立）は232校で、小中一貫型小学校・中学校の数は公開がされていません。また、開校年度についても公開されていません。 視察については 平成29年度 いなべ市 藤原小・中学校 津市 みさとの丘学園 亀山市 川崎小学校 京都府京都市 凌風学園 京都御池中学校 平成30年度 いなべ市 藤原小・中学校 静岡県浜松市 浜松中部学園 岩手県大槌町 大槌学園 京都府宇治市 宇治黄檗学園 いなべ市 藤原小・中学校 平成31年度・令和元年度 大阪府堺市 大泉学園 愛知県瀬戸市 にじの丘学園 令和2年度 愛知県飛島村 飛島学園 愛知県飛島村 飛島学園 いなべ市 藤原小・中学校 令和3年度 京都府京都市 東山開晴小中学校 愛知県飛島村 飛島学園 愛知県瀬戸市 にじの丘学園 令和4年度 愛知県瀬戸市 にじの丘学園

自由意見（質問）	市の回答
（前頁のつづき）	令和 6 年度 愛知県飛島村 飛島学園 広島県府中市 府中学園 保護者、教職員、市職員等が視察し、ご指摘いただいた内容等、聞き取り等を行っています。 一例を申し上げますと、飛島学園では平成 22 年 4 月に施設一体型小中一貫教育校として開校し、子どもたちの健やかな成長を願い、特色ある様々な教育活動を展開してみえましたが、これまでの小中一貫教育を制度面や運用面からさらに充実したものにすべく令和 2 年 4 月に義務教育学校へ移行しています。 ここでは小中一貫教育校から義務教育学校へ移行する意義について、また様々な経緯などをお聞きしています。
多度学園完成後の旧小学校地の使いみちは事前に決まっているのか。	跡地の利活用については、令和 5 年 10 月に第 1 回地域説明会、令和 6 年 12 月に第 2 回地域説明会を行い、地域の意見等を伺った上でサウンディング調査を行い、応募事業者との調整を進めているところです。
多度で反対多数だったのに、決行されたとの事で、意見は反映されないのか？	多度学園は開校に向けて、様々な方に参画いただき、検討、協議の上、令和 8 年 4 月に開校します。再編計画は多度地区での進め方を踏まえ策定をしています。
多度学園の失敗、クレームへの対応方法教えて欲しい。	多度学園は令和 8 年 4 月に開校します。検証は行ってまいります。そこにはかなりの期間を要すると考えています。それぞれの事情に応じて対応していくことになると考えています。
教職員への聞き取りを行っているのか？このまま進めると教職員が桑名市から離れていくのではないですか？	現在、小中学校再編計画については、校長会、教職員組合等へ説明し、ご意見を伺っており、令和 8 年 3 月の策定に向け取り組んでいます。ご意見としてお聞きします。
子どもたちに意見をきくつもりはありますか。	現在、子どもたち向けの説明動画を作成中です。子どもたちの声を伺う準備をしています。
理解とは賛成と言う意味ですか？	説明会の内容について、理解いただけたかをアンケートでお聞きいたしました。
地域の合意対象は、原案のことですか学校建設実行のことですか。	説明会でも申し上げていますが、具体的な再編が進む過程において、地域のご理解は重要と考えています。

自由意見（質問）	市の回答
説明会でもどなたかおっしゃっていましたが、どのように合意をとられるのか教えてください。また、多度学園のときはどのように合意をとったのか知りたいです。無理やりおしすすめたと言う人がたくさんいます。一般の私たちには何が真実かわかりません。違うのであれば一度その点も説明していただきたいです。保護者の間でも不安に思っている人はたくさんいますので、お願いします。	平成 29 年度 小中一貫教育・校説明会 小中一貫校へ向けての今後の進め方説明会 平成 30 年度 市において基本構想・基本計画の素案を作成
多度学園の際に、どの団体に合意形成したのかが、気になります。（自身がまちづくり協議会や労働組合の役員をしているので。）	平成 31 年度・令和元年度 多度地区小中一貫校多機能複合化事業ワークショップ
配慮すべき事項は計画が具体化されてから時間をかけて行うと説明がありました。では多度の跡地利用の各地区での合意形成の過程を細かく時間軸も含めて説明してください。	令和 2 年度 多度地区小中一貫校地域協議会 有識者、保護者・地域・教職員の代表者、公募委員 学校施設検討会（教職員） 環境検討会（民生委員・保護者・教職員）
配慮すべき事項は計画が具体化されてから時間をかけて行うと説明がありました。では多度の跡地利用の各地区での合意形成の過程を細かく時間軸も含めて説明してください。 そもそも小学校と中学校は色々な面で違う。授業時間、テストの仕方、部活の問題等。多度学園は施設一体型なので特にその問題が大きいと思う。図書館（室）にしろ、理科実験室、音楽室、トイレ等、小中一緒では特に色々考えなければならぬ問題が多すぎる。スクールバスにして、時間の決め方もいちいち変わってくるので、その管理も大変。 こういうことを全て考えた上での、多度学園の来年開校でしょうか？	令和 3 年 2 月 「多度地区小中一貫校整備事業基本構想・基本計画」策定 令和 3 年度・令和 4 年度 開校準備委員会 学識経験者・教育関係者・5 連合自治会長・小中 PTA 会長・小中学校長・元地域協議会委員・校長会代表・教職員代表・教育長 多度地区小中一貫校整備事業ワークショップ 開校準備委員会内専門部会 教育指導部会 地域連携部会 令和 5 年 1 月 多度地区小中一貫校整備事業本契約 令和 8 年 4 月開校予定 ※多度学園については、桑名市ホームページ、多度地区小中一貫校整備事業「かわら版」を検索しご覧ください。
一貫校に賛成か反対か、多数決をとってください。再編と一貫校は、同列に語るものではありません。作るならば、適切な規模を逸脱しないでください。学校の先生や保護者、子供に意見を募ってください。時代を遡るマンモス校に通う事が、子供の最善の利益になるか、有識者に判断してもらう必要があります。こどもの権利条約を作りましたよね。最善の利益になるか、コンサルタント以外の有識者から、なぜ意見を聞かないのですか？	現在、小中学校再編計画について説明を行い、様々な方からご意見を伺っており、令和 8 年 3 月の策定に向け取り組んでいます。新しい学校は、現時点でどこから再編が進められていくか、何年かかるかも決定していません。ご意見としてお聞きします。
市民に賛成かどうか、住民投票をしてください。以前のアンケートでは、予想もしなかった展開で、賛成したつもりは全くありません。なぜ、まずは一貫校に賛成かのアンケートを市民全体にとらないか、とらない場合、理由を説明してください。	

自由意見（質問）	市の回答
都合があつていけなかったのですが、もう一度説明会がありますか？特に対象となるであろう、児童の保護者（現児童および今後数年の新入学生）に向けて行って欲しいです。	市主催の中学校区 8 地区の説明会は終了しました。今後、各小学校、連合自治会、まちづくり協議会等からご要望がありましたら調整し、意見交換等を行いたいと考えています。
今後、また説明会を開いてもらえるのか？	
中学校は事実上、廃校にならないのに、廃校予定の小学校の地区に最も重要な説明をすべきではないか。	
今回の説明会から教育委員会（教育委員）で成果として上程する前に成案（案）として住民説明会を開催する必要があると思うが予定は？	
説明会はまたするのですか。明るくて元気でコミュニケーションが得意な子はどこでもやっていけます。こぼれる子が増える方が心配です。思い込みで考えすぎではないですか。	
あと何回市民の声を直接聞くつもりでしょうか？	学校再編は様々な事情を考慮し最終的に市が判断するものと考えています。
議会と市長が同意したら計画は前に進むのか？住民投票は行うのか？	
市民の理解をえられたかは何で判りますか。反対が多かったらどうなりますか。	
他の説明会会場で出た質疑応答や、このアンケートの意見質問は公開されるのでしょうか？	桑名市ホームページにおいて公開いたします。
ここに書いた質問には答えてもらえるのか？	現時点で決定したものはございません。
市役所はどこへ移転予定で考えているのか。	
市役所はどこに行く？	
モデル校だと思っていた多度学園が開校される前に、桑名市内全ての学校を小中一貫校にするというのは疑問です。ではなぜモデル校と言ったのですか？それとも、言ってないのですか？こちらの聞き間違いですか？	ご指摘のとおり、多度学園はモデル校です。
必要性のアンケート結果がよくわからない。色々な回答をまとめた物なのか、単純にこの 4 問だけなのか？まとめた物なら本当のアンケート結果は何処で見られますか？	桑名市ホームページで「桑名市立小中学校に関するアンケート調査結果報告書」を掲載しています。
この計画（原案）の作成に、桑名市外のコンサルタントが関係しているか？	桑名市ホームページでも公開していますが、桑名市立小中学校再編計画策定支援業務委託事業者として、パシフィックコンサルタンツ株式会社三重事務所と契約を締結しています。
この計画はどなたの提案ですか？松下村塾はほったて小屋のような建物でしたが、魂を込めた教育で日本国を興した逸材の人物を輩出しました。箱物にお金をかけず、子供達に真の教育を！	外部委員からなる「望ましい学校教育のあり方」答申を基に、桑名市立小中学校再編計画は桑名市教育委員会において、作成しています。
再編計画作成にコンサルが関わっていることは初めて聞いた。東京のコンサルが作った提案をそのまま丸飲みして原案にしているのではないかと疑問に思う。丸飲みでないと言うのであれば、どのような経緯を経て計画案が作られたのか、時系列で、コンサルとのやり取りを含めて事細かに明らかにして、公表して、判断材料として提供ください。	桑名市ホームページにも公開していますが、桑名市立小中学校再編計画策定支援業務仕様書のとおり、コンサルタントには計画の支援業務を行っていただいています。桑名市立小中学校再編計画は平成 29 年「桑名市学校教育あり方検討委員会」からの答申を受け、様々な検討等を行い、現在、桑名市教育委員会において作成しています。

自由意見（質問）	市の回答
保護者、教員の方からもご意見を募り、きまったのでしょうか？ 募ったのであれば、どのような意見が出て、このような再編計画の基本方針が決まったのか、具体的な内容をお聞きしたいです。	桑名市立小中学校再編計画は平成29年「桑名市学校教育あり方検討委員会」からの答申を受け、様々な検討等を行い、現在、桑名市教育委員会において作成しています。

2)意見

表 自由意見（意見）

自由意見（意見）
現在小学校に通う家族がいるが、中学校を見据えた教育がされているとは思えない。今すでにそういう教育をしているという話は全く理解できなかった。
暗記、計算は基礎学力としてとても大切なものです。おろそかにしてはなりません。
これからは桑名の子が桑名のために活やくしていく人を育ててほしい。
どのように教育していくのかが表されていない。
今までも 15 才を目標に教育をしてきたのではないですか？教育は年令ではありません。人生の基になる時期、この年令までという考え方はおかしいです。
「いきる力」を育むのに義務教育学校でなければならないとは直結しないのではないですか。等々。
昨今の少子高齢化の早さを考えると、児童・生徒数が見込よりも早く減少した場合について計画するべきだ。
もっと子供が減るのが分かっていて、新しい建物を 6～7 個も建てる必要はないと思う。税金の問題あり。
建設が優先され、今ある学校が今後どうなるのかが決まっていなかったことが問題。
小中の段差をなくす話があったが、小中にスポットがあたっているが、園（未就学施設）から小学校への段差もかなり大きい。地域のつながりが希薄になっている中、その段差の解消がみえてこない。
特別教室へのエアコンの設置を始め、再編をするしないに関わらず、今の学校が抱えている問題がたくさんあります。部活動の地域移行を進めるにしてもお金が足りない、タブレットの老朽化で授業に支障が出ているのに代替機も来ない、ネット環境も整っていないのにすぐに整備ができない、というのが現状です。再編計画を進める上で、今の子どもたちと教員の困り感が蔑ろにされないようにしてもらいたい。
再編までの間の現存施設に対する、修繕などは必要な限りやってください。
法定耐用年数 47 年以上経過して老朽化が課題とされているが、鉄筋コンクリート造の建物はそれくらいの築年数でも耐震など問題ないと思う。問題だと言うなら現在の学校の耐震等級など示すべきだと思う。我が家も鉄筋コンクリート造の建物ですが、あと 100 年は大丈夫だと思う。私自身が建設業なので使えるものは改修工事をしながら使って欲しいです。
学校の老朽化が耐用年数だけで見ていて、きちんと調査しているのか疑問。
建物が老朽化していて、今の施設をそのまま空調設備や耐震設備を行うのが難しいので小中一貫にしたいと正直に説明された方が良いと思う。跡地利用も住宅や農地とありましたが、例えば成徳中と長島中には武道場があり、学校開放に利用されており、各中学校で状況が違うので、もう少し具体的な説明をされていた方が良いと覆う。
学校施設の老朽化がわかっていて、今すぐ次の学校が建設されるのではないので、その間はどうするのか考えられていません。
老朽化が進む学校施設を早急に改良してもらいたいと思っています。そのためには一貫校設立も早くしてもらいたいです。
耐久年数を大幅に超えている点では早く取り掛かってほしいが、学区わけされた人数を考えると、多いのでむずかしいのではと思う。
精義小学校の築年数が古すぎるから。地震・津波に耐えられるのかが心配。改修予定ではあるが、学校のトイレが汚すぎるため、児童が使いたがらないから。
校舎の老朽化が進んだところからやったほうが良いと思います。地域の理解も必要と思いますが今回の実施理由から最適なところから始めたほうが良いと思いました。

自由意見（意見）
校舎がかなり古いため。子供達には新しい建物で生活して欲しいため。
説明会で提示された資料で見える問題点としては、法定耐用年数を超過した建物から取り掛かるのが良いと思います。他説明の無い問題点、今後出てくる問題点については都度検討すれば良いと思います。
建物が老朽化。
校舎の老朽化がひどい。
築年数の問題は具体的なものがあれば告知してほしい。
私が住んでいる明正中学校学区、明正中は築年数が 60 年以上なので、できれば優先的に進めてほしい。災害時など心配です。
小学校校舎の老きゅう化 築 63 年 ×。
日進小は築年数が 62 年ということで老朽化が進んでいます。雨もり、床がういているなどお声を聞きます。子どもたちにより良い学びの場を提供していただきたいと思います。
子供がまだ小学校に入学前なのでわからないが、建物の老朽化が進んでいるなら早く建てかえてほしい。
少子化、建物の老朽化が課題であれば、現存する小中学校の再編について効果的に地域資源（市内の企業、学校に関わる地域の方々）と協力して、現存の小・中学校の場所にプレハブ施設を利用して建設する方法が 1 番良いと思う。
校舎の老朽化は、児童・生徒の命を守るためにも 1 日でも速くするべきだと思います。
本日はありがとうございました。今年度第 1 子が入学し、現在の学校について状況が見えつつあります。入学式で校舎に入り、古さ、暗さに驚きました。子どもたちには安全安心の中で教育を受けて欲しいと思います。
桑名市の小中学校へ子どもを通わせる予定である親としては現在の築年数の建物で子どもを過ごさせるのは不安に思うので早急に計画を進めて頂きたいと思います。現在の地域社会も大切にしていかなければならないと思いますが、それを支えていくのは子どもたち。支えられる側より支える側を大切にしていかなければならないのではないのでしょうか。再編計画に賛成です！
老朽化で建て替えとなるとたしかに仕方のないことだとは理解できる。
学校の老朽化がとても心配です。プールもボロボロでかわいそう。新しい学校建てていただくのもいいかと思っているのですが、数年以内の改修も検討して欲しいです。
施設老朽化は本来修繕すべき場所、時期に適切な補修がされていないのが原因ではないか。学校現場から市教委に修理してもらえない声がある。
学校施設の老朽化で既存の敷地で学校増改築が（現行の枠組み）できない説明には無理があるし理解しがたい。現行の小中学校は既存敷地で増改築をしてきたのではないか。
40 年先より今現在の学校の修繕をして下さい。（早急に）
質疑にあった通り新しい校舎を建てるのも大事ですが、新しい学校ができるまでの間でも古い校舎の補修等は別に進めていただくと助かります。新しい学校の建設ばかりで古い校舎に何かあれば困りますので。特にトイレは古い汚いので、子どもが学校でトイレに行きたがらず、毎日がまんしているようです。古い校舎の補修をしつつ新しい学園を順次建てるのであれば小中一貫校の建設には賛成します。
再編するのか現状のままでいいのか難しい事だとは思いますが、子どもが安心安全に通える学校づくりをお願いしたいと考えます。どこの学校も耐用年数を越え、とても古く、雨もりや破損が多い状態。教育施設設備をまず安全なものにして頂きたいと考えます。又、どちらにしても早期の対応を考えていかないと安全面が確保できないのではないのでしょうか。老朽化への対応が一番だと思います。
老きゅう化は別に普通にたてかえ可能です。全国みんなやっています。

自由意見（意見）
体育館にエアコンをつけて下さい。
学校施設の老朽化は、市が改修をしないため、他市では、計画的に建てかえや改修を行い、良い教育環境を整えている。早急にトイレをはじめ今の学校を学びやすいものにすべきです。
老朽化した校舎の建て替え等は近い将来必要であり、それと同時に教育の質を担保する活動のため賛同できる。
今日の説明の中で暗記・計算から生きる力の育成への変換についてありましたが、それは小中一貫とは関係ないと思います。昔だって生きる力は必要でした。学習＝暗記なんて思ったことは自分が子どものころにも思っていません。市側の現状認識が甘いように思います。
先生の数の増加、質の向上が必要と思われるが（話がない）だいじょうぶか？
子どもが大きな音が苦手な長期工事の音を立てるのは中学を卒業してからを希望するため。
私が住んでいる自治会は、明正中学校区在良小学校の中で正和中学校に分散進学していました。しかし、自治会連合会から教育委員会へ校区の変更を申し出て、今年度から在良小学校は全員が明正中学校へ進学することになり、分散進学は解消されました。小中一貫という桑名市教育委員会の方針で分散進学は問題であるという認識があるのならば、強引な校舎の建替え計画以外にも問題を解消する方法は十分あります。ならば、なおのこと桑名市全体を小中一貫の義務教育学校にする必要はありません。予算面でも制度面でも、計画自体を見直すべきです。
精義地区は学年１クラスしかないため、いじめとか問題が生じた際の逃げ場がない。視野を広げるためにも複数学級になる方が良いと思う。
これからの子どもたちのために、たくさん考えていただいていることに、感謝いたします。中学校進学により、新たな出会いがあることが大きなメリットだと思います。その点で、分散進学は課題なのだろうかと考えています。いろんな不安はありますが、置かれたところで咲く力もつけていって欲しいです。
説明を聞いても、納得できる内容・賛同できる内容だと理解することはできませんでした。桑名市立の学校が全体的に古くて建替えが必要であるのは承知しています。しかし、他市町では何十年も前から小中学校の統廃合を行い、建替えの計画と実行に取り組んでいます。桑名市教育委員会の先人方が見て見ぬふりをしてきた、校舎の老朽化と、歪な学区編成により出来上がってしまった分散進学などの多種多様な問題を、桑名市立の学校全部を建替えることで体裁の良く解決したことにできると、安易に考えているように感じます。まず取り組むべき政策は、多額の歳出が必要になる校舎建替えの公共事業ではなく、出産や子育ての支援や保育園の整備などの少子化対策だと思います。何年先に完成するのかすらわからない小中一貫校で対処するという方法は、今現在困っている子育て世代に対処することにはなりません。それは、「将来は良くなるのだから、今困っている人がいても見捨てても構わない」という、極めて危険な考え方になっています。今現在の市民へのサービスを向上してこそ少子化対策であり、それを進めれば将来の児童・生徒の数も桑名市の教育目標も違ってきます。それらがあってはじめて桑名市立の学校をどうするか議論になると思います。
分散進学のみ解消すればよい。
小学校の校区の再編をしてほしい。（分散進学の解消）
分散進学の弊害を早期に解決してほしい。
新しい学校の再編が終わるまでまだまだ時間がかかりそうなので、老朽化対策や、クーラー等もしっかり整備してほしい。子どもは同じ小学校から別々の中学に行くのは寂しそうなので統一するのは賛成です。
分散進学の解消のために小中一貫高を進めていくと説明があったがなぜこれまで小学校区の見直しをしてこなかったのでしょうか？この施策を決めるまでに今まで十分な時間があったと思いますし、できることはたくさんあったと思います。
子どもが R8 年度に小学校入学なので、中学校進学までには分散進学が解消されてほしい。

自由意見（意見）
新しく建て直さなくてはならない現状の中で節税や、教職員の確保に繋がることは理解できる。ただし、小学校で何かトラブルがあったときに、正和中学校か明正中学校か選んで進学できた点で、分散進学も悪くなかったと思っている。そのため、あと15年は先延ばしにしてほしい。
分散進学が悪い要素として紹介されていたが、自身も桑名で分散進学区、我が子も分散進学だが、特に悪く思っていない。新たな友達ができ人間関係をリフレッシュできたり、何より小学校区にとらわれず地理的に近い中学校へ通えるのは大きなメリット。分散進学区の子供の声も聞いてみて欲しい。
分散進学は可哀想なので、老朽化もあるし、そちらから計画を進めるべきだと思います。
分散進学をまず解消すべき。施設一体型小中一貫校はその後に十分な期間をもって考えるべきでは。
自分が小学校を卒業した時は3つの中学校へ分散進学したので、中1の時に同窓会をひらきました。それはそれでいいようにも思います。が、やはり小中学校の教育の連続性を考えるなら、分散進学はなくしてもら方がいいと思います。
プレゼンでは”分散進学”も問題とありましたが、保護者としてはアリだと思っています。小学校時代の学年の雰囲気になじめない（イジメなど）状況だった時に小学校時代の友達とちがう中学校に行ける選択肢を残しておいてほしいです。
小中学校再編の必要性は理解できるし、そうせざるを得ないことも納得できる。しかし、具体的な説明がないことで多くの反対意見が出ているように感じた。例えば、もっと踏み込んで、現在の小中学校の数を維持するだけの予算確保が難しいとか、老朽化した校舎全てを修復するより、統合して学校数を減らした方が財政面では負担が少ないなど、市民の理解が得られやすい理由を挙げてもよいのではないかと考えた。教育の面で小中一貫校が良いと言っても、そのような教育を受けてこなかった市民にはピンとこないのではないかと。教育面の利点を訴えたいなら、今後開校する多度学園の実際の良かったことをアピールして、小中一貫校も悪くないよねというか成果を示さなければ、反対派を説得することは難しいと思う。
市内一斉に枠組みを決める必要はないのでは。
子供が在籍中の小学校(久米)でも分団登校→自由登校への案があったが、無理に全域統一して変更することによって通学が危険になるなどで、一部地域(人数が少ない地域)のみになりました。未来を見据えた計画についてはわからなくもなく市民に説明していく必要があるが、桑名全域でなく、多度地区のように、その状況になってからでも良いと思う。現状上手くいっていることを大きく変えることは危険を及ぼすと思う。色々な事情はあると思うが、これからどうか、市民の信頼と幸福・安全を考えてください。
学校の老朽化対策は急務ですが、「全市一律で義務教育学校」にするのは理不尽極まりない。市長、ゼネコン、誰が得するのでしょうか？子どものため、住民のための計画には全くなっていない。
全地区の再編する必要があるとは思わない。後もどりできる様に、間違いがあれば修正できる様に全てする必要はない。市立すべて義務教育学校にする必要性がわからない。
学校再編は子供にとって悪影響もあるが、1つの経験という面もある。色々意見は出ると思うが、やる時には思い切ってやるしかないと思う。
今回の説明会を聞いて子供1人1人を見ることが減り先生も援助ができにくくなり子供達のつながりも減り、人間性を学校再編にしようともっと関係ができなくなりだめになると思うようになった。
質問の方があったように全ての地区をする必要はないと思う。
人口の減少→税収不足→校舎の補修等不足 上の事が今回の根底にあるのでは。 市会議員等の外野の声におどらせないように、教育面の効果を重視して進めてほしい。
大山田地区の学校は築年数が浅く必要性が理解できない。
情報技術の改革により「小規模校」でも多様な価値観や同世代との交流は可能。

自由意見（意見）
現状の規模と学校再編とがほぼ変わらないので、新しい一貫校を建設するよりも、小中連携の仕方の工夫で対応できると思う。
子供を連れて参加したため質疑応答に立ち会うことが出来なかったので、ここで私自身の意見を述べさせていただきます。
小中学校の再編成自体については賛成。全国的に行われているものであり、いずれは必要になる取り組みだと理解している。1年半ほど前に桑名市に引っ越して来て、少子化が進む中、どうして小さな範囲でこんなに学校がたくさんあるのかと疑問に思っていた。(大山田団地で多くの小学校があると聞いていた)子供には時代に合った環境で教育を受けて欲しいと考えている。
小中一貫というより、建物の建替を行ってほしい。
校舎が綺麗になるのは良い。
学校再編については今のところは反対です。老朽化を早くなんとかしてほしいです。今のままの規模の学校がよいです。
そもそも大規模校を作るという発想が主体性のある子供を育てるという目的にあっていないと思う。教員としての経験上、主体性を重んじた教育は少人数クラスでのみ可能で、それが世界の潮流です。学校の建物も数階建てのビルにする必要は全くなく、海外にある平屋建てで十分でそのほうが将来に何かあったときに（人口が急速に減ったり増えたり、災害が起きたりした場合）臨機応変に対応できると思います。今日のプレゼンは小中一貫校のハコモノをどうしても急いで作りたいからあとでくっつけたような説明が多すぎると感じました。
私の意見は小中一貫校には反対です。校舎を早く安心な建物にしてほしいです。
そもそも小中一貫にせず、人数の少なくなる地域のみ、バス通学や学区の編成をして、今のまま小学校、中学校と分けるというのも可能では？→財源が足りなくなる気がするので、耐用年数のあまりない学校から、耐用年数のある学校へ通えばいいのでは？人数の少ない学校のみ合併すればよいのでは？→そうすれば、耐用年数の過ぎた学校を壊し、必要なら建て替えた方がお金はそんなにからない気がします。
子どもが小中学校に入学する時に、新しい校舎で授業を受けてほしいから。
児童数の減少や施設の老朽化については理解できたが、少人数教育のメリットが大きいと考えるので学校再編は慎重に行ってほしい。地域の方の反対意見は多いと思う。
今の学校を直してけいぞくして下さい。
小中学校再編ありきでなく、現在の小中学校をメンテナンスして、子供達が学校生活を無事に過ごせる様にしてほしいです。
今の学校単位で見直していくべきで少子化も老朽化も考えていくこと、建設ありきときり離して考えるべき。
現在の場所に小学校を存続！
子供が卒業出来るまで今のままだがよい。
自分は、今のままだがよいからみんなが行きたい中学にいかせてあげたほうがいいと思います。
自分の子供が通っている間は、現状のままでいい。
現中学校区の中学校は、何としても残してほしいと願う。
各地域の特性を生み育んでいく中心に学校があると思います。また地域に応じた教育が初等教育時にはあってしかるべきだと思います。長島北部の鼓笛、田植え等々地域の方々の協力とともにある活動を小学校の場で、今後も続けてほしい。小中連携教育の現状が最適だと思います。
内容は理解できるが、学区再編は行わず、現状維持を望む。

自由意見（意見）
150 年の歴史ある「おらが学校」が無くなるのは考えられない。子ども第一に考えても、原案の学校配置案は通学方法の面で、問題が大き過ぎる。一気に施設一体型でなくても、分離型で当面推移を見ることで良い。
今の学校で困っていることは無い。むしろある程度の小規模だからこそ、地域の方と密になれて見守りの目がある(実際登下校で、子どもは地域の方の連絡で大変助けられた)。学校が無くなることで困ることは多々ある。
今は教頭先生も 1 人 1 人把握されていて、一緒に生徒と遊んでくれる安心感。
保護者同士も、少なからず交流ができ支え合っている。多くなると他人事になる。
小学校を残して欲しい。
いまのままだいい。
これからの、人口減少はあくまで予測であって、そこまで先読みをして実施すべき計画ではないと思う。
提示された組織体制の資料を拝見しても、統合前と比べて管理職や職員の数が相対的に減少しており、これで果たして本当に、子どもたちにとって最良の環境が整えられるのか、大いに疑問を感じております。今後数十年にわたり、何万人もの子どもたちの人生に関わる重要な判断を、机上の計算だけで進めるのは、あまりにも拙速かつ危ういと申し上げざるを得ません。
児童生徒数の推移だけを優先している様に思える。法的耐用年数「47 年」を過ぎた 19 校は、計画が決まるまで使って良いのか。
自分は桑名出身ではなく都市部で生まれ育ち都市部の学校卒ですが、桑名の子供達を見ていると挨拶を率先してする子が多くて都市部ではそのような習慣が無いので良いことだと感じます。1 つ気になったのは、ただでさえ幅広い様々なタイプの人と接する機会が少ない上に小規模校で過ごしてしまうと、視野が狭量になってしまうし、高校や大学進学で都市部に行った時に周りに圧倒されてしまう、カルチャーショックを受けるということが起きるのではないかと思います。子供の時から様々なものを見聞きし体験をする都市部の子供と比べて大人になるまでの間にかかなり差がついてしまうのでは？と思います。小規模の閉鎖的な環境よりも、様々なタイプの人間が大勢いる中で過ごすほうが受ける刺激や見るものも物の見方も変わってきます。心配なのは通学距離ですが、スクールバスを走らせるなどでしょうか。都市部から来たが故の視点は様々なものがありますが、再編に賛成です。
学校再編には賛成です。市に魅力がある学校があれば新しくその市に住む理由の一つにもなりますし。現在、益世小に子供が通っています。5 月 31 日運動会があったので行ってきましたが校庭と親御さんの数と学生の数でちょうど良い感じの校庭広さでした。新しい学校も一人の面積がこの程度であれば賛成です。
小中一貫校にするにあたり、メリットデメリットが分かりづらい。デメリットの部分が更に解決策が明白で無い。このまま進めたら、大きな穴に落ちると思う。やめてもらいたい。
質問に対する市側の回答にとっても違和感があります。”前に進めることありき”で話を進めているようで残念です。デメリットもたくさんあると思います。その説明も要ります。
メリットについては伝わったが、乗り越えるべきデメリットの面についての情報が伝わってこなかった。
施設一体型の義務教育学校ありきで話が進められていてメリットばかりを言われている様で納得できない。
資料の内容は概ね理解できましたが、根拠となるものや具体的に、どんな学校になるのか、くわしく聞きたくて来たのにあまりわからなかった。
分散進学の解消と施設を新しくすること、1 校 600～1000 人規模にすることの必要性については理解でき賛成です。ただ、施設一体型にするメリット・デメリットがあまり分からなかったの、他の市の事例等を踏まえ詳しく説明してほしいです。
課題の掘り下げ不十分（物理的理由中心）もっと今後の議論テーマとなりうる課題・心配を早い段階で広聴しておくべき。

自由意見（意見）
デメリットしか見えない。現在の目の前の問題解決のためだけの無謀な判断だと思う。学校編成にあたり、デメリット部分の解決策があまりに曖昧過ぎて理解し難い。
統一化のデメリット
メリットばかりでデメリットが見えない。必ずあると思うので、メリット・デメリットを比較した上で、メリットがあるので進めるといった報告にしてほしかったです。
少子化に伴う学校再編は理解できました。ただ、その中の施設(プールの設置や給食センター)についての説明がなく、また、教育内容についても漠然としていて、メリットが分かりませんでした。
教育委員会へ子供の事を相談に行った時の対応は悪く、子どもの事を考えているとはあまり思えない。デメリットをもっと考えて、その事についてはなしてほしい。 メリットは話がなくてもわかると思います。可能な限りデメリットを考えてほしいです。
今該当する人の意見でなく地域にとって、子供はだれの子であろうと宝である⇒すんでいれば、すべての人該当デメリットの表明がすべてにおいてない。
様々な問題があるのは理解できます。そのため、今回の件に関するコスト、メリット、デメリット、期間（予定でも）を提示していただきたいです。
今のまま老朽化した校舎をたてなおす、改修するのにかかるお金と再編成によるお金・比較を提示した上で再編成のメリットを示してほしい。
資料には、メリットしか書いてない。考えるデメリットについても、しっかり提示すべきだ。例えば、学校が遠くなることはデメリットだが書かれていない。
小中一貫校にするメリットをもっと具体的に例をあげて教えて欲しい。
対象校区が決まっていないため、あくまでも問題提起だと捉えている。個人的には、どうしようもなくなってからではなく、将来を見越しての事前提案だと思うので、その点評価している。
全体的に先に計画ありきで住んでいる住民の生活や利便性とかまったく考えてもらえてない気がします。
義務教育はどの子にも公正・公平の課程が必要です。この計画はそこからもまちがっていると思います。
今の段階で桑名市全体の児童推移をみて再編計画を立案された点、非常に良いと感じています。計画の策定方針も明確でありわかりやすかった。 "今"からやらねば、後々困る。先細りするほどお金もなくなる。人もいなくなる。後回しにする と困るのは市民。
費用と通学の負担が多いため、後世の負の資産にならないよう計画していただきたい。
アイデアばかりで具体案に欠けている。子供のためにやっているとはいえ、将来子供に大きな負債がかかってくる。もっと子供が増える力のある桑名にする案の方が効果的では。
多様な価値観に触れる等、必ず学校再編をしなければ桑名の教育は保てないのか。この説明には無理がある。
配慮ってどうするか？不明確、ずさんな計画に思える。
どうしても「ありき」な内容に読めてしまって、本当に子ども達の事が1番に考えられてるのかなあ？と少し思っていました。
子供が少なくなるからという理由しか伝わらない。
結論ありきで全く誠意がみられない！！ 市民無視のこの構想は白紙！！

自由意見（意見）
他の自治体で再編がうまくいった（一貫校化できた）運営の仕方をもう少し勉強してほしい。もう少し優秀な人にこのプロジェクトをハンドリングしてほしい。今の市の人財では実施できないのではないのかなと思いました。税金をつかっていいから外部から優秀な人材を！！説明が下手、進め方が下手
賛成・反対ではなく、少子化が進んでいるので、再編するのは仕方ないと思う。
私は再編に関しては反対ではないです。また、小中一貫校については、賛成でも反対でもないです。それは、現段階で、賛成反対決められるに値する情報がないからです。説明会で""まだ白紙""という言葉聞いて、では今何の時間なのか？と疑問に思いました。内容がある程度わからなければ、反対も賛成もないです。内容が子どもたちにとって良いものであれば当然賛成になるわけですが、まず、その材料がない。それがわかって初めて、自分たちの地域の再編を優先する必要があるか考えられるのではないのでしょうか。しかし、そんな状況にもかかわらず、反対派？と、思われる方々の声が大きく、その方たちは一体何を知ってあの熱量で反対されているのか？とても知りたいと思いました。私と同じ情報だけを知っていてあんなに熱くなっているのだとしたら、それこそよくわかりません。また、配慮すべき事項についての内容が薄かった点について、まだ白紙であるということでしたが、そちらの情報ももっとなれば、今の原案に対して、何の意見も湧いてきません。現場で働く先生や、子どもたちの心理、とりまく環境に詳しいスクールカウンセラー、ソーシャルワーカーには意見を求めたのでしょうか。現代に必要とされる教育を行うことの大切さは説明でよくわかりました。それが育まれるなら、小中一貫校もよいのかもしれない。ただ、それを直接指導される先生方の意見なしでは教育なんて語れないと思います。今、桑名市内で働いている先生方はどのような気持ちでこの動きを見ているのでしょうか？子どもたちとともに中心とあるべき先生たちにまず理解を求めることから始めてみても良いと思いますがいかがでしょうか。この計画がなくなることはない。と、断言していましたが、断言した以上、今後、桑名市のみなさんの意見等しっかりと聞いていただいて、子どもたちのための素敵な学校を作ってほしいと思いました。
予算のことについても「今から…」と言っている状況で、再編をする、と決定したかのように進めていくのは非常に問題である。
反対もあるが市の計画として吟味されたことと思います。地味にコツコツすすめて下さい
人が住みたくなくなる桑名とはほど遠い現状。小中一貫計画の前に子供達が通いたくなる学校を目ざすべき。食に関しても給食センターでつくられるおいしい給食なくしおいしくない弁当とは！教育の根本を見直すべき。これではだれも OK しない。怒りしかない。だれがこの案をつくったのですか！とりあえずこの案廃止一択です！！！！
再編の効果がはっきりしないので再編に積極的になれない。
説明を聞くと、子どもファーストではない感じを受けた。先生側事務局などの説明は特に必要と思わない、本当に子どもを思うなら先生側はうまくまわると思う。
子ども中心とはどういうことか考え直せ！
子供たちや未来を考えての内容だとは思えなかった。反対意見が多数あっても白紙にはならないということは、市民の意見を聞かないということになるので、理解ができない。やりたい人たちの自己満な内容としか思えなかった。
私自身は小学校、中学校がそれぞれ離れていたり、交流が少なかったことで当時不便に感じたことや、大人になってそうでなければよかったと後悔したことはありません。国が進めているから、やらなくてはいけないからではなく、誰のためにこの計画を行うのか、その主たるターゲットを見直して考えていただくと良いと感じました。説明責任があるから説明会を行ったのでしょうか。ただ説明会を行ったからよしでは賛成出来ません。時間と費用を費やしたのに、再編成後は残念な結果に終わったでは済まされません。
予算や地区のつながり等、課題は多いが、何よりも子供にとって良い選択をして欲しいと思います。計画ありきではなく、臨機応変に対応して頂けることを期待します。
小学校を全て廃校にするというのは、100年越えの歴史をどう配慮していくつもりかも説明お願いします。

自由意見（意見）
計画がいいかげん（1 子供たちの特性をきめつけている。2 学校跡地の活用がきまっていない。3 先生のことを配慮していない）ため、子供の教育をしていく桑名市がこれからの子供の教育をきちんとしていくことができるかどうかが不安。
本当に子ども達に必要なことは、このような箱物ではなく今の子どもに対して何ができるかを、しっかり考えてもらいたい。つなぎ案、賛成、子ども数を今、維持できないなら、とりあえず、小学校を合併する形が良いと思う。校長先生は一つの学校に 9 年も居ません。
身内に先生がおり、小中一貫校では、生徒数が増える分トラブルも多いと聞いているし、他の地域でも小中一貫校をやっているならまだいいが、近隣の県でも数が少ないから、やれるところからやっていけばよい。
働く先生も、小学校に行きたくないから中学校の免許しか持ってない方もおり、教員の制度も関係してくるので、縦割りの行政では難しいとへ思いますが、市内一律にやるのであれば、三重県全体で小中一貫校を行うべきだと思います。
反対である。小学 1 年生から、中学 3 年生の子たちが同じ施設にいて、学業に励むというのは無理があると思う。授業時間が 45 分と 50 分で違うこと、中学校にはテスト期間があること、小学校では、休み時間に外で遊ぶことも重要な仲間づくりの場であり、中学生はテスト期間でぱらつく中、遊ぶ声を聞きながら学業に励むことができるのか。小学生、中学生の今までのような節目、（入学式、卒業式）は成長する上で大事だと思う。気持ちの切り替えができる節目でもある。今まで、幼稚園の 2 年、小学校の 6 年を一貫に教育を進めていたが、社会のニーズに合っていないため、公立幼稚園は園児が激減している。小中一貫にする前に、幼小の一貫を実現させてほしい。公立幼稚園は、社会のニーズに合わせて、子ども園化すること、年少保育、長期休業中の保育、延長保育の充実をはかるべき！！敷地は同じでも建物が違うだけで少しの距離ができ、安心してそれぞれの年齢の子どもたちが生活することができると思う。
再編計画について、私は小中一体型の学校は子供達にとってメリットはないと考えています。先生達が子供達に対して深く関わり、教育してもらえる環境は現在のままの小学校、中学校と別々にある事を大切にさせていただきたいと思います。私は県外から桑名市に引っ越してきました。これからは桑名市で子育てをしていきたいと考えておりましたが、今後このまま再編計画が実行されるのであれば、三重県でも桑名市以外、または県外に引っ越しをしようと考えております。色んな考え方があるかと思いますが、私はこのままのより良い環境の小学校、中学校に子供を通わせたいです。他の県で中高一貫校を作りそれはよくなかったと、反省している市もあるそうです。教育現場の先生方の負担削減などにも関わるのかもしれませんが、1 番は子供達の教育の場、これからの未来のための大切な学びの場を奪わないでほしいと願います。
考えられるデメリットについてあまり述べられていなかった。
再編の必要性に将来子供についてのことが考慮されているかが心配。荒れている学校もある中一緒になるのが心配。
光風小中一貫校は生徒数規模が大き過ぎる。1.深谷地区からの通学距離が大。2.不登校、落ちこぼれ数が増える。3.地域的、文化的違いがある。
子どもが減っている様子が明確な立教・精義・城東地区などは再編が必要だが、そこに大成や大山田地区、城南が入ってくことに違和感がある。全市で考える必要ない。部分的にいけば良い。予算のこともあるし。
成徳が選定されているが新しい学校配置案からなくなっている理由がわからない。
単純に大和から光風は遠すぎるので理解できない。
これからの子供たちに必要とされる自分の意見を発する力が、小中一貫校でやしなえるとは思えない。子供は（人は）聞いてくれる大人（人、友）がいないと判断すると、自分のカラにとじこもります。2000 人をこえる学校でそれができるとはおもえない。
光風の小中一貫校の深谷小はかなり通学が大変ではないかと思いました。（通学バスを使っても）
学校から近い所はいいが、家が遠い場合大変そう。
望ましい学校区割検討フローについてもう少し詳細に説明をしていただきたいと思います。

自由意見（意見）
子どもが今小さいので、自分の子どもが学校が変わることへの抵抗はあります。小学校の通学においてバス通学になったり…などは安心な面もある一方で、一般社会で必要となる交通ルールなど学ぶ機会が減るのも心配ですし、小学校ですでにお友達のお家が遠いとなると、勝手に自分で行動できてしまう(してしまう)範囲が広がるのは親としてはちょっと心配が増えるような気がします。やはり小学校は小学校の区域でコミュニティも小さめに、中学に上がるタイミングでコミュニティが広がり、新たなお友達が増えるという環境も悪くないと思います。
同上。（再編の必要性に将来子供についてのことが考慮されているかが心配。荒れている学校もある中一緒になるのが心配。）
現状で特に問題なし。城南小学校から、明正中学校への分散進学地区だが、近くて歩いて行ける明正中へ、現状ルールのまま行かせて欲しい。わざわざ自転車で通う必要がある陽和中へ通わせるのも大変だし、小学生の第二子は、姉と同じ明正中へ通いたいと思っている。学区変更は、子供にも保護者にも負担。
中学の校区に合わせての小学校に通学するようにしてほしい。（小学校、中学校の距離をこうりょして）
この案で一番気になるのが光風小中一貫校にあまりにも多くの生徒を集約しすぎている点です。成徳中学校の場所も拡張が可能であるならば深谷、大和、大成の生徒は成徳小中一貫校をつくってそこに行ってもらうべきではないでしょうか。成徳の位置ならば播磨駅から歩けるため、深谷の生徒も通いやすいと思いますし、原案よりは桑名駅の混雑を緩和できると思います。大成地区は人口が多く成徳と光風の間位置するため判断が難しいとは思いますが、小中一貫校をつくるのであれば学区も考え直して、大成地区と修徳地区においては成徳と光風からの距離をみて光風から近い生徒は光風、成徳に近い生徒は成徳といった風に振り分けた方が良いでしょう。例えば先に成徳小中一貫校をつくり深谷と大和の全生徒、大成の一部の小1（成徳から近い生徒）、修徳の一部（成徳から近い生徒）の小1を入学させる。その上で光風よりの地域に住んでいる大成地区の小1を光風よりの地域に住んでいる修徳地区の小1と混ぜて修徳小学校に通わせる。2年生から5年生の生徒はそれぞれそのままの小学校に通わせる→生徒がいなくなった段階で大成小学校を廃校にするといった風にすれば生徒への負担は少ないのではないのでしょうか。今の学区を全く変更せずに、不自然に遠すぎる学校に通わなくてはならなくなるよりはずっと良いと思います。
通う学区は家を建てた時にそれを考えた上で建てる所を決めたのでそこは希望を考えてほしい。学区によっては学校の学級が崩壊していた（何年間かそのままだった）所もあった所が同じ学区になるのはとても心配である。
城南小学校、明正中学校校区に住んでいます。わざわざ津波の来ないエリアに家を建てたのに、陽和と津波のくるエリア、しかも遠い中学校に進学することになると思うとゆううつです。わざわざ、保育園や消防は津波のこないエリアに移動しているのに、子どもたちのことが心配です（長い目で見た時に）一予算も限られているならこわれるかのうせいがある地域に建てる必要があるのか。 自宅は益生小、光風中が物理的にきょうりが近いです。再編するなら小学校の学区のみなおしも検討お願いします。 現在の分散進学も、今まで問題を放置してきたツケですよね。 津波が来るエリアにわざわざ新しい学校を建て、子どもを通学することにきょうひ反応がある。保護者に選択させてほしい。我が子を通学させれますか？垂直ひなんはげんかひがあります。
現在の学区を維持すること！全国の実状は現状として桑名らしい教育ができればよいのではと考えます。小中一貫は反対です。
長島地区は再編しなくていい。
新西方に住んでいる人が陵成中学校まだに通うのに時間がかかります。光陵・陵成が近すぎるのが問題ですが、もう少し新西方地区の住人が通いやすい場所にしてほしいです。
一定の規模が必要というのはわかるが、光風学区の2200人は8クラス規模になり大きすぎ、やりすぎです。いつからかを示さないのに、賛成かどうかを示すことはできません。日本一の規模の学校を桑名に作る必要性は理解できません。結論ありきではなく、たとえば、小学校3つを2つにする程度など、適切なクラス数にする、他の案を考え、比較するべきです。

自由意見（意見）
光風中学校区のみ、再編後の人数が多く、偏りが大きい気がします。通学距離も考慮の上、成徳中学校区は残しておいた方が良いでしょう。
再編内容について、光風中は通学する小学校区が多く人数も多すぎるのではないかと感じた。
学校の規模があまりにも大きくなりすぎることに、私は強い懸念を抱いております。千人を超え、場合によっては二千人規模にもなると思いますが、そこまでの大規模校において、本当に何の支障もないと言い切れるのでしょうか。むしろ様々な問題が生じやすくなるのではないかと、危惧しております。ところが、今回のご説明では、こうした懸念についての言及はほとんどなく、良い面ばかりが強調されていたように感じました。肝心の課題に関する分析や説明は、どうしても不十分であるという印象を受けました。学校の規模が大きくなれば、不登校やいじめといった問題が増加することは、十分に想定されることです。実際、現在の小規模な学校でさえ、学級崩壊や、全国ニュースにまで発展するような深刻な事態が起きているのが現状です。にもかかわらず、今回のご説明を拝聴した限りでは、こうした予見される問題への具体的な対策が、十分に検討されているとは到底思えませんでした。
学校施設の老朽化については問題に感じていますが、新しい施設をつくらなくても桑名高校のように夏休みを利用して一階ずつ3年ほどにわたってリフォームや補強をしていけば生徒への大きな負担なく老朽化に対応できると思います。新しい学校配置案では光風小中一貫校にあまりに多くの生徒が集まりすぎてしまいます。光風周辺は桑名駅にも近いため、今後も人口の減りは緩やかかと思うと、なかなか理想的な児童生徒数にならないと思います。光風に集約するのではなく大和、深谷、大成小学校でもうひとつ別の小中一貫校を考えるべきです。
1 学級あたりの人数はもう少し少ない方が目が行き届いて良いと思う。
1 学級あたり中学校 40 人となっているが、2026 年度から 35 人なので間違っている。
市の中心の人口減少は比較的ゆるやかだと思うのに中心地に大人数含めるのはおかしいと思う
一定の規模が必要というのは理解するが、いったいなぜいきなり義務教育学校なのか。R45 の 600～1000 人の規模にするためそこまでは超マンモス校で犠牲になると感じます。専門家（教育の！！）に、この規模が子供に与える影響を検証してほしいです。一方的にすすめないでほしい。
小規模学校の方が教師が一人ひとりとつながれ、地域の人と授業ができ、教育の効果。
生徒数が1学年10数名と少ないため、人間関係が固定化されることへの不安があります。
長島ですが、子どもの数が大変少なくなってきました。
現在でもクラス数が多く、毎年のクラス替えで人間関係が変わり、毎年春には気持ちが不安になっています。これ以上クラス数が増えてほしくありません。クラスが馴染んできたころには学年が変わり、クラスのメンバーも担任の先生も変わり、人間関係構築からまたスタート。大変だと感じます。（大人でも、毎年職場のメンバーと上司が大幅に変わったら、大変なのに…。）また、これ以上に子どもの人数が増えると、先生方が子どもの姿の把握が難しくなると感じます。
生徒数の減少、施設の老朽化など致し方ないところがたくさんあるのは理解できます。通学がどうなるのか、光風まで通うことになる生徒があまりにも多すぎる、など不安なことしかない、というのが正直なところです。
望ましい教育環境から程遠い為。1校あたり1000人を越えない、且つ1学年あたりの月級数が国が定める標準規模の数になる学区再編成をし直して欲しい。
子どもの数の推移からクラス替えができる規模を維持するのは急務と考えます。子どもは誰から学ぶのか、学びは教師から授かるだけではありません。同級生、上級生から学び成長します。学びの場に多様な個性が多いほど成長は早いです。教師にしてもより多くのひとりひとり違う個性を持つ子どもの成長を見ることは有益ですし、同僚の教師が周りに多いほど見て盗むことができる技術も多々あるでしょう。ロールモデルになる「子どもたちに良心と良識で接し、知性と知識で導くことができる飛び切り優秀な教師」、また「それになり得る教師」が教職場に一人でもいたならば、学校の中で「自ら学び」に行く「知」が広がると感じます。

自由意見（意見）
私の地区は光風小中一貫校の区域になる予定ですが、R45 の予想の段階でも生徒数が 1000 人を超えることとなっていますし、R13 年にいたっては 2000 人以上と、とてもひとところに集約するのは難しい数の生徒数になってしまうからです。現在、小学生の子供が居ますが休み時間に外で遊ぶことを楽しみにしています。しかしこの規模の生徒数であれば、どれだけ大きな施設をつくったとしても満足にグラウンドや遊具を使えないことが目に見えています。外で遊ぶことも満足にできない状態にはしたくありません。しかも市役所と光風中学校の面積をあわせても、とてもそれだけ大人数の児童を集約できる施設がつくれるとは思いません。教職員の数も多くなると思いますが、通勤のための駐車場の確保も難しいはずで。また、現在は益世小学校の敷地内で学童保育が運営されていますが、光風小中一貫校になった場合、学童保育の場所も問題になると思っています。共働きが増えている中で、更に人数が多くなりすぎるので、狭い場所ですし詰め状態になりながら親のお迎えを待つような状態になりそうです。今の学童のようにのびのび遊んで過ごせる環境を残したいです。以上のような理由から、人口減少により相当程度生徒数が減ってからでないと光風小中一貫校の実現は難しいし生徒の利益にならないと思います。そのため実施時期は少なくとも R45 年以降が良く、それまでは桑名高校の長寿命化工事を参考に施設のリフォームによって老朽化の対応をしてほしいです。
小規模小学校ですが、先生方や地域の方々の連携もしっかりありますし、全く不満はありません。確かに、クラス替えは出来ませんが、子供達を見ていると、与えられている環境の中で、どうやったら楽しく過ごせるのか、みんなが上手くやっていくにはどうしたら良いのかなど、自ら考える力を着実に付けていっているように思います。
光風小中学校の生徒数が 2200 人を超えているのは人数が多すぎる。2200 人が過ごす場所として、計画地はあまりにも狭すぎる。将来の少子化を見据えすぎている計画で、今の子ども達にとってよりよい環境になるとは到底思えない。以上の点から原案の光風小中学校の計画には反対のため。
必要性を感じる面（老朽化）もあるが、現状の説明ではあまりにも 1000～2000 人規模の学校で、わが子の心身ともに健やかな成長、生きる力の獲得は期待できないと感じた。
光風小中学校の規模が大きすぎる。
小学校の 1 クラスの人数が少なすぎるので、6 年間クラス替えがなく過ごさなくてははいけないのは不健全すぎる。
三クラスもあって多すぎるから障がいのある子やふとうこうの子のことを考えると絶対やめたほうがいい。
光風の方に入ると思うのですが、ちょっと人数が多すぎな気がします。通学も大変です。
1000 人単位にして欲しい。
私が住まう地区は児童数が R13 年度でも 1500 人近くいます。1000 人を超える人数により良い教育・きめこまやかな教育をほどこしていけるとは思えません。なので優先的に進めていただきたいとは思いません。
校区が広くなりすぎる事がメリットとは考えない。
光風の一貫校になった場合、過密すぎると思う。
光風小中一貫校の 2000 人（R13）、1000 人こえ（R25 以後）は子供たちにとってデメリットしかない。（安全性、自己表現力、交友関係の面など問題は多い）
光風が問題多い。
子どもも孫もお世話になった学校がなくなってしまうことはとても許せない。 大きな学校になることは良いことではない。小さい学校の方が子どもは早くなじむ。
現在幼稚園、保育園、0 才の子供がいるが、やはり一定数（クラス替え可能）の児童生徒数がある学校が良いと思います。
光風の人数が多すぎて地区的にも遠い深谷小学校区などには無理があり、市内の町中にあるので交通安全的にも無理があると思います。

自由意見（意見）
生徒の人数が増えることによる、管理の負担や、生徒一人一人へ目が行き届くか等、懸念点があります。市では再編計画によるマイナスファクターを何と捉え、課題としているかを明示して頂きたいです。
最後に、この案での小中一貫校での生徒数についての私の懸念点を挙げる。原案では小中一貫校では1000人を超えるところも多く、光風中では2000人を超える大規模校になるとされている。個人的な意見では多すぎると感じてしまう。これほどの生徒数の学校に在籍したことないからこそ思うことかもしれないが、わざわざ中学校を数校廃校にしてまで行うことなのかと感じてしまう。私が明正地区にいるからかもしれないが、少なくとも現在の中学校区の状態にする方が良く考える。学校の敷地を拡張するとあるが、これらの中学校では昔は今よりも数倍の子供が在籍していた。その時に学校は運営できていたことを考えると規模を大きくする必要性をあまり感じない。必要に応じて建物を高くするなど他の方法であれば新たな用地を取得することなく運営できると考える。また、原案よりも2校増えることで人数も分散し生徒が多すぎることなく運営できると考える。これからの人口減少に対応するとあるが、各学校の生徒数にばらつきがあるので、生徒数のバランスを考えもう一度子供達第一になって子供たちの気持ちになって考えてほしい。
校区の分け方をもう一度考えてほしい。
仕事で小学校に関わりを持っていました。小規模校では全校150人前後、職員20人程で全生徒の名前と顔が一致し職員間での情報共有やコミュニケーションもよく、子ども達も表情がよくのびのびとしていてとてもよいなと感じた。多度地区の子たちは「もうすぐ多度学園になるから」と声をかけあって過ごしている姿が印象的でした。入学前から小中一貫校の話が出ていたと思うのでそこまで戸惑っている感じはなかったですが、人数の差はとてつもないので来年度通うようになってから大丈夫かな？と思う部分もあります。大山田の学校では人数が多く、生徒の顔と名前を覚えるだけでも大変です。情報共有できる余裕もなく、職員同士のコミュニケーションもなく、チームワークなど全く感じられませんでした。人数が多い学校での課題に対する情報共有のメリットが理解できません。もっと現場の声と状況を把握してほしい。はやくから計画することに反対はしないが、決定していただ話を聞くふりだけにはしないでほしい。少数な意見に対しても受け止めてしっかりと考えてほしい。
再編前から光風中だし少子化の流れが止められないなら仕方ないと思えるが、これまで明正中や成徳中へ通う地域だった方やスクールバスになりそうな深谷の方などは今までと大きく変わってしまうことの不安を解消し理解し受け入れるには時間がかかると思う。
修徳小より少人数の学校があるのに、合併したら修徳のほうが莫大な人数になる。あり得ない。
再編計画について、大きく反対はありませんが、まだまだ時間がかかることで、今通っている子どもたちに関係することではないように思います。 学区について、境界にあたる地域については学校を選択できるなど、せめて人数を調整できるような仕組みもあるといいなと思います。
再編するなら、もっと抜本的に再編するべきだと思います。今までの学区にとらわれず小学校単位で中心地に集まらない区割りにすべきだ。 あまりにも早く決めすぎだと思う。もっと地域での説明化を経た上でやらないと反発が多いと思います。
光風小中區割がマンモス化しているのが不安
光風小中一貫校、綾成小中一貫校はR13の人数予想も多いので教職員の目が子どもたちにいきわたらないと思います。教職員の人数が多くても子どもの人数がとても多いので、目がいきわたるとは思えないです。
一貫校の人数が多すぎ。特に成徳中が廃校予定に、光風中は7校の生徒（小学校）の学生を集り、校舎の分配、施設の数、足りない可能性が大きいと考えます。
マンモス校が義務教育学校か？（今の小6中3とどう違うのか？）
光風だけが大きすぎる。区割の線近くの小学校の自由選択が必要。 新学区割（案）では基準にあわない。

自由意見（意見）
R45 で 1000 人単位だか R13・R25 1000 人超えの学区。年単位で徐々に変更してくとよいのでは？
学区については、改めて自治体単位で検討しなおしてよいのでは？（新しい場所に学校がつくられることで自治体単位の考えも変わるかと）
先に質問された方で段階をふんでの統合は考えられていないとの解答でしたが R45 年まで再編されない学校は今よりも小規模校として、古い校舎を使用し続けることにとても不安を感じました。特に光風校区は R45 でも理想とする 1000 人以下にはなりません。光風、成徳に分けて段階的に再編していくべきではないのか？
光風の新学区はあまりにも広いように思います。特に深谷小から現在の光風中までは通うのが困難かと思います。校区を狭くするのは無理でも学校の位置を大成小あたりにして校区全体の中心あたりにするべきではないでしょうか？今の光風中は校区の端すぎると思います。
光風、正和新学区は範囲が広すぎると思う。区割りの検討が必要だと思う。 区割が広すぎる。→小学校 1 年生と中学校 3 年生が同じ建物へ通学することになる。毎日 9 年間通うからこそ、通学の方法などきちんと子供によりそった考えをもってほしい。通学の時友だちとの交流も子どもの成長や心の安定にとっても大切な事だと思います。
今でさえ不登校・自死のふえている状況の中、大規模（1000 人単位）になって、どうきめ細やかな対応ができるのか。インクルーシブ教育に関しても、今以上に建物だけでなく、内容の共通理解を市と現場で深めてほしい。
2000 人を越えるような義務教育学校では、提案されているような教育は無理です。もっと現場教師、教育専門家の意見を聴いて、小規模な小学校・中学校にするべきです。
光風小中一貫校について人数が多すぎると感じました。明成中学校の周辺が住宅街のため拡張できないことから、光風中との合併は理解できますが、成徳中学校区まで合併することは理解できません。令和 45 年度に最適な人数を目指すとありましたが、それまでに 2000 人を越えることは最適な人数の限度である 1000 人の 2 倍以上となり、これらの時代に通う子供たちのことを完全に無視しているように感じます。光風小中一貫校は光風中と明正中の半分、そのほかは成徳小中一貫校という分け方でなぜダメなのでしょう。明正中学校区で土地購入を考えていましたが、原案では明正学区どころか、桑名市を出る事も考えています。
聞くとところによると、光風中と市役所、JA 桑名の敷地に 2000 名詰め込むみたいですが、反対です。
新光風義務学校は、令和 45 年の予想で適正である 1000 人を超えている。すなわち、今の想定では、新光風義務学校は設立しないということをはっきりしてほしい。うちには 0 歳の子がいるが、今再編されると、ずっと不適切規模の学校に行くことが前提となる。それを容認し、税金を投入することは、子の教育を優先するなら不適切である。
小中一貫校のメリットや必要性は理解できる。人口減少に伴って必要なこともわかる。ただ、2000 人規模の学校を作るのはデメリットしか感じない。推奨とされる 1000 人規模になる時期を見込んで計画を進めるといふ訳にはいかないのか。小中一貫校のメリットは大規模学校では活かされないかと。それまでは小学校統合で耐える等。なぜ柔軟な対応ができないのか疑問。2000 人規模作って数年後には空き教室がたくさん。建設費設備費の無駄。
大和地区に住んでいます。学校再編の必要性は理解できますが、子どもが光風中まで通うとなると遠距離となり通学時の安全が心配なので、優先的に進めてほしいという気にはなれません。今回の資料では通学のことまで言及されず、再編後の生活の想像がしづらいつと感じたので、次回の説明会では遠距離の通学や今後の事業の見通しを詳細に説明してほしいです。
新しい学校が遠すぎる（深谷地区）。大山田の方が近い
新校舎は自力で通える範囲で考えてほしい。

自由意見（意見）
人口減少、施設老朽化な点で再編の必要性はわかる。ただ、人数の基準を設けるべき。2000 人規模はデメリットが大きい。①マンモス校化による個別対応の難しさ 2000 人規模は全国的にも前例が少なく、文科省の「適正規模」（600～1000 人程度）を大きく超えている。一人ひとりの児童・生徒に目が届きにくくなり、学習・生活指導の質が低下する懸念。「わからない先生」「知らない同級生」が多くなり、不登校や孤立感の増加が指摘されるケースも。②教員の負担増大とチーム運営の困難化 学年 6～7 クラスになると、学年主任や担任間の情報共有・調整が煩雑に。生徒指導・進路指導・保護者対応の件数も大幅に増え、教職員の精神的・時間的負担が増大。③ 安心感・地域性の喪失 小さな学校ならではの**「顔の見える関係」「地域とのつながり」**が薄れる。児童の移動距離や通学時間が延び、低学年の安全面や負担増も懸念。大規模化により、「自分の居場所」感を失いやすく、心理的ストレスも増す可能性。2000 人規模は全国的にも極めて稀。なんの検証も進んでない中でなぜ計画を急に進めるのか。小学校統合や中学校統合から初めて人数がある程度減った時点で小中一貫にしても問題ないのでは。市の進め方に不信感を抱いています。そしてこう言った意見も反映されない自治体に住んでしまっていることを後悔しています。
望ましい学区割の検討フローの基本条件で、小学校区は分けないという設定を行っていることに原案の問題点を強く感じます。現存のコミュニティに配慮しすぎた結果、当事者の子供の利益を損なっています。子供にとっては地域コミュニティを維持することよりも、学校からの距離の近さの方が重要です。新しく学校をつくるのであれば、小学校区は変えて子供たちが通学しやすい環境をきちんと整えてください。
近い小学校同士の統合の方が現実的。
大和が光風に通うことも距離的に現実的ではない。バス通学するにもバス運転士の確保が永続できるのか保証がない。もし運転士が集まらなければどうなるのか。保護者が送迎となると、この共働きの時代にさらなる負担が増え、市民の不満が増すばかりである。
小学校区の再編も含め、将来の交通整備も考えて校区について考えていくことが大切（校区の中に道路が出来て通学が分断されることで困ることも予想できる）
歩いて行ける小学校が理想だと思うし、そうであってこそ「地域で育てる」ことができると思う。
学校の場所が光風とかは、はしになっておりよくないと思う。
光風中学校の敷地拡張敷地に桑名市役所が入っています。現在の場所から移転させる予定なのかもしれませんが、移転させた場合、利便性、災害時の連携や周辺の資産価値が落ちるので、小中学校と共存できる計画にしていってほしいです。
つくば市が新規を行わない理由に生徒数が多いと問題が起きる可能性が高く、発見や解決が難しいとされています。つくば市では 2000 人を超えている学校があり、人数が多いことに対する問題を提起しているため、桑名市は敢えて問題が起こりやすい光風地区を早く建設する必要はないと強く提案します。R13 年で 2218 人予測のため全く早急に義務教育学校にする必要はありません。
原案での光風小中一貫校の案ではあまりに多くの生徒をひとところに集約してしまうため、マンモス校ゆえのデメリットが大きくなるからです。私の住む益世地区は、利便性等からまだ急速な人口減にはならない地域でクラス数の維持も可能であるため、少なくとも 2 クラス体制が維持できる間はこのままの方が良いと考えます。しかし、設備の老朽化は気になります。息子の運動会の際に小学校の設備を見ましたが、確かに老朽化が進んでいるように感じました。将来的に小中一貫校をつくるから老朽化に一切対応しないというのではなく、長寿命化工事という形で夏休み等を利用して少しずつ設備を新しくしていってほしいです。三重県の県立学校では老朽化が進む高等学校に長寿命化工事を実施していました。夏休みを利用すれば生徒への負担は少ないはずで、いずれ廃校になったとしても、その施設を有効利用するならば長寿命化工事は無駄にはならないはずですので、対応をお願いしたいです。県立学校の長寿命化工事の概要を添付しておきます。
現状の分析と令和 45 年度を見すえた方向性を出して頂いて分かり易かった。取組みには個々の課題が発生するが、トータルで決断していく事が大事だと思います。
あるべき姿＝計画案を変えてほしい。市と市民の考え方にギャップがありすぎる。

自由意見（意見）
子供達の体力づくり、心と体の健康、健全な成長のためにも徒歩で通える小学校に通うことはとても重要だと考えます。小学校は既存のまま活用し、中学校は9校→7校にまとめる形でもよいのではないのでしょうか。 ICTを活用し、オンラインで他の小学校と共に学び考え協働する、意見交換することは可能ですし、メディアライブなどの施設を利用して合同で共に学び関わる行事を新たに取り入れても共に学び考えることは実現できます。大人数を集めても心も体もきちんと育てられる環境兼スペースが整えられるか不安があります。小学校は今のままで、新しい取り組みで市全体の仲間達と関わることもでき、普段は少人数でのびのび学び思いきり広い場所で遊ぶ走るなどさせてほしいと思います。 活発に発言し、活躍できる場があたえられるのはマンモス校ではなく、小規模校だと思います。小学生のうちに責任感思いやり、リーダーシップを学んでほしい。
正和中学校だと、やんちゃな子がいる可能性が高く、学力も他の中学校には劣ると聞いていたので、明正中学校を希望していた。大学も希望しているため、きちんと勉強できない環境に通わせるのは子供に申し訳がない。
光風小中一貫校に、深谷小、大和小が含まれることに無理がある。距離、地域とのコミュニケーションがうすれること。 成徳、明正校区を残してほしい。
この会場に集まってる人はそもそも不満がある人、市に対してただ批判したいだけの人が多いのでこれが市民全体の声ではないのをまず理解して下さい。 説明のパワーポイントのとおり時代の流れと現時点の少子化の危機的状況、校舎建替えの費用を考え小中再編の必要性は理解できるがやはり区割には納得できない。 物事にはメリット、デメリットがあり、現時点メリットが多いので進めるのは賛成だが改善点はまだまだあるのでしっかり協議したい。
再編の型によります。
バスで毎日深谷から通学するなんてひどすぎる。 子育て世帯が桑名に住まなくなり、老人ばかりになり桑名が消滅します。 これくらい、あたりまえでしょう、原案あり！！で異常です。
新しい学校配置数「7」が校地拡張から決められているのは本来の目的から外れていないか。
光風中学区に住んでいます。ハザードマップを見ると、光風中、市役所は浸水地域にあたり、災害時に被害が予想されるため、子どもを通わせることに不安があります。大成小学校は高台にあるため、そちらを建て替えの候補地とする方が良いのではと思います。
北小－光陵区なので変化はないのでどちらでもよい。
公立幼稚園に関しても存続を望みます。預かり条件の改善をする為に光陵幼稚園を試験的にこども園化して欲しいです。
学童保育の充実も考えていただきたい。（全ての学区に設置されていること、希望者が全員入れること、親が働いていなくても長期休みに利用できることなど）
併設している公立幼稚園についても存続に関して同時に検討をお願いいたします。
公立幼稚園について 桑名市の公立幼稚園はその歴史的背景から現在も敷地や給食設備は共有している現状があります。今回の計画には公立幼稚園がどうなるかの記載されていませんが、市としてどのように計画しているか教えて欲しいです。個人的意見としては、小中再編が行われるとしても、公立の就学前施設を廃止することは絶対にやめてほしいと願います。私立幼稚園への通園を希望しても園側から受け入れを拒まれる子がいたり、家庭の事情で私立に通わせられない子は一定数存在していて、受け皿がなくなってしまうからです。公立幼稚園の1園化や、公立のこども園を作る等、市として公立の就学前施設が存続できる道筋を検討してほしいと思います。桑名市のすべての就学前の子どもたちが安心して就学前施設に通える環境が守られていくことを強く希望します。
中学校区に合わせての幼稚園の今後はどうなるかの説明もなかったのでこちらもお願いします。

自由意見（意見）
学童も、無くなっては困るので、新しいところでもしてあげてほしいと思う。→新しい所/なくなる学校の所です etc.
藤が丘小に陵成幼稚園が併設されているが、幼稚園も一緒に移転するのか知りたい。
スクールバスの財源は本当に大丈夫か？見積もりはとって、市民への負担等は大丈夫か？その見通し分も公にしてから検討していかないと、市の財源は圧迫すると思います。（下校時のスクールバスの経路等特に大変だと思うが大丈夫でしょうか）
多度学園ではプールは市のプールを利用するとのことですが、他の再編した学校もそうなるのか、など、施設面の話もありませんでした。
世間一般でたまにニュースになる「男子中学生から小学生男子女子への性的いたづら」を防げるような校舎の構造にしてほしいです。自由に行き来できるメリットが悪い方へ向かないように考えていただきたいと思います。教室やろうかに監視カメラ、トイレの入口や体育館倉庫内にもカメラがあってもいいと思います。防げることは建物で！！だと思います。先生の目にも限界があると思います。そして悪いことをする人はスキをついてくると思うので、初めの対策が必要だと思います。
立て替えと同時にプールを民間に委託するなど、郊外での実施を進めてほしい。
給食がどうなるのかを明確にしめてほしい。
給食室を作ってほしい！
給食センターを近くにつくってください。
資料では同じ敷地内での建て替えは、騒音・振動の観点から子供達の学習環境、工事車両の出入りについては安全面の問題から不可能と記載がありますが、陵成校区については候補地が大山田東小と第四公園となっています。同じ敷地内では不可能と断定しながらすぐ隣の敷地を候補地として問題ないとした根拠を提示頂きたいです。実質そこしか候補地が無かったのならそれはそれで説明して欲しい。子供達の学習環境と安全を考慮するなら必要な事です。
工事中の学校の授業が（在校生）通常の時と同じ教育が受けられるのかが心配です。
私は今公民館で勉強していますが、先生は15人以上の生徒がよいといってみえます。大人でも少人数学級がきめこまかく教育が出来るといってみえるのだから子供達は物事をどんどん吸収するのに個性もあり先生の目の届くところにおいて下さい 仮設校舎の件、今、大山田公民館の立替の時も受け入れ先はありました。工事も子供の勉強になるのでは。
校舎の建て替え中、在学生の勉強環境には十分配慮いただきたい。特に受験期の学生が勉強に集中できない状態になると気の毒なため。
工事の際には児童の安全に何よりも気を付けるようお願いしたい。当然意識をされるとは理解しているが、そのうえで工事業者の安全行動徹底、児童の危険行動抑止の仕掛けをしっかりと実現いただきたい。
教育は少人数制の方が理解度も深まる。教育については、効率のみで計画しないで欲しい。魅力ある学校作りができれば、子育て世代も集まりやすくなる。市としての魅力もUPし、育った子供たちも桑名で子育てしたくなるような一歩になると思われる。
学校を適正な規模にするために、学校再編が必要なのは理解できるが、義務教育学校建設の必要性とは結びつかない。

自由意見（意見）

子どもたちを最優先にとの説明があったが、市の財政より経費削減に重きをおかれているように感じる。小中一貫校にメリットがあったとしても、これほどの人数が狭い敷地内で過ごすメリットが、生徒側にあるとは思えない（特に光風小中学校区）。本当に子ども達のためを思うのであれば、土地の広さに見合った人数にすべきであり、特に光風小中学校の生徒数は多すぎるため、2校以上に分ける必要があると考える。R45年の未来に軸を置いて考えられた案で、今の子ども達にとってよりよい環境を考えての案には到底思えない。今の子どもたちに市の財政難の我慢を強いている案に感じる。生徒数が少なくなりクラス替えができないことへのデメリットを説明されていたが、これほど生徒数が多いことにより、毎年クラス替えで初めて一緒になる人ばかりになることによる心的ストレスなど、デメリットも大きく感じる。小中一貫となることにより、運動場や体育館の使用できる頻度が減ることが目に見えている。学習能力だけでなく、運動能力を伸ばすことも重要な中で、機会の妨げとなるのではないかと。不登校児童も年々増えているような世の中で、マンモス校内で一人一人のケアがきちんとされるのか。2200人の生徒に対して校長先生が一人しか配置されないという時点で、対応には限界があると初めから匙を投げられているように感じる。不登校となった場合の子ども達にリアルな別の居場所ができるように、フリースクールの新たな設置等も併せて検討してほしい。今回のような計画を土地購入前に知っていれば、他市町村を含めた別の土地を購入すれば良かったとすでに後悔をしている。同様に、定住先を考える上で学区を重要視している人にとって、これほどのマンモス校はメリットとするより、デメリットと考える人の方が多いのではないかと。その場合、今後土地を購入する人の中には、他市町村での土地購入へ切り替える人も一定数発生し、人口減少、少子化の加速、地価の下落により財政悪化に繋がる要因になるのではないではないか。

少子化が進む中、校舎の老朽化がある中で小学校、中学校を統合することは理解できる。一方で本日の説明会で頻繁にお話されていた単学級のデメリットが理解できない。小学校を単学級で過ごした方も中学、高校、大学になるにつれて多くの人に出会い多様性、協調性は育まれると思いますし実際にそのような過ごし方をされてきた人もいます。少子化が進む中で1学級35人がいいのか国も考えていくのではないのでしょうか。施設形態についてももっと詳細に説明しどのパターンがいいのか伺ったほうがいいと思いました。東南海地震が将来あるので耐震性に優れた建物、教師が減少する、負担が多くなる中で今回の統合という形が最適でそのためには学校再編が必要という論旨のほうがいいのではないかと思います。

学校再編の基本方針について日本の学校構成は6-3-3-4年です。概ね人間の発達に適した構成だと思っています。一貫校の主流は大学受験に合わせた中高一貫であって、これは岩盤のように固く存在していて、9年生の義務教育校を実施するのは、4月入学を9月入学に変更することの次ぐらい実現するには難しいのではと推測します。ですから、義務教育9年間の学年制は5-4や4-3-2など自由な組み合わせができるものの、実質できる学年制は6-3を取らざるを得ないと思います。既存の学年制を変更することはスタートする時だけではなく、既存の中高の学校構成を横目に、常に会議と調整が必要になり職場を疲弊させることになることも予想されます。子どもの成長を見守るには、小中の職員が同じ建物、職員室で業務をするだけで、直に子どもの様子を見聞きでき、報告や連絡することなしに認識、問題共有できることも多々あるでしょうから、より適切に素早く子どもに接することができると思います。9年間の統計性を確保。教育課程での義務教育校の人事について。現行の人事は同じ学校に最長で8年間までしか勤務できないはずで、これでは同じ学年の1年生から9年生まで成長過程を見守る教員が誰一人いないことになり、系統性を確保した教育課程を担保できるとは思えません。また、時代はあらゆる業務でのAI実装が進み今までにないほど、急激な変化が起こることが予想され、一人の校長による一体化された9年間の子どもの育ちを見通した学校目標の設定はほぼ不可能だと思います。小中一貫型小学校、中学校の組織の方が時代の変化に小回りが効き適応力があると思います。

スライドと資料で説明されるのを聞くと、いろいろ配慮しながらの提案のように思えますが、桑名全域を義務教育学校化する案には反対です。

1000人～2000人の大規模化した学校で、きめ細やかな教育ができないと思う。マンモス化に反対。少人数学級を大切に。

義務教育学校を作るメリットを感じません。世界的にも小さなクラス、小さな学級がこどもの教育環境にとってより良いとされています。小中分離のまま建替えか改修を希望します。大規模、過大規模の学校は不登校や荒れを招くとの他県の検証結果にもあります。予算より子どもの教育を1番に考えて欲しいです。

これからの予測困難な時代を生きる桑名の子どもたちにとって、小中9年間を通して多様な交流が自然発生的に起こるであろう義務教育学校の設立は必要不可欠と感じました。

自由意見（意見）
子供が減少する将来、学校運営を維持するためには統廃合はやむなしと思います。現状の数の学校がある時代に育った世代には、寂しさや変化に対する抵抗感がありますが、改革も必要。ただ、それでなぜ「義務教育学校」なのか？という点については、根拠が弱い印象です。学校は第一に子供の場所であるので、子供達を中心に考えて頂きたいですが、多額の費用がかさみ、結局途中で打ち切りというようなことにならないよう、慎重に検討して頂きたいです。
義務教育学校を作りたいという願望しかない。行政の勝手な理論。
義務教育学校である必要はないと思います。 小学校と中学校を残すべきと思います。小学校と中学校を残すことで、きめ細やかな子供達への配慮が可能と考えます。
施設老朽化や先生方の業務効率化のためにも、適正規模での教育環境となる義務教育学校は必要不可欠です。子どもたちの教育環境を考えれば、自分たちの居住区での義務教育学校設置は早急に取り組んでいただきたいと思います。
義務教育学校ではなく、小中一貫型小学校・中学校であれば賛成。
桑名市の小中再編計画に否定的な意見をお持ちの方もお見えと思われますが、これからの未来の担い手となる子どもたちを一番に考えれば義務教育学校の設置はマストだと思います。子どもたちが多様な出会いを通して、くわなっ子として未来をたくましく生きて行くためにも、1年でもはやく小中学校再編を進めていただければと切に願っています。
市として、進めたい案なのだと思いますが、先に記載した、本当に義務教育学校が最適解なのかの検証結果は開示いただきたいです。
やはり再編が子供達にとってどうなのかというところが肝であり、その点でもう少し義務教育学校の説明が必要なかなと思います。具体的には全国では先進的に導入した事例が多くありますので、そうした事例を取り上げながら、導入のメリットとデメリットを公平に示す。その上で市としてはメリットの方が大きいと判断したといった形をとる。本日の説明だと一方的に市が義務教育学校化を押し進めようとしているように感じてしまいました。現行の制度上、最終的に計画を策定するのは市になると思いますので、一連の説明会で出た建設的な意見は踏まえて頂き、より良い計画にして頂ければと思います。本日はありがとうございました。
義務教育学校を早期につくると、大規模の学校が必要になるが、時間経過に伴い児童生徒数が減少して問題や無駄が生じる可能性がある。
義務教育学校という語に戦争中の国民学校を思い出す。
小中統合は賛成だが、義務教育学校には反対。 小学校中学校のいいところもあるため、そこは活かしてほしい 中学校から私立へ進学する子もいる中で義務教育学校だと、子どもたちの可能性をつぶすことになりかねないと思います。
義務教育学校になってしまうと、9年間の課程を過ごす児童や保護者に対し、校長が1人という組織になることへの不安を感じました。←大規模校になることで校長の業務の負担や児童とのつながりが弱くなることへの不安。
子供の教育のためという大義名分と一体型義務教育学校とが結びついていない
少子化の対策として何故大規模な義務教育学校にしようとしているのか全く理解できません。又、具体的な事柄の説明もなければ不安でしょうがないです。
今日の話を聞いたところでは桑名市の学校が画一的なものになってしまうと感じます。各々の地域にはそれぞれの個性があると思います。画一的なものになるのは反対です。 机上の空論にならない様に
少子化の進む中、建設的な考えは必要と思う。6年、3年編成の枠組みとらわれず古い考えの脱却、時代に応じた編成が必要
生徒の減少、学校施設の老朽化を理由に、建設を中心に考えているように思う。生徒の減少は小学校の再へんと施設の補強を行い、施設分離型にするようにした方がよいと思う。

自由意見（意見）
小学生が同じ校舎にいる事によって変わるとは思えません。1つの校舎になるならば、小学校棟・中学校棟みたいに分ける事も必要だと思います。特別教室や体育館なども2個ないと授業の時間数も足りないと思います。やってみないと解らないのが現状なのでしょうが、不安は多いと思います。
小学校卒業という節目がなくなり高学年の意識や成長の実感がなくなる。又中学校入学という意識がなくなり中学生になるという期待がなくなる。 生徒数に対して校庭、体育館、図書室、理科室などが足りず、教育が十分になりたたなくなる。 現在小学校での問題をかいけつして欲しい（トイレ、雨もり等） 建て変え？老朽化？これから長い間かかるので、老朽化が進んでいる所から建て変える必要がある。
1学級Max（40人？小35人？）プラス支援級生徒数で1クラスとなると、1クラスの人数が多すぎる。これが年々ふえている。支援級の人数を含めて1クラス30人までなどとするべき。先生が大変。大人数がまわれ右の状態。個々の個性に合わせられない。子どもが可哀そう。
9年間の連続した学び、多様なコミュニティの環境整備は個人的にとっても大切だと思います。費用面等課題は多いと思いますが、子供達の将来を考えると是非推進して欲しいです。ただ、一学級の人数が増えすぎるのも教員の負担的な面で厳しいのかなと思うので、人数は25人程度が妥当なのかなと思ったりもします。
再編の基本方針が理解できない。 R45年時点において1校あたり学級数18~27学級、児童生徒数600~1000人程度を維持できる学校規模であることを基本としているが、児童生徒数の規模が大きすぎる、小中ともに20~30人/学級程度が妥当だと思う。小規模校のメリットもあると思う。
1クラスの人数も多く、教室の中で動くにも狭いです。近隣の小学校が半数、それ以下で過ごしている中で、これは少し不公平感を感じています。1人1人に目が行き届いているか不安です。
望ましい学校規模について、1学級当たりの児童数が小学校35人、中学校40人となっています。授業参観などにうかがうとそれらの人数設定では多すぎると感じています。児童の多様化などをふまえても、定員を減らしたり、複数担任制にするなどの検討も必要ではと思います。
物理的な面での再編は必要と思うが、教育内容などのソフト面の再編のメリットについての内容は少なく、教育内容がどう変えていくのかもっと具体的方向が欲しい。
せっかく小中一貫になるなら教科毎に専科にしては？→その方がより質のよい教育受けられるのでは？
義務教育学校にすることで、従来の小学校、中学校教育とどう変わるかを詳しく知りたいです。（教職員の1校当たりの人数、カリキュラム、学校施設の記簿等）
1学級あたりの児童数は厳守してほしい。1クラス40名以上いて教師の目が届くわけがない。人数が増えることで、子供達があれたりすることがないようにしてほしい。
大学教員です。自らの経験よりいくつか意見があります。1学校当たりの生徒数が多いほうがいいとあるが、教員的にはクラスサイズ、学校規模ともに小さいほうが各生徒にきめ細かい教育ができ、生きる力をはぐくむような教育が可能になると思う。現在は価値観が多様化しており、いじめの問題も深刻化しています。学校集約、大規模化は生徒へのきめ細かいケアに逆行すると思います。そもそも計画の意思決定者の中にいじめを経験した人や学校で先生に無視されたり、苦い経験をした人も入れるべきだと思います。現状では市役所職員などの比較的学校でうまくいった高学歴の人しか入っていないのではないかと思います。
1つの校長、教職員組織である必要性があまりよくわからない。生徒の顔、名前が一致しない先生がふえるのではと思う。たてわりではなく、連携という方法で、なぜうまくいかないのか。教師不足を解消しようという意図に思える。
「義務教育学校」型の運営では教職員の方々への負担がおおきくなってしまうのではないかと思います。小学生への指導、中学生への指導はそれぞれ内容も専門も異なるものだと思うので、一貫校になることで、学年に応じた学習や、子どもたちへの対応の仕方が最適なものになるのかどうか心配です。
教職員の負担が減るようにしてほしいです。

自由意見（意見）
教職員の負担が減るようにしていただきたいです。
仕事で講師をしており、教員にもとても興味があり当人方の気持ちも感じ取れるのだが、今みえる数少ない先生方(特に若い方)を大切に絶やさずに、過労働や過負担にならない方法を取っていただき、未来の子供達の為に、長く勤めていただきたいです。
人数が多いと先生は把握できない。私は今教育・保育職についている為それが充分分かる。研修でも、大人数の先生で大人数の生徒を見るより、どちらも少人数のほうが安全に把握できる(大人数だと他の先生への伝達事項が多くなり、それが情報過多になり意識されずに過ぎてゆく)。
寄せ集めではなく、少ないからこそその利点もある。多様な価値観に触れる前に潰れてしまう。多様な価値観の前に、それについていけない子どもが増えるとされるが、対応できる職員は足りるのか？今でも足りていないのに。支援の子が増えると孤立し多様性どころでは無い。
教員の負担が増えるのでは？と心配です。今でも先生方は子ども達の授業や生活面、行事の事など残業して遅い時間まで動いてもらっているのに、一体化によって会議の時間等増えるだろうし…良い先生方どんどん辞めていってしまうのでは？と教師の質が下がることが心配です。
学校再編にメリット、デメリットはあると思いますが、子供と教員、保護者の方々が相互理解できるような改善を進めてほしいです。現在コンプライアンスが厳しい中で、教員の方は言動に注意しながら働いていると思います。今の現状でまとまっていない、クラスの話などもよく耳にします。人数が増えることによって教員の方の負担が増えるのではないのでしょうか？教育は子供の為にあります。市政を良く見せる為の道具ではありません。今一度子供に寄り添った教育案を考え直すべきだと思います。
小中一貫については施設の老朽化・児童の関わり減少のこともあり賛成です。ただ…以下の2点が心配です。 施設一体型…これは反対です。職員間の連携はできると思いますが職員室が1つとなれば、職員数も100～200人となり、会議が非常に大変かと思います。職員として子どものために時間を費やすことはしたいのですが、ムダな時間がおおくなってしまいそうで心配です。隣接型は不可能なののでしょうか？また職員室を増やすなど…。子どもにとっては良いかもしれませんが、今の計画だと教職員への負担が大きすぎます。どのような施設にするのか考えてほしいです。（現在、桑名市で教職員をしている者です。）
先生方のライフワークバランスを考えて、負担を減らして、無理なく長くお仕事が続けてもらえるようにしてもらいたいです。
とにかく、今後桑名市で末永く子ども達へ充実した教育を提供できるよう、そのために先生方の働き方を考えてもらいたいです。
教職員不足への対策として小中学校で人員の融通が利かせられるのは良い。
障害を持つ生徒のサポートは十分に出来るのか。昨今ますます障害を持つ生徒のサポートが重要とされているが、専門知識、資格、経験を持った人員は配置されるのか。
教員について、1校あたりの人数が増えると、教職員の数も増えるので、1人あたりの校務分掌は減るが、同じ学校で働いているのに、なかなか関わりのない職員がでたり、連携がとりにくくなる。大きな学校にする必要は決してなく、1校あたりの教員数を増やすことを視野に入れていただきたい。
小中学校の再編については基本的に賛成。昨今の出生数の減少を見ていると、想定しているよりもかなり早く生徒数の減少が学校運営に影響を及ぼしてくると思うので、できる限り早急に進めてほしい。それにあたって、多度学園の運用開始までにかかなりの時間を要しているようなので、1校あたりの再編にかかる時間を減らす策を考えていただきたい。
桑名市の予算内でできることを望みます。 『小中一貫』にこだわらなくても良いと思います。 地域差で生まれることは仕方ないこと。まずは実現できることから始めてください。大成山・光風学区色々意見はありましたが、まだ原案なので仕方ありませんよね。山あり谷ありですが、頑張って下さい。

自由意見（意見）
一貫校になる事で小学生に悪い影響を与える中学生はいないと言っていました。それはその学校のことで地域で違うと思います。実際に今現在ある学校の中学生は悪いと聞きます。
少子化に伴う再編は理解できました。ただ、漠然と義務教育学校と言われてもよく分からず、小中一貫校になるメリットや、具体的な内容について説明がないように感じました。小学校、中学校をそれぞれ再編するのだしたら大きく教育内容が変わることはないでしょうが、小中一貫校となると、教育内容が変わるのかと思います。来年度から始まる多度学園ではどのような教育内容になるかなど、具体的なお話がなく、分かりにくかったです。
小学生が性被害に遭ってしまう可能性が高くなります。このような一貫校建設を、してしまうのであれば桑名市で育児がしたいと思えません。桑名市から引っ越します。
小中一貫校の設置と小学校の統廃合は本来別問題
主体的、対話的学び教育を現在の教師が手探りでやっている現状があるのに、施設を変えたらそれができるようになるか疑問に思う。子どもの人数が減るための再編成は仕方のないことだと思うが、それを小中一貫で行う必要性を感じられない。小学生、中学生という時代をしっかりと経験させてあげてほしい。
児童生徒数の減少や学校施設の老朽化については理解できるが、それが小中一貫校にという一択な点は理解できない。多度で10年かかったからはやくから計画していくという考え方はわかるが、今の説明では不安しかない。「変更はあっても中止はないと言っていた」という声をきいたが、それを聞いて本当に市民の意見、子ども達や教育現場の人達の話を受けて受け入れもらえるのかと感じた。もっと寄り添いあっていけたらいいのに。
小中一貫のリスクが高い懸念。中学生が小学生に与える影響が怖い。小中一貫校にしなければならぬなら小学校区分、中学校区分は分けて欲しい。小学生側のリスクが高く感じられる。小学校同士を統合、中学校同士を統合するのが1番リスクが少ないのではないのでしょうか。
計画実行ありきに見えてしまうので、反発も多いと思いますが、費用面も大事ですが、子供達教育環境について、少子化の打ち手が義務教育学校のみなのか？という点が1番大事だと思います。
人口が減少していく町において統合する方針には概ね賛成。ただ、小学校、中学校をそれぞれ統合する形でも良いように思った。一学年における人数でいえば、小中学をまとめずとも小学校のみ、中学校のみで同様の規模確保ができる。小中学連携もトップ1人としなくてもよいのではないか。説明会の中でも説明があったが同様の敷地内に小中学それぞれ建てる形を望む。中学生が小学生に与える影響は非常に大きい。必ずしも良い影響でないことが多いのではないかと懸念する。
どの学校も、道幅も狭くて学校に保護者が行くのも困難です。個人的には、子供の体格的に小1の子からみたら中学生は怖く感じるので、一体型よりかはせめて分離型がいいなと思います。学区に縛られる事も、今の私立の幼稚園や保育園のように柔軟に選択していける方向性も考えてほしいです。
小1～中3が共同生活することによりトラブル増加や体格差・年齢差での勝ち負けがありそうで怖い。
小中一貫は、教育環境が世界ワースト、学力が世界ワーストに！
小中一貫校にする理由・根拠が薄い。
小中一貫教育の意義が理解できない。
“一貫校”にこだわらないでほしい。 “私立”と一緒になくてもいいと思う。
「小中学校一貫にした方がいい」という積極的な理由ではなく、「様々な要因で、せざるを得ない」のだなと感じました。小1と中3では、年や経験が違うので、一緒の環境でよいのか？という不安はありますが、1クラス同じ人間関係が続くより、全校生徒は多い方が色々な刺激をうけそこはいい点だと思います。
6才から15才を同じ校舎にする理由がわかりません。

自由意見（意見）
再編計画が進むようなら引っ越しも検討している。やはり小学校は小学校で中学校は中学校で見てもらった方が専門性も高いと思うので安心できる。
クラブ活動1年～9年生だとうるさいのではないかな。
小中一貫校では9年間同じ施設へ通うことになり、慣れて通いやすくなることも良いが、義務教育の間で1度環境が変わることによってそこに適応する力もつくと思うから。
中学生はホルモンバランスや成長の過程でグッと大人びていきます。それは反面、荒々しさ、激しさを増すという捉え方もできます。そのような多感な時期の子たちと小学1年生が共に過ごすことを想像すると親としては怖さを感じます。現状の小学生だけの生活であっても、休み時間は先生たちの目が届いていない現状です。そんな中で年齢の幅がさらに増えて、人数も増えて、細やかなケアができるのか？先生の負担がさらに増えるのでは？と感じます。そして、交流をすることやコミュニケーションを取ることは必要だと思いますが、それはここまで年齢の幅や規模を大きくすれば良いとは一概には言えないと感じます。我が子は立教小学校に通っており、短学級です。クラス替えがないことを子どもたちは残念がるのは事実ですが、全校生徒の顔と名前を覚えており、他学年との交流が盛んだと感じます。中学校が分かれる際の不安もありますが、それも小中合同の学校を作らずとも解決できるのでは？と感じます。
勉学については9年一貫で良いと思うが、精神的には其々の進みがあるので、何もかも一貫にしないで良いと思うし、それに対応できる先生がしっかりといるのか、教職員も負担やキャパが増えることは逆効果に繋がるので、そちらから補強していただきたいと思う。老朽化や維持は大変だと思うが、小規模ならそれなりの良い面も沢山あると思うので、そちらを考えても良いのではないかなと思う。
小学校と中学校はせめて建物をわけてほしいです。
小中一貫になってからの授業の進め方など、どのような変革がされるのかが具体的に知りたかったのですが、反対ありきの意見の方が多く、今回はあまり聞けなかったのが残念でした。
小中一貫校の必要性が理解できない。子どもの事よりも市として負担をへらしたいとしか感じない。
具体的に各中学校、できれば各小学校単位で説明会を行って欲しい。小中一貫といっても例えば、大成小学校で姉の同級生が剣道部がないため越境で成徳中学校以外の中学校へ通学しています。クラブで中学校を変えている現状、その場合の小中一貫はどうしていくのか説明していただきたいと思います。
友だちと離れなくて良い子と子ども同士で仲が悪い場合、離れられてリフレッシュできるという事もあるので小中一貫のメリットデメリットももう少し深掘して計画して欲しいです。
まだ一貫しなくてよいと思った。小中一貫より中高一貫がよいと思ったから。
小中一貫校は子どもたちの利益にはならない。「子どもたちのために」と言うならば小規模学校でも現行の小学校・中学校を維持すべきではないか。
校舎が古くなっていることは事実で、新しくなることで設備や環境がよくなることはよいと思いますが、「小中一貫」という部分で課題は多いかなと思います。
それぞれの学校のルールがあり、つぶされそうだから。
小中一貫校が良いとは思わない。
先ほどのところに全て書かせていただきましたが、不安が大きいです。
中学生と小学校が交流は性被害を増やします。小学校にとって大きい中学生は怖いですが、子供がのびのびと生活できると思いますか？配置にも問題があります目が配れません。桑名市での子育てを周りにすすめることはなくなります、私も桑名市から引っ越します。
9年間同じ同級生なのは、デメリットも多いはず。中学入学で新たな人間関係を築ける経験は、高校、大学、就職しても活かされるはず。小学生、中学生どちらも家にいるが、中学生が小1に優しくできる子はほんのわずかと。中学生の反抗期はなかなか大変で、小学生に悪影響にならないか心配。

自由意見（意見）
繰り返しになりますが教育長の「中止はあり得ない」という発言は衝撃的でした。またモデルケースである多度の学校の結果を数年見てから案を策定するのが妥当であると思うがなぜそれを待てないのか疑問です。これは質問する方がいましたが、そもそも小学校と中学校を統合する意味がわからない。特に小学生と中学生では発達段階が全く違うので一体型の同じ建物に入れるのは危険だと思います。中学生が小学生の面倒を見るようになるとか小学生が中学生を見ていいモデルになるとかおっしゃっていましたが中学生の中には不良の子もいまして、体の大きさが全く違う中学生が小学生に危害を加えるケースが予想されます。小学生、中学生共にまだ精神、身体共に未熟ですし責任も取れない中で小中ごちゃ混ぜになることの危険性はどう認識されているのでしょうか。海外では小中一貫はあり得ないです。（中高一貫は一般的ですが）
小学校の合併ではなく、小中一貫校にこだわる理由がまったく分かりません。小学校と中学校が離れていても、zoom等で先生同士がコミュニケーションを取ることは簡単に出来ます。9年間のカリキュラムも、一貫校でなくても出来ますし、そもそも先生方の他校への移動や、校長先生の交代もありますよね？2千人を収容出来る大きい施設を10年以上かけて作るより、今ボロボロになっている学校の一早い修繕を！体育館に冷房を！プレハブを校庭の端に建てて工事をしてい学校も、近くの土地に新校舎を建てている学校も全国にいくらでもあります。不可能ではありません。どうしても無理だと言うのであれば、工事中は他校の空いている教室を活用して完成まではそちらに通学するなど、いくらでもやりようはあるはずです。このままの計画では、深谷小地区など、学校からかなり遠くなる地域から子育て世代がいなくなると思います。子どもたちが安全で快適に過ごせる環境を整えてください。桑名市で子育てがしたいと思えるように、今からでも思い切った方向転換をお願いします。親は、子どもの安全と幸せを一番に考えています。
少子化であるため、再編は致し方ないことであると考えます。しかし、施設一体型小中一貫校（義務教育学校）及び、この再編計画内容には反対致します。小学校一年生と中学3年生は大人と幼児くらいの差があります。（体力面、精神面含め。）ハイハイしている赤子と走り回る大人が同一建物内にいる（しかも中学3年生は大人でなく、未成熟の子供です）という状態です。その上、校長1人は不可能と考えます。また教員の負担も増します。いじめ問題（そのほか、多様性などの問題も含め）など深刻、複雑化する中で、小学生から中学生までを一緒にするというのは問題がより複雑、深刻化するだけです。説明会及び資料からは、メリットしか考えられていません。問題については、実際に義務教育学校が始まってみて、出てから（起こってから）はじめて考えるというスタンスでした。質疑応答にて、つくば市で起こっている問題、前例が既にあるにもかかわらず、それを検証されている感じが全くありません。（メリットしか見ていない答弁でした。）多度中高一貫の通学路問題含め、子供達のこと、桑名市の未来を考え抜いた計画でないことに市民としてこの再編計画に反対致します。
異年齢間の交流ができる等の説明がありましたが小学校は集団登校で日常的に異年齢交流はなされていると思うので改めてする必要は無いと思う。中学生が小学校低学年の子の優しく面倒みるようになるとの意見もありましたが第二次成長期真っ只中の中学生にそんな余裕があるのだろうかと思う会場でも意見としてでていたが逆に自分より確実に非力な存在が目の前にいれば精神状況によっては、おかしい行動する者が出てこないか心配になる
異学年交流は少人数のほうができている。同学年が増えたほうが機会は減る。
子どもがへる事は理解できる。小学校のクラス数が多くなるのが気になる。小学校から中学校への段差が大きいことは差をなくしていった方がよいと思う。
子供のためだけなら再編は必要だと思う。だが、一体型より隣接型が適切だと思う。小学生の成長と中学生の成長が違うので、同じ学校で生活すると、大体大きい問題が発生すると思う。この問題を解決するには「簡単に対策できる」とはなかなか説得力がないと思う。もちろん予算があると思うが、本当に子供のために考えてほしい。
生徒目線で考えると、小学生（6歳～12歳）と中学生（13歳～15歳）の子供が同じ環境にすることでメリットもあれば、必ず弊害はあると考えています。おそらく子供に、6歳～15歳の生徒が同じ環境に9年間もいることについてどう思うか聞いてみたら「嫌だ」と言うと思います。
保護者等アンケートで少子化に伴う児童生徒数の減から統廃合はやむなしの意見が7割以上あるが、そのことと小中同一敷地内での一貫校の手法とはイコールとはならない（校種としての）

自由意見（意見）
デメリット ・騒音が勉強のじゃまになる。 小学校の子は元気に大声も出して外で遊ぶと思う。音楽は大声でうたう。中学生の子からしたらうるさく勉強にならないという問題になると思う。勉強に集中できず学力が下がると思う。一貫したら問題がたくさんでくる。中学生がかわいそう。 メリット ・先生の数が少なくなっており、一貫したら楽になるのではないか。 デメリット ・学校が遠くなり行くのが大変になる。心配。 子供が少なくても学ぶことができる。いろいろ学ぶグループを変えればよいと思う。たくさん人数がいても会話をする子は決まっている。人数がたくさんいても少なくとも同じ。 ・中高一貫校でよいのでは？
一部の小中学校の廃校は必要だと考えるが、小中一貫校とするのはコストもかかり必要ないと思う。
生徒の人数が減少し統廃合せざるを得なくなるのはいたし方ないと思う。 ただこれにあわせて小中一貫校につながる内容が今一（いまいち）理解できないところがありました。
ちょっと統合案が雑な気がします。時代の流れで必要なこととは思いますが、通学等考えるともっと慎重に考えるべきかと思います。
年長、1歳児の子を育てていますが、小中一貫校となることについて深い不安と違和感があり、子どもを小学校へ送り出すことに非常に先が見えずにいます。子どもが大きなトラックが行き交う交差点を通学していくことに安心して自宅から送り出せません。子どもにAIが作る校歌を与えることも、健全な人間が育つとは思えません。嫌です。
学校再編の必要性についてのアンケート結果で、「現行の学校の配置が望ましいが、子どもたちのことを考えると学校の再編を進めることは、やむを得ない」という回答が6割以上ある。本音は「地域に学校を残してほしい」ということだと思う。小中一貫教育を進めることには賛成だが、施設一体型の義務教育学校にしくなくても、webを利用しての日常的な交流など、施設分離のまままでできることがあるのではないかと思う。
小学校と中学校で生徒の情報の分断がなくなるのが良い。
児童数が多くなる・教師数も多くなる→コミュニケーションを取るのが難しくなり、地域との繋がりが減ってしまう。
地域により子供（生徒）は学校と家の往復だけで精一杯になる。 部活もできず友達との交流もうすくなる。 小規模校より細かい指導ができるのか？将来にむけての子供たちへの夢（教育）のためになるのか？もっと深く考えてほしい。
義務教育学校に対するメリット、デメリットの桑名市としての検証結果をしっかりと示してほしいです。既に導入している市町村がある中で失敗事例、成功事例もあると思うので、似たような状況の市町村での導入結果なども示してほしいです。
小、中学校の統廃合で事足りる話だと思いました。これに伴う教員の負担がかなり大きい。子どもたちの中には先生が迎えにきてくれると学校に来れると言う不登校傾向の児童もいるが、その子達は今後見捨てられることになるので、教育の機会均等と言う面でもよくないと思った。また、小学校では学校に来づらい子も中学進学タイミングで気持ちを切り替え登校できるようになると言ったことも耳にするので、そういうチャンスを奪うのはどうかと思った。
言っている内容は理解できるが、必ずしも、教職員や同学年がいい人は限らない。いじめにあっってしまった場合、現状小学校なら6年、中学校なら3年我慢すれば良かったのが、9年間我慢しなくてはいけない。
小中一貫になって生徒数が増えても、一人一人に（障害など抱えた子も含めて）配慮して頂ける体制を整えて頂けるようお願い致します。

自由意見（意見）
発達障害がある子がおり、少人数の環境でないと心身への影響が出てしまうタイプのため、1000人規模以上の学校へ通うことはとても非現実的であるため。
小学校のときに不登校だった子が、中学進学をいい機会に、気持ちの切り替えのタイミングにして、登校しだす子が实际います。その子たちのチャンスが、義務教育校になることで無くなってしまわないかと心配しています。しかし、私の仕事上の立場や親としての立場、それぞれの立場からできることはあるので、それを考えて実行していきたいと思います。今回の説明会で、いろんな意見を持ってらっしゃる方がみえるんだなと勉強になりました。今まで当たり前にあったものを変えていくのは本当に大変だと思います。課題に対してどう対応していくかをまさに実践されています。本当にありがとうございます。応援しています。
小学校と中学校は児童生徒それぞれ発達段階がちがう。これを1つにするのには大きな疑問がわく。
学校再編と同時に不登校児のケアを充実させてほしい。
メリットよりデメリットの方が大きい。不登校は規模が2倍なら3倍になる。教員一人当たりの子供の数も増える。七和村の七和小など長い歴史過程でできたものを簡単に崩すのは桑名市全体の衰退につながる。桑名の少子化は本計画では加速するのではないかな。
一貫校メリットは分かるが、一貫となったことにより、（全てのブロック）子どもにとって心の負担大きくなった子が、逃げ場ないように思う。
少子高齢化が進み、学校の数を減らす、再編する必要があることは理解できます。しかし、このやり方しか道がないのかは疑問です。子どもたちの教育のことも資料に添えていただいていたのですが、これが本当に子どもたちのためになるのか？通学に時間がかかるようになる子もいます。運動場を使うにも体育館を使うにも人数が増えすぎてはのびのびと過ごせないのではないのでしょうか？もちろん反対も賛成もあり、こういった政策を進めることは全員が賛成とは行かないと思います。ただ、どうか市民の声に耳を傾けていただいた上でこの大きな計画が良い方向に着地することを願うばかりです。1番に考えていただきたいと思うのは子どもたちのことです。効率の良さ、社会情勢、時代の変化、そういったものを考えていかなければいけない中ではありますが、子どもたちの想いを置き去りにするような方向には進まないといいなと願います。もし、そうになったらという話を小学生の我が子とした時に、大きいお兄ちゃんと過ごすことになったらちょっと怖いという感覚があると言っていました。いろんな子がいますが、そう感じる子もいます。この計画が進むのであれば、建屋と運動場は小中で分けていただきたいなあと親としては感じました。
教育改革が必要。今の授業は教師が一方的に教える→だから9年教育で、というのは全く乱暴な理屈です。
今の6・3年教育の中でできる教育改革を考えるべきです。というのは、6・3教育のメリットは9年教育で失われる可能性があるからです。一つ一つの理由はここでは述べませんが、多分書かなくてもお分かりになることが多いと思います。小規模の学校の弊害は分かります。ならばその学校ごとに点検していくべきで、一律に9年教育の適正規模学校というのはあまりに雑です。
使える学校校舎はできるだけ使うべきです。なにより子供は地域の中で育っていくものです。住民の目、働きかけが合って特に小学生は育ちます。自分の住む地域に誇りをもつ子どもは自分の住む地域の学校の中で育つものだと思います。
質問は時間にかかわらず受けてほしい。
教職員の指示系統の効率化を導入メリットとしてあげられていましたが、義務教育学校のデメリットをもっと深く検討すべきではないでしょうか。
小中一貫校のことを反対します。中学生が小学生にいじわるする可能性が高い一方で、教職員が9年間同じであれば時間が長すぎ、児童生徒が教職員と合わない大変になります。学校が変わると不安になるが、年齢が低い際、生活環境が変化しても短時間でなれます。逆に9年間同じ場で生活、高校でいきなり変化になると心がもっと痛くなるでしょう。
小中同一校舎について、同じにすることで中学生の悪影響が小学生低学年に及ぼされることを危惧する。そこについての説明がなかった。

自由意見（意見）
義務教育一貫にするのはいいが、先にも述べたように、校舎は別の方がよい。中学生がやさしくなれるとあったが、中には不良と呼ばれる中学生もいるのでその子たちが小学校低学年の目に触れることで悪影響になることは間違いない。
まず、学校の規模を保つ必要があると言っていますが、世界の潮流は少人数教育です。資料の中にある主体的に学んで生きる力のある子供達を育成するのが必要であるのはもっともですが、その回答が大規模校を作ることであるというのは世界の潮流に反しています。むしろ小規模校を多く作ってきめ細かい対応を子どもたちにしていくのが正解とされています。実際私も大学で大規模クラス、小規模クラスともに教えていますが、学生に自主性を促し、創造性を発揮させることができるのは圧倒的に小規模クラスです。大規模クラスでは目立たない子どもや逆にすごい才能のある子供は埋もれてしまいます。そもそも現状で標準とされている文科省の定めるクラスの基準はそもそも他国に比べて大きすぎます。世界では小学校15人、中学校20人程度が適正であるとされています。クラスサイズを小さくすれば少子化の元であってもクラス替えは行えるのではないのでしょうか？価値観が多様化しており、いじめの問題も深刻化している現在であるからこそクラスを小さくしたほうが良いと考えます。少子化であるから学校を統合してクラスサイズを保てばいいという考え方はかつての子供が多い時代の学校が良かったと思っているのでしょうか？おそらく市役所職員をはじめ、この計画の意思決定者が比較的高学歴の競争で勝利してきた人に偏っているからそのような考え方になるのではないのでしょうか？学校でいじめを受けたり、活躍できなかったり、学校が嫌いであった人の意見を積極的に聞こうとしたのでしょうか？海外では小学校は日本のような3階建てのビルでなく平屋のところが多いです。現在学校のメンテナンスにお金がかかっているのは学校を大きく作りすぎたからではないのでしょうか？今後の人口の変化を予測するのは（これまでがそうであったように）困難ですので、建物自体は小さくして数を増やして「小回り」が効くようにしたほうが良いと思います。令和45年の予想に基づいて学校を整備するのは乱暴な議論です。
結論ありきの説明であると感じた。少子化のためやむを得ないこともあるかとは思いますが、公共施設なので児童数が減るからといって学校を減らすのは子供に寄り添っているとは思えない。特に桑名市中心部は表を見てもそこまで児童数が減っているとは思わなかった。
子ども達により良い教育環境をとお考え頂きありがとうございます。少子化対策の為、小規模校の統廃合、老朽化した建物の建て替えに伴う学区の変更などは必要かと思ひますが、その点で再編に賛成とアンケートに答えた方も多かったのではないかと思います。今回ご提案頂きました再編内容は規模が大き過ぎて少し無理があるように感じました。学校耐震化やトイレの洋式化工事もして頂いていますので、一斉に性急に進めずとも、地域の実情に応じて少しずつ統廃合をした方が、地域の理解も得られ、現実的ではないかと思ひます。小中一貫校も、児童が徒歩通学可能地域での設置なら、良い面もあるのではないかと思いますし、既存の学校や空き教室利用なども踏まえて柔軟に考えてもいいかと思ひます。でも一律全てを義務教育学校にする必要性が感じられませんでした。私自身は、小学校で教室が足りずプレハブ教室もあったり、中学校では敷地内の校舎建て増し工事、高校では体育館の建て替えを経験しました。ですので、児童生徒が登校しながら工事というのを経験しており、確かに騒音や不便さはありましたが、説明会で不可能とおっしゃっていましたが、一概に不可能というわけではないのではないかと感じました。
施設隣接型が望ましい
小学校区単位で9年制小学校を作る。すなわち中学校を分解する。ITの発達で規模の大きさは重要ではなくなるのでは？
桑名市全てを義務教育学校にするのではなく、子供の教育に必要な集団規模を確保できない見込みの地区とそうでない地区を分けて検討すべきである。建設に数年かかるのであれば随時生徒数の予測をして、どこの地区が必要か都度考えながら計画変更も踏まえて行ふべき。
桑名市立の小中学校を全て義務教育学校として再編するという、再編計画(原案)の内容には賛成できません。今回の一連の説明会は「市民の理解を得る」という内容ではなく、「市民に説明をした」という形式的な事実をつくるために実施しているだけだと感じました。教育委員会の意見の正当性を示すための理屈を成立させることに一所懸命で桑名市で義務教育を受ける児童・生徒や、桑名市で義務教育の現場を担う教職員のことを考えて進められている計画のようには思えません。義務教育課程の市立小中学校の再編なのだから、現役の小中学生と保護者や子育て世代だけではなく桑名市全体の全市民の理解が必要であるはずなのに、より地域に近いはずの小学校区単位での説明会は「希望があれば実施する」という姿勢は極めて消極的で、全市を挙げた変革なのだという意識を教育委員会が持っていないのだと感じました。

自由意見（意見）
小学校の時は、友達と上手くいかなかったけど、中学校に行ったら、リスタートがきれた。と言うお話を伺います。小中一貫校が、はたして本当に子供達の為なのでしょう？朝日町は、幼稚園から中学までずっと一緒だから、窮屈だ。と言う意見も聞きます。本当に子供達にとって、そして地域にとって何が良いのか もっと考えないといけないのではないのでしょうか。学校再編だけして、地域を置いてきぼりにすると、結局、子供達が大きくなっても、魅力的な町でなくなり、帰ってこなくなってしまうように感じます。そんな残念な市になってしまうのであれば、残念ながら桑名市を去る事も考えてしまいます。
統合するなら、例えば、精義と立教だけにする、とか、もっと小さく考えて計画を立て直してほしい。最後の質問の人の答えで「デリケートな問題なので、」と逃げられたが、大きな統合こそがデリケートだ。
市内一律に小中一貫校にしなくても、できるところからやればいいと思います。
中学校のグラウンドを仮設にする案はやめるとのことですが、具体的にどうやって校舎を拡張しようとおもっているのかがいまいまいちわかりません。
性急に施設一体型一貫校にしなくても、現在の小学校を統廃合した上での分離型で良いと思う。
小学校だけの統合は仕方ないが、小中一貫校とする事は望んでいません。生きる力の育成は小中一貫校としなくても充分育むことは出来ます。新校舎建て替え時は、バス通学は必要かもしれませんが、他の学校の空いている教室を使えば可能と考えます。桑名の人口を増やす施策(子供を育てやすい環境、給食、保育料無償など)を推進すれば、児童数も増えていくのでは。
義務教育学校にする必要は全く無いと思いました。生活圏が被っている小学校の統合はまだ理解はできます。
2つの中学校区をなくすことは対象地域の合意をまとめるににくい。 ファーストステップとして現在の中学校区内の小学校の再編計画とすべき。
小学校の統廃合が先だと思います。義務教育校には反対です。荒れた中学校問題が小学生には良くない。
アンケートの結果で60%を越えているが、「再編＝小中一貫が望ましい」で解答しているとは言えない。再編＝小学校だけの区割変更、統合だと思っていた。
精義地区は、再編を優先的に進めて欲しいが、これを実現できるまでには、まだ時間がかかるので、小学校区域の統合に着手すべき。説明会で小学校統合をまずは行うべきと意見が出された時、市からは、デリケートな問題なのでなかなか難しいと話があったが、小中学校再編の方が巨大すぎる計画でデリケートすぎると思う。言葉のトリックを使って市民の意見を封じ込めているようで不愉快だった。旧市街の小学校統合は、市が早急に取り組むべき大きな課題である。小学校統合は10年も放置しておく問題ではない。
地域の小学校を、残して欲しい。
小学校単位で100人切っている学校は義務教育学校の導入の前に至急手を打ってほしい。小学校を統合しても良いと思います。（大山田西小など）
小中一貫ではなく、小学校の規模維持のため、小学校同士の統合であれば進めて頂きたいです。
このままだと子供は減っていくのに、再編は必要だが小中一貫は不要で、順に小学校を編成しなおすほうが先だと思う
低学年の生徒（特に新1年生）の通学はどうなるのか、スクールバスの利用となれば、又経費がかかります。意見の中で小学校の合併は良いと思います。落ちこぼれ、登校拒否などの問題も多くなっていくのではないのでしょうか。
”施設一体型”+”義務教育学校”より”施設分離型”+”従来の6年+3年”が望ましい”と私は考えてます。小学校、中学校の統廃合でよいと思います。
長島北部いそ島の児童が少ないから早くまとめた方が効率的だと思う。新しい校舎たてなくてもまとめるのは良い事だと思う。
小中一貫校を作るのではなく、小学校単体で建替えや改修を一刻も早くお願いします。

自由意見（意見）
個人的には小中一貫校には反対で、古い校舎はそれぞれで建て替えがいいです。または少子化が進む予想なのであれば、もう少し小学校 2.3 校をまとめるなど程度にしていきたいです。
小中学校再編をしたいのであれば、まずは小学校統合を早急に行うべき。
小学校を統合することは良いと思うが、中学校一貫は賛成出来ない。成長発達異なる段階を一つにまとめようとすると、良い影響を受けることはもちろんだが、悪い影響を受けやすいのではないかと心配している。多感な時期の子供はやってはいけないと言われたことをつい試してしまいたくなるものだと思うから。義務教育 9 年間を一括りにするのではなく、成長発達段階ひとつひとつを大切に考えてほしい。今後どうなっていくのかが想像しづらいため、全国的に再編成を行った結果が現段階でどうなっているのかを元にした説明があると、より理解を得やすいのではないかな。
小学校の数を少なくすることには賛成。小中一貫校には反対。（十分に児童数はたりている）
小中一貫再編の前に小学校区の見直しを行ってほしい。精義と立教をくつつけるなど。1 クラスの人数が少なすぎて 6 年間小学校生活でクラス替えがないのは、子どもたちの成長（心の成長や勉強面など）に対して不健全である。
小学校単位（要望あれば）での実施の実現を。
子が少ない小学校を 2～3 校合同すれば済む話。
小学校の再編が先では！
原案は理解できる所はあるが、他の方の意見にあったように一貫にこだわるのではなく、“学校の建て替え”“合併”などで児童数、クラスの増は可能だと思う。
少人数学級でもクラスのあり方を工夫すれば、今の学校を改修しながら地域での小学校を残して欲しいです。
子供の数が減っているので再編は必要だと思うが、それと小中一貫は別問題だと思う。小学校だけの区割再編、統合をしてほしい。 質疑の時に、最初からずっと手をあげている男性（説明会が始まる前にお問い合わせを話した人）をあえて当てないやり方が公平ではない。わざとさけているのが見え見え。
小規模校では教師は一人一人とかわかれます。各学年で地域とつながった行事ができます。学校と地域が一体となった運動会もできました。（桑部小でも）市単独予算をくんで一学級 20 人にするとかを（本多の大河はもういいので）お願いしたいです。 教師にゆとりがあると子供とつながれおちついたおおらかな地域の学校になると思います。 大規模校は反対です。
生徒の個性に合わせて居場所を作ることにも考えているのはよかったと思う。ぜひ居場所を作ってほしい。だが、まだまだ心配があるので、それを考えていくのも大切。思ったよりなっとくできたと思う。
再編反対です。通学距離、方法、行事など保護者の交通手段など不便なことが多く。中学生と小学生の関わりも怖い。運動場の使い方、関わり方など。
子どもへの影響が何よりも心配。過渡期に学校へ通う子にとって変化が大きすぎる気がします。
精神的不安になり自殺、学級崩壊がなり得ないか心配。
小学校・中学校独自の文化（それぞれの）はどこまで守ろうとしていますか。 集団登校、制服の有無、クラブ活動など。（野球部の練習のボールが小学生のドッジボールにとんでくる）後は、小学校 1 年生と中学校 3 年生の学生が同じ学校内で集団活動を行うことに不安があります。（性差、体格差、放課後の活動の差）
安全面の問題が大きすぎる。そこをよく考えて欲しい。

自由意見（意見）
配慮すべき事項で「安全性の確保」とありました。小学生の低学年と中学生では当然ながら発達段階や体格の差が大きく、通学やグラウンドでの運動などでは同時に行動する時に、よりリスクを予測した安全への配慮が必要と考えます。計画段階から、具体的に対策案を検討して頂きたいと思います。よろしくお願い致します。
今の児童の安全性を確保してから将来の子供達の事考えてください！
再編は安全面が成り立っていないと思う。
『計画策定にあたり配慮すべき事項』についてですが現在修徳小学校へ子供が通ってますが1号線を通して通学しています。雨の日だとアクトス前から「ほっともっと」くらいまで排水不良ですぐに水溜まりが出来て子供たちはずぶ濡れになりながら通学しています。小学校には何度かお伝えしましたが、教育委員会に言ってますの一点張り。国交省にも何度かお伝えし、先月も問い合わせしましたが現在1号線を改修する予定は無いとの事です。通学方法及び安全性の確保？今現在出来てないのに何言うてるの？と思いました。早く今の児童の安全性を確保してください！
校区が広がるのに、対する教師が少なくなることにより子供一人一人や登下校の安全面に行き届かないし、全員が毎日規則的にバスでは通えないし距離もあるので、その際の保護者の負担や交通集中が気になる。正和中の周り、坂井橋は、交通ショックになります。人数も多く交通事故や精神不安定の可能性もより増え、子供たちのためとは言えないのではないかな。
通学路を十分に確保して頂きたい。安全に通学できる取り組みを（特に歩き）示して欲しい。
深谷地区は遠いのでかわいそうだと感じます。
再編計画であるものの、6 km以上離れている場合はどうするのかの詳細を教えてほしかったです。
遠い子供は困る（学校から）
通学手段、時間が大きな不安要素です。今後の詳細検討、変更などを経て、説明が必要と考えます。近くに新しい学校が出来ると遠い方に通わなければならない事例がこのままだと多数発生すると思います。
学校配置案について、員弁川の南側交通の便に問題はないか？何十年も先になるかも知れないが現状では通学・行事時の父兄参観等を考えると星川駅近くが選択出来ないかと思う。
通学路が狭い、防犯上子供だけで通学することの不安もあるためスクールバスでの通学をさせたい気持ちがあるため早期の再編を願います。
具体的な通学方法が明確に提示されなければ現在のまま通学できる方が安心のため、早期の再編成は不要と考える。
バスなど交通手段の確保が大切だと思います。
大成小学校区、光風中学校区に住んでいるものです。大成小学校まで子どもの足で30分くらいかかるので光風中学校で学べると近くなるので安心です。夏場の登下校は熱中症が心配ですし、交通事故や不審者との遭遇も心配です。小学生の子どもをお持ちの方はやはり登下校の安全面が一番心配だと思います。
正和地区の義務教育学校の計画では、七和、久米、在良、桑部の児童が通うと計画されていますが、登下校の安全面を考えると反対です。七和・在良地区の小学生が正和に通う場合、坂井橋を渡る必要がありますが、坂井橋の歩道は狭い上に登下校の時間帯は中学生と西高生も自転車でも多数利用します。そのような中、小学生が分団で通学するのは双方にとって無理があり、事故の確率も高くなると思います。
通学が遠くなり、暑い時期の熱中症や交通量が激しいところを通うなどの不安がある。今ある中学校に通いたいから、できるだけ最後にしてほしい。
子供の安全な通学を考えると家からなるべく近いところが良い。共働き家庭が増えている中で、学校からの距離も遠くなると送り迎えなど保護者の負担も増加すると思う。
大通りを通ることに不安があります。歩道橋を作る、学校までの車が通らない歩道を確保してほしい。わざわざ学校の近くに家を買ったのに、悲しいです。

自由意見（意見）
登校距離が長くなる子供達のフォローをどうするのか、という課題はあると思います。子供が小学一年生だった頃、夏場に半分熱中症のような状態で一時間ほどかかって帰ってきたことがあります。現状でも特に遠い地区の場合、猛暑日で危険な日には車で迎えに行く保護者もいます。が、校内に駐車場の余裕はなく、周辺道路に路駐すると周辺の住民の方の迷惑になるため、困ってしまいます。新たに土地を拡張するのであれば、駐車場を教職員分だけの面積で算出するのではなく、送迎の車が交代でいいのである程度行き来できるくらいの余裕をもって確保して頂きたいです。
小学生1年生がそんな長距離を通うなんてできない。調子が悪くなっても、迎えにも行けない。
今でも遠いのさらに遠くなるのは小学生には無理。
家と学校の距離が離れれば離れるほど子どもたちの安心・安全の確保が難しくなるから。バスに乗り遅れた時の親の負担が大きいから。
大変遠くなりバス通学も小学校一年からはとても心配です。
通学のための時間。
登下校が心配。スクールバスになるとしてもバス事故の危険など不安も大きい。
全然思わないです。とにかく通学距離が長くなり、うちの自治会から通学するのはしんどいです。スクールバスを朝夕何十本も出すとか自力で登下校できる方法がきちんとできていないなら再編すべきではない。全ての子供が自転車に乗れると思うな。
かように家～学校まで遠いのでいやです。家～学校に行くまで、こうさてんなどがきけんなので、かよいたくないです。
在良小学校区から町屋川をわたって通学させるのは安全上の問題もあるし、距離も遠すぎるので絶対にやめてほしい。在良（明正）校区は少なくとも現状を維持してほしい。
現実的にどのように通うのかが不安。毎日毎日子どもが通うのにリアルに通学ルートがわからず、また危険も伴うので、ご自身のお子さんが今後通うかも…と考えながら計画を考えてほしいです。
家から中学校まで遠くなるので、どう行くのか気になる。毎日大変な思いをさせて行かせたくない。
陽和地区は遠くから通うことになる子が多くなると思うので通学経路についてよく整備してから再編してほしい。
学校がこれまでより遠くなり、大通りを通ることになるため、通学できるか心配なため。
遠隔地から通学する児童（小学生）はバス通学をすすめてほしい。
通学手段が自転車か徒歩しかなく、しかも長距離通学となるので、毎日安全に通学できるのか心配しています。早く再編が進み、通学手段がスクールバス等になり、暑い日でも悪天候の日でも、暗い道でも安心安全に通学できるようになれば良いなと思います。親としては通学時に命を落とすのではないかとということが一番心配です。（熱中症や事故、犯罪にまきこまれたりして）
通学方法にも課題が残ると考える。今までよりも通学距離が増えることもが増加することによる交通事故の増加などを危惧する。現状小学生は私の知る限り徒歩通学がほとんどであるが、もし徒歩で通えないような地域の場合どのような通学方法を推奨するのか。小学校1年生に自転車通学をさせるのか、スクールバスを運行するのかなど他にも方法はあると思うが、今現在の朝の道路状況からすれば交通渋滞を悪化させ、交通事故の可能性も上昇すると考える。地域に1つある小学校の利便性がなくなることによって生じる課題をさらに深掘りし、これからのあり方を考えてほしい。個人的には、安全第一で安全性が確保されないのであれば現状のままの在り方であってほしい。
お世話になります。概ね内容については理解いたしました。懸念しているのは通学経路と時間です。学区の端になればなるほど必然的に危険が増しますので、慎重に柔軟にお考えいただけるようお願いしたいと思います。

自由意見（意見）
説明会で通学方法について説明がなかった。小学生はバス通学になるのだろうが、バスを逃したら学校に行けないなどの不便さや、分団登校では体力がつく、多学年で仲良くなるなど、分団登校ならではの良さがなくなるデメリットもよく考えて欲しい。
再編計画(原案)の義務教育学校構想は、通学圏の広がり起因する問題や課題が多い。通学の安全に関する問題、通学方法の融通性、災害発生時の学校からの帰宅(送迎)、学童保育(送迎含む)他、細部の具体的な検討が不可欠。
学校が近いという理由で引っ越してきたのに、登下校が遠くなる。
バス運転手、ただでさえ足らなく高齢化で事故の心配。学校にではなく、市民の高齢者の免許返納促進の為に、市バスをつかって欲しい。
自分の所は変わらないので大丈夫でしたが通学時間の長くなる子は大変だと思って。→スクールバスなどの対応の検討をお願いします。
通学距離の話もあったが、子どもの体力低下が言われている中、小学校1～6年生も距離で分けると、1年生は通学だけでしんどいと思う。 就学前施設についても希望の園に入れないという声も多い。車で送迎の方も多く、通学が本当にできるのかも含めて考えてほしい。（夏はとても暑く、熱い時期が長まっているのも考慮してほしい。）
スクールバスの導入要と考えます。
小中一貫教育については理解できますし、少子化に伴う統廃合についても理解できるので進めていただければ結構です。 ただ、統廃合することにより通学の負担が増えることを心配しています。子どもたちが通学しやすいように、スクールバスを運行する等、子どもたちの通学の安全性と心的負担がかからないよう見直しを進めていただけたらと思います。
通学の距離が遠くなると自転車など交通用具をつかい事故の可能性も高くなります。
娘は小1の際、民生委員さんや地域の下校ボランティアの方々に登下校を見守っていただき、とてもありがたかったです。小中一貫校になり、バス通学にもなると地域の方とのつながりがうすくなってしまうのではないのでしょうか。これから大きな地震がくるといわれている今、防災は地域力が大事だと言われている中で、地域とのつながりをなくしてしまうことに危機感を感じています。 長島を除き、現在全ての公立幼稚園は小学校に隣接しています。子どもたちは身近な小学生にあこがれの気持ちを持ち、ほぼ車は小学校とすぐ連携をとっていただける幼稚園に安心感を持って通わせることが出来ます。また校内区の年長児は朝小学生と一緒に分団登園しています。小中一貫校が出来れば、それも不可能になります。今回、計画の中で公立幼稚園についての記述が全くなく、置いてけぼりにされてる感があり、不安です。公立幼稚園を含む桑名市の就学前教育についてもしっかり考えていただきたいです。
子どもの通学路の安全面も心配しています。最近毎日のように高齢者や外国人が子ども達の列に突っこんだ等のニュースを見るので我が子が安全に通えるのかとても心配なのですが距離が長くなってしまうと思うので子ども達を守ることを第一に考えて進めてほしいです。
正和中になった場合、坂井橋の道路の交通量が多く危険です。バスを提供してください。
在良小学校5年生です。明正中学のほうが近いし、ずっと明正に行きたいと思っていました。正和になると、とても遠くなります。自分だけではなく明正に行きたかった子もいると思います。さらに自分がいっていた学校が「なくなってほしくない」という子もたくさんいると思います。自分もそうです。まだ、正和の事をあまりしらないですが、自分は明正に行きたいです。とくに、在良はつい最近150周年になりました。学校には色んな人の思いがあると思います。
通学の話（スクールバス等）を聞かせて欲しいです。
私が住むところから学校は再編されることにより遠くなります。中学生ならまだしも、小学1年生に遠くの学校へ通わせることは不安です。

自由意見（意見）
自転車通学に関して、今でも危ない中を通学している子たちを見ているのに、より広範囲な通学を、道路整備の考えは全く無いとの答えには、こどもたちの命を軽視もはなはだしい。
バス通学に関しても、体を動かす機会、時間を奪うと思います。こどもがこどもとしての時間を大切にしたいと思います。
今は共働きが多い。たとえば通学手段が不安です。何km以上はバスを出すと言われたがもしバスに乗り遅れたらどうするかとか、母親の立場としてはとても心配です。小学校にも送っていけなくなったらどうするかとか具体的に話してほしかった。
実際に小中一貫になるまでの10年間（再短？）の子どもたちの登校環境を整えてほしい。
人数ありきで計画されている。一時的に大規模になるところもあり段階的な統合もありではないか。遠距離通学を強いられる児童もいる。安全・防犯からもスクールバス配車も考慮頂きたい。
今回提案された再編計画は必要性に迫られての事と感じました。新設される校舎もありますが、旧校の跡地も、避難所として安全性を担保できるものであるようお願い致します。
学力の変化、学校跡地の利活用 学校は地域の文化の中心である。歴史がそれを物語っている。教育の重要性を中心に考えてほしい。小学校、中学校が地域からなくなるといことは、この後どのように変化していくのか、住民としては心から心配している。残った中学校区はよいが、廃校になった地域に対する今後の支援についてもっといねいに説明してほしい。
跡地利用は自治会等の自治組織が校舎の一部を利用できるよう検討してほしい→藤が丘地区は市内で唯一、公民館・集会所が無いので、優先的に利用できるよう配慮願いたい。
配慮すべき事項について、具体策の提案が無い。
学校が廃校になれば、その周辺の規制も無くなるという事なので風営法の事業が可能になってしまいがそれに対しての対策や子育て世代が市から流出してしまう恐れがあるが、それについての考えはあるのか、市長や教育長が出て来て説明してほしい。とりあえず今日はここまでにします。よろしくお願いします。
多度学園について人から聞いた話ですが、特別教室の数、校舎の作りについて教育的観点から見て難しい点があると聞きました。新しく校舎を建てるのであれば、きちんと教員の意見を聞き、教育活動に支障がないようにしてもらいたい。
廃校になった施設を子どもたちや地域の人たちが集える場所にしてください。
統合され、使い道のなくなった学校はどうなるのか、有意義な使い方をして欲しい。
本案は学校教育だけの問題ではなく地域社会全体の問題です。地域の小学校が廃校になればその地域に若い人は住まなくなり過疎化します。一方で大規模学校ができる地域は地価が上がり、住宅が過密化します。私は自然が豊かで広々とした深谷地域で子育てのために東京から移住しましたが地域の小学校がなくなるなら市外に移住します。
こども地域に支えられる実感を持って街に愛着を持ち街が活性化する。地域とこどもの分断は避けたい。多様化のなか個別最適な教育が大事で小規模の方が適する。本計画では行政区も解体なのか。社協や老人会は行政区単位。教員の疲弊も限界を超えるのは明らか。
意見を聞く際も、今現在子育て中の世代はどう思うか聞き取りするのも良いのではないかと。現行の小中学校に思い入れが強い人が多いため、学校跡地の活用法も併せて考える必要があると思う。
地域と一体の計画でなければ認められない。（例）防災拠点としての小学校
地域コミュニティへの配慮を具体的に示してほしい。
運動会 避難所 校舎はどうなるのか 小学校が無くなるのはさみしいのではないかと、65才だがまだ愛知に自分の小学校は校舎立て替えであります、20年前に見に行きました。
地域コミュニティとの共存検討が不十分では？

自由意見（意見）
会場でも意見として出ていたと思いますが、小学校・中学校の老朽化・少子化と小中一貫というのは別の問題と思うので、全て”5”（理解できない）にしましたし、光風中から一番遠い子で6kmもあるとの事、通学するには遠すぎる（光風地区を分散するという方法もありますよね）地域のみなさんの声を聞いて、と言うようなら、課題も地域によって異なると思うので、各中学校区等に戻して、そこで話し合う場を持ってほしい。
大山田南小学校の跡地が何に利用されるかが判らないので何とも言えない。
小学校がなくなることで地域の結束が薄れてしまうのではないかと危惧している。今までは地域の方と一緒に活動する授業や活動があったが今までそのような活動に参加してきた側からすれば、子供の団体が減ることにより取り合いする状況になってしまうのではないかと考える。今までの活動を合併した後の状態で行うことはかなり難しいと考える。
地域の方と連携して進めていっていただきたいと思いました。
現在は、小学校区と地域の自治会が一体となっています。子ども達の見守りも地域の皆様が、関わっています。学校と地域の関わりが無くならないように配慮していただくようお願いします。
地域コミュニティへの配慮や跡地の利活用などが配慮すべき事項とされているが、内容が具体性に欠ける。計画策定には、もっと時間をかけた地域も含めての議論と検討が必要だと思う。
桑名市には、色々な祭りがあるがそのコミュニティは、小学校入学前からの交流によって成り立っていると思うがその事は、どう配慮していくのかの説明もお願いしたい。義務教育学校がどうして必要なのかの説明をもっと時間かけて説明してほしい。
多度（もともと中学校1校）と旧桑名市の学校、地域事情はまるで違う。文化、歴史、伝統の重みを十分に認識する必要がある。（分散進学にも歴史あり、石取祭との関連）
策定にあたって配慮すべき事項として「地域コミュニティへの配慮」とあるが、どの部分、表記をもって配慮しているといえるのかこの計画からうかがえない。
従来の小学校中学校が廃校になると、その地域に若い世代が住まなくなり（子育て世代が避ける）地域に活気がなくなる、アパートの入居率の低下などで治安の心配も考えられる（外国人の入居など）住民の高齢化、過疎化。学校の場合選定には十分な配慮が必要。地域活性化にならない。
地域コミュニティとして学校との関係がなくなる。
地域で関わるボランティアの方々について、再編すると関わって下さる方の孤立化に繋がると考えます。地域の方々の温かい支援を受けながら、通学路を歩いて通学したり、教職間以外の地域の方に触れ合って過ごす学校生活は子どもの情緒を育む機会になると思います。再編すると歩いてだから通える高齢者は出て行けなくなり、車でしか学校に行けないという選択肢は学校にとっても、子どもにとっても、地域にとっても良くないと思う。「誰ひとり取り残さない」市政をするのであれば、小中一貫校は桑名市全市に広めることは今すぐ取りやめて下さい。
正和中学校はハザードマップで浸水被害地域に指定されている区域なのに、そこにわざわざ今後長く使っていく予定の建物を建設増設することが、説明会でも納得出来なかったです。橋を渡らなければ通学できない区域は渋滞・事故にも繋がるし、坂井橋近くの道は自転車同士でも事故しているのをよく見掛けるので、安心して通学できません。これからを担う子供のいのち・安全を一番に考えてほしいです。
小中一体化の建物が先行している。小学校の生徒がへっている、建物が老朽化しているから小中一体化の建物をつくるのではなく、小学校の合併を考え、老朽化の学校の数を減らして補強を考えれば金もすくなくことで済む。小学校は防災も考え残すべき。
地域コミュニティへの配慮に関し、津波の避難場所として小学校を想定していました。必ず配慮をお願いしたい。
ハザード対応についても今後しっかり検討してもらいたい。
学校は避難所として使われることも多く、周辺の住民に災害時にプラスになるよう計画していただきたいと思います。

自由意見（意見）
在良地区は令和 13 年度も、現在とそう入学見込み人数が変わらず、宅地開発もあるので、むしろ増えるかもしれません、今ちょうどいい児童数、学校規模かと思いますので、このままで良いと感じています。加えて、地域の方の見守りや PTA 活動などもあり、子ども達を地域で育てる土壌もあると感じますし、創立 150 年の歴史もあり、それが失われるのは残念に感じます。地域に対する愛着を育むには、今の学校区のままと望みます。それから、巨大地震が起きた時に橋はかなり落ちるかと思います。中学生なら多少の期間、学校で待機も出来るかと思いますが、小学生の間は、災害時にすぐに迎えに行けるように、橋を渡らないで登校できる区域の方がいいなと思います。
益生小学校、明正中学校両方ともなくなり、光風小中一貫校になると市内で一番大きな規模の学校で生徒数も多すぎる所になるので困ると思います。やめてほしいです。しかし益生・明正の体育館は避難所です。すぐにトイレをなおして下さい。洋式にして下さい。
小学校は地域の中心だ。なくしてはならない場所、さらに防災を考えた時にそれをなくすことには反対だ
津波地域の光風地区に 2000 人集めて、実際避難誘導できるのか？あり得ない子どもの命・精神を守って！
整備候補を決めるにあたり危険のない通学路であることはもちろんですが、有事の際の避難地としても機能するような所になるよう考えのかたすみにでもおいて頂けると良いかと思います（有事の際に子どもたちがわざわざ避難しなければならないような立地にならないように）。
防災避難所をなくさないで欲しいです。
もし決定してしまったらいずれは住所地の益世小学校、明正中学校がなくなってしまうので残念です。又、学校は災害時避難所になっているのでもし光風中学校が小中一貫校になってしまったら遠くて行けないので困る。どこに行けばよいのですか？今現在の益世も明正も体育館のトイレが和式で古いので新しい建物を作る前になおしていかなければと思います。新しい物が出来るまでに災害がおこったらどうするのか考えてなおして下さい。
私は身体障害者です。大山田南小であれば徒歩 20 分、下の子どもをベビーカーに乗せて参観等に行けます。再編されると遠方になり、徒歩で行き帰りするのが困難になります。行事（運動会）や災害時、車が利用できなくなった時に、徒歩で学校へ行くことが難しいので、社会参加ができなくなります。子どもが通う学校生活の中で災害が起こった際はどのように計画されているか。
災害時にも小学校がひなん場所になっています。その学校がなくなった場合ひなん場所が遠くなることになるので、なにかあった時にひなんできなくなることも考えられるので小学校はのこしてほしいです。
防災避難所をなくさないで欲しいです。
もし決定してしまったらいずれは住所地の益世小学校、明正中学校がなくなってしまうので残念です。又、学校は災害時避難所になっているのでもし光風中学校が小中一貫校になってしまったら遠くて行けないので困る。どこに行けばよいのですか？今現在の益世も明正も体育館のトイレが和式で古いので新しい建物を作る前になおしていかなければと思います。新しい物が出来るまでに災害がおこったらどうするのか、考えてなおして下さい。
災害時にも小学校がひなん場所になっています。その学校がなくなった場合ひなん場所が遠くなることになるのでなにかあった時にひなんできなくなることも考えられるので小学校はのこしてほしいです。
また学校は避難所として使われることも多く、周辺の住民に災害時にプラスになるよう計画していただきたいと思います。
もっと市議会でやってからに。
必要な事なので、もっと真剣にスピード持って進めて欲しい。

自由意見（意見）
先生方からの意見を聞く場を設けてほしいです。先生方が説明を聞き、質問しているところを見たいです。現場の方はどのような点が良いと思うのか、どんな心配があるのか。先生と保護者のほとんどの場合、1年の中で信頼関係を築いていると思います。信頼している先生から再編計画について語ってもらえたら、子どもも保護者も安心すると思います。
現状の桑名で教育の空白地帯が出来ないように学校の配置をしていると思いますが、義務教育校にこだわりすぎていると感じる。箱もの先行感がある。原案に現場の教師がどう思っているのかが知りたい。
現在桑名市内の公立小中学校で勤務している教職員の意見を反映するようにしてもらいたい。現場では問題点を多くかかえていると思う。まだ解決の見込めない状況に苦勞していると思う。その中で大きく環境を変化させる教育現場は、現在まさに課題と向き合っている方を取り入れて貰いたい。
学校再編の必要性のアンケート結果について、学校の現実にくわしいであろう教職員の意見が「現行を維持すべき」に2割以上の回答を集めていること、その理由についても今一度考えていただきたいと思いました。
望ましい教育環境で教育者としての意見が表れていない。
現在の小学校や中学校の先生の本当の想いを聞いて考えてほしい。小学校、中学校の先生が今の子ども達に必要なこと、一番わかっていると思うので。子ども達のことを思って必要なら、かよう親も納得してかよわすことができる。現場の意見も聞いてほしい。何でも言える先生達の話し合いをしてほしい。その話し合いの内容も、市民に届くようにしてほしい。
現場の教員たちが何も知らなすぎますので、もう少し現場の声も聴いていただきたいです。
通学路、距離を考慮して家を引っ越したが再編になるのでは無意味になってしまう。小中一貫にするにしても、もう少し周知を行ってから同意を得た上で行わないと、一方的に感じてしまう。分け方に関しても疑問を抱く。納得できない
小学校の再編は必要と考えるが、中学校を無くす計画は、地域の合意形成が難しいと思う。最終決定は地域にあることを明記した方が良いと思う。何をもって地域の合意とみなすのか、基準が必要。
大学教員（数学と教育の専門家）です。日本と世界各国（ニュージーランド、イギリス、ドイツ、カナダなど）で教育経験があります。本日説明会に参加しましたが配布資料、プレゼン、質疑応答ともに解像度が低く賛成し難いものでありました。特に住民が「反対意見が多ければ計画を中止する可能性があるのか」と聞いた際に、教育長が「中止はない」と断言したのは驚きました。資料の中で根拠が薄い（あるいは示していない）にも関わらず「不可能」とか「他の選択肢はない」と言い切れる理由を明確にする必要があると思います。
理解できた＝（賛成合意）として集計するのは絶対にやめて下さい。
再編計画策定は大変だったろうと推測する。早くぶちあげて、いろいろ意見を求めて合意形成するのはよいと思う。
理解できたを小中再編計画に賛成としないでください。
理解できたと納得できたはちがう。 理解しても納得はしていないという人もいる。
各地区の再編の必要性や緊急性についての教育委員会の考えが示されず、多くの問題点や課題がある学校再編はもっと地域の声を聞いて、合意の上で慎重に進めるべき。
地域の合意には時間がかかる。 再編の決定は地域であるので合意がととのったところから再編すべきです。時間をかけてやるべき。

自由意見（意見）
政策形成プロセスの公平性と市民との合意形成について最も重要なのは、市民が納得できるプロセスを経て計画を進めることです。懸念点:現状の説明会や意見募集では、多忙な現役世代や情報にアクセスしにくい層など、いわゆる「サイレント・マジョリティ」の声が届きにくい構造になっています。計画のメリットだけでなく、上述したような様々なリスクやデメリット、他の選択肢についての情報提供が不足しており、市民が多角的に判断する材料を欠いています。市への要望:より多様な市民の意見を聴取するため、平日夜間やオンラインでの意見交換会、アンケート調査など、積極的に多角的な機会を設けてください。その上で、いただいた意見に市がどう向き合い、計画にどう反映したのかを丁寧に説明する場を設けてください。
配慮すべき事項については、やはり早急に議論すべきだと思います。ここがしっかり整えば合意する方もたくさんいると思いますし、良い落とし所を探る材料にもなると思います。
住民の賛成が過半数以上になるまで進めないで下さい。
今回の再編計画を踏まえて、市区町村の PTA 連合会や各学校の PTA などとも連動して、実際に今通っている児童生徒や保護者にアンケートをとって頂きたいです。学校ごとに、賛成、反対の実数やパーセントの開示情報があればと思います。先生方や自治会連合会の意見を聞くのも大事かと思います。
具体的に決まっていなくて、この計画に賛成も反対も言えない。せっかく他県で公立の小中一貫校の前例があるので、その良かった所と改善点などの説明もあったら良かった。何をもって住民の賛成とするのか、よく分からなかった。説明会の要望がなければ賛成という事で進んでいくのなら、その事が周知されるようにしてほしい。
大きな成果だけでなく、現実の市民の声に耳を傾けて欲しい。アンケート書いてない人も反対意見を沢山聞く。意見があるのに、強行突破はやめて欲しい。
皆さんの意見は謙虚に受けとめて頂きたい。 もう一度”1”から考えなおしてほしい。 アンケートももう 1 回実施する必要があると思います。
合意は学区ごとの合意をどう形成するのか、また合意が必要条件であることの明記。
この説明会はあくまで”説明の場”。納得した訳ではないので、実行するに到る前に、再度合意をとるような対応を取って頂きたい。 [提案] 小→中学と決まった場所ではなく、行きたい学校へ行ける選択制を導入頂きたい。（人数的）バイアスがかかるのは課題として挙がるのは承知のうえですが。
小規模校のデメリットばかり述べているのは小中一貫校ありきだからではないのか。小規模学校のまま存続させることが必要である場合は統合を選択しないという道も開かれているはず。特に小学校は地域コミュニティの重要な場で子どものみならず地域住民にとって必要不可欠な施設である。 少人数であることのメリットを生かした取組をすればいいのでわざわざ多額のお金を使ってハコモノを造る必要はない。 再編計画の実施する場合には学校の持つ地域的意義を考えて地域住民や子どもたちの意見を聴いて合意形成した上で実施すべき。
学校規模が大きくなる光風中がどのタイミングで再編されるのか気になりました。優先的に再編すると数年後に教室が余るので、まだ先になるかと思いますが、各学校の優先順位とおおよその事業スケジュールを知りたいです。
地域によって児童・生徒数やその減少スピードも様々であるので、市全体で一律に計画を進めていくのではなく、学校統合の必要性が高い地域から順番に再編していく形をとった方がそれぞれの地域・年代の子どもたちにとって「良い教育環境」が保障されるのではないのでしょうか。
背景、目的や必要性についてはとてもよく理解できました。ただ、今度の基本方針や予定等については全くわからなかったもので、方向性（例えば何年後から順次スタートする等）だけでも知れるとよかったです。

自由意見（意見）

説明会全体を通して、学校教育の変化に伴い、子供たち同士でコミュニケーションやディスカッションを行う必要があり、そのためにはある程度の規模や集団が必要と言う考えを何度もお話しされ、これが今回の義務教育学校の主目的ということは分かりました。6/1(日)の質疑の際に補助金が目的かと言う質問に対して、一番重要なことは子供たちにとって良い環境を作ることと回答され、子供のために少なすぎる人数での教育に対して解決していくのだなと理解しました。これに対し、多度学園の次はどこを行うのかの質問に現在は白紙で決まっていないと回答されました。これはおかしい話です。当日質問させていただきましたが、決定はしていなくても計画していないわけではありません。こちらからどこをやるとは言えませんが言われた回答もおかしい話です。住民が納得と準備をするための説明会で計画を話すことができないとは納得いきません。減少する生徒数の解消が最大の目的と説明をして予測人数まで出しているのに、R13年の人数が少なくなる学校から建設を検討すべきだと思います。今回の説明会でつくば市が新規を行わない理由を把握しているかとの質問に「生徒数が多いと問題が起きる可能性が高く発見や解決が難しい」と答えられました。つくば市では2000人を超えている学校があり、人数が多いことに対する問題を提起しているため、桑名市は敢えて問題が起こりやすい光風地区を早く建設する必要はないと強く提案します。R13年で2218人予測のため全く早急に義務教育学校にする必要はありません。伊藤なるたか市長も住みやすい街、子育てがしやすい街として桑名市の人口増を狙う施策を行っていく中で子供の教育に必要な集団を確保できない地区から建設し、光風地区など多いところは生徒減少を見ながら検討するのがあたりまえの計画だと思います。説明会后に知ったのですが、加藤教育長が2024年6月15日の新聞で「光風中を起点とした場所は早急に検討が必要な地区」と位置付け、多度地区の次に進める意向を示したと掲載されています。この話は説明会で全く出ませんでした。今回の説明で何度もマイクを持って話された集団規模の確保が重要と全然関係なく、大切な私たちの子供の事を真剣に考えているとはとても思えません。何が「皆さんも自分の子供が考える大人になって欲しいでしょ」だ。最悪です。住民の反対は多いと思いますのでこれから何度も住民と対話をする説明会を開いてください。

小規模で学んでいる子へのデメリット、老朽化した校舎で学び続けることを考えると、再編には賛成ですが、順番や統合については疑問がのこります。

人口減少が続いていくなかで令和45年以降も減少していくことになるのが実態その時、又考慮する必要がある。令和45年以降又再編が議論されていくことになる。長期スパンで考えることも必要と思う。

いつから本格的に進めていくのか不明。

来年小学校に入学の子がいるので、小中、閉校になってしまうので、キリのいい学年の時がいいですね。

まだ新しい施設なので、後でいい。

光陵中学校区なので、建物的にも比較的新しく、他の地域を優先してやってもらう方がよいと思います。

陵成地区は再編生がしやすいと思う。南だけが減少しているのも理由です。

現時点では、建物も新しく1学年2クラスあるので問題ないと思う。

長島中部地区在住のため、長島内では一番人数が多く、そこまでの必要性を感じていない。児童数が少なく、廃校の対象となる長島北部・伊曾島小学校の児童にとって良い方向に進むなら、進めても良いが、“優先的に”とまでは思っていない。

他にも人数少ない中学校区域があるのに、1番マンモス校になる光風を先にすすめるのは全く納得いかないもっと少人数学校からやるべき。例えばまず少人数の小学校合併とか…。桑名市は、市役所をただ大山田のほうに移したいだけ。1番大切なのは子どもの精神。大人の事情だけでなく、これからを担う子どもをもっと貴重に大切に扱って欲しい。今がよければ…みたいな一辺倒な計画の為だけに、その子ども達に莫大な負債を背負わさないで。

人口減少が進んでいる地域を優先すべきだと思う。

この再編は長い年月がかかるため、自分の子どもたちがこの再編の対象とならない可能性があります。その間の子どもたちに対してできる限りの再へん（小学校のみの統合など）もお考えいただきたいと思います。

自由意見（意見）
光風小中一貫校は他の小中一貫校より小学校と中学校を合わせたパワーポイントの P29 の人数が多く、R25 や R45 の予想人数でも 1721 人、1212 人となっており、今すぐ急いで再編する必要性を感じないです。R13 では 2218 人と他の小中一貫校より人数が圧倒的異多く、教職員の子どもたちに対する目が向けられる余裕が無くなると思います。
再編は必要だと思うが、もっとていねいに進めるべき。
近い小学校の統合など、規模が小さい所から進め、長い目で小中一貫の新しい学校を作るという形で進めてもらうのはいかがでしょうか。
諸事案を検討の上最重要と思われる地区から再編を進めていただきたい。 いそいで再編を進めるべきではないと思っています。
もし再編すると決まっても、最後にして欲しい。
大大大規模にならないような段階的に（今の中学校区ごと）検討いただきたい。適正人数を待っていたら、小規模な学校ほどあとまわしになっていつまでも古い校舎をつかわなければならぬ。
不安が多いので一番最後が良い。たくさんの検証の元で初めて進めるかどうか決めたい。
老朽化の対応方法はいろいろあると思う。 学校をまとめる事を考えているなら、立て替え時に一時的にまとめるなども考えられるのではないかな。
改修や学校（他場所への小学を移動）の所もあってよいと思う。
日進小学校は人数が増える予定になっており、全くメリットが見当たらない。
光陵校区は小学校も新しく北小と光陵中とは近い（隣接型）ので一体化の順番は最後になると思います。まず対応出来る対策としては西小を閉校にする事だと思います。それだけでも経費節減が図れると思います。
計画は進めてほしいが、自分の子供が通学中に変わってほしくはない。
小中一貫校への再編を基本とする考え方には賛成できない。地区によって必要性、緊急性は異なり、当面 10~20 年は現行通り、必要に応じて小学校の統合のみ実施などの選択肢も含めて、長期的な時間軸を有する計画が必須になると思う。
再編の順番のわかりやすい、優先順位をつけてほしい。
原案検討は 6~10 ヶ月かけて意見を出してほしい。
桑名市の計画は何でもスピード感がなく遅すぎるので、この再編計画はスピード感を持って進めてほしい。
精義小学校区は再編計画をすぐに進めてほしい。
なぜ今なのか拙速すぎる。
精義小・立教小・日進の統合が今できる再編なのでは？
再編自体に反対という訳ではないが、明確な時期や通学手段などを示して頂きたい。
「反対されても計画は実行します」との一言で再編は決定事項なのだと理解しました。→たぶん、もう計画書はあるんだろうなあーと思いました。何年後に実行されるのかが不安でもあるので、早目に建て替えの順番を示して欲しいです。
まずは多度ガスタートするということで、次は長島地区とか城東、立教など、今、現在で明らかに子供が少ない地域や長島のように独立している地域からにしてほしい。 小学校がなくなってしまうと、学校から帰ってからまた学校へあそびに行く！ということができなくなってしまう。子供の学びの場であり、あそびの場でもあるので、なくしてほしくない。

自由意見（意見）
既存の学校にいる子とは中で転校することになると思うが、その話も重要なので具体的に解答して頂きたいです。
小中一貫は必要かもしれないが、学校区割は非現実的で、納得いく点はない。特に光風エリアは、再編を求めます。
自分の子供が何歳のときに切り替わりになるのかが気になります。目安の時期が知りたかったです。
再編計画の今後のプランを教えてください。 次どこの再編をするのかは決まっていないという話だったが、では、いつまでに次の再編校区を決めるのか？等のプランを出してほしい。
開校までの時期（具体的なもの）を教えてください。
市長が5月27日の定例会見で小中学生向け資料を用意して適切なタイミングで聴くとしているが、いつ頃仕様ができ、いつ頃小中学生から聞くのか。私はかなりの時間をかけて行うことが必要と思う。その点で3月に正式に計画案が発表としているが生徒の声が反映されない、すすめ方が拙速である。
この説明会は、桑名市の保育園幼稚園小学校中学校、全てで行われるべきだと思います。また、転入届や出生届を出された方にもこの計画の資料を配布すべきです。当事者がみんな何も知らないまま計画が進んでいることに怖さを感じます。すべて知った上で桑名市に住みたいか、ここで子育てをしていきたいか、せめて判断はこちら側にさせていただきたいです。
子育て世代の生活に関わる大きな変更であるにも関わらず、この案への積極的な周知活動を怠っているように感じます。本来であれば市内に暮らす未就学児の保護者に対して手紙を出してこの計画を周知し、意見を聞くくらいのことをするべきです。
ただのプリントを読み聞かせるだけなら時間をとって会場に来るいみがないと思います。インターネットがない方もいるので市民全部の方が見られるように回覧板、広報にのせたらいいのでは。メディアなどの会場に来られない人はいっぱいいると思います。
若年層への広報をお願いします。（参加者が高齢の方が多い）
どう進めているか丁寧に資料開示等してほしいです。
このことはもっと市民に知ってもらわなければならない。こういう計画があるということを、周知してもらう努力が必要だと思います。広報にも大きく載せて、発信してください。子どもにも先生にも意見を聞いてください。
おつかれさまでした。情報はもっと早く広く伝えてほしいです。WEBにたよらないでください。紙で伝えてください。よろしくおねがいします。
まだまだこの計画じたいを知らない住民の方がいると思うので、住民アンケートをとってほしい。
「学校再編の基本方針」「新しい学校配置案」全てにおいて、財政面的にケチって計画を立てているようにしか感じない内容の説明会だと思いました。市のアンケートも実施していた事すら知らなかったです。ぜひ、何か決定をする前に全学校で先生・子供・保護者にアンケートを実施してほしいです。誰かの利権や教育委員会の決定、市の決定だからではなく、未来志向で長期的により良い学校教育のあり方をもっと全員が参加できるかたちで考えるべきだと思います。
このような大きな問題は住民投票で行うべきである。
反対の方の意見もありいろいろ参考になった。やはり現状では問題が多く計画はすすめていくべき。さらにみなさんの意見をすいあげて進めて下さい。（特に子供、親の方の意見を大切にしてほしい）
学校で働いている先生からの意見をききたい。推測で人数を言われても当事者はこまります。
保護者向け、子供・教員に分けて説明会を行い現場の生の声を聞いた方がよろしいかと思います。

自由意見（意見）
案として大まかには聞けた。この会の意見・質問を反映させるつもりがあるか疑問に思った。
市民の意見を取り入れられた計画であればよかったのですが全くそうでない。コンサル会社が決めた計画になぜ従わないといけないのか？納得いきません。もっと市民の理解を得るべき！！
校区によっては事情が全く異なるので他の事はわかりませんが、光陵学区に関しては賛成でも反対でもありません。10年後の人々が意見を言えればいい事です。自分としては、西小は不要と思います。
そもそも推進する市にとって不都合な真実が示されておらず、十分な検討が行われた上での説明とは到底考えられないから。
今後の見通しの多くが不透明である中、今日の説明会だけで、どんどん進めていくのは不安です。教育委員会だけでなく、他課の方も交えた話し合い（説明会）が必要だと思います。
これに関してはやはり、お子さんのいる方々の意見をよく聞いてほしい。私の住むエリアに関しては、立地に関しては反対を述べる方は少ないのでは？と予想はする。陵成も光陵も残るのだから。
子供達を守るためにできることが他にあります。まず通学バスの運用をお願いします。小学生が中学生と自由に交流することは性被害を増やします。賛成反対アンケートを、先生方や保護者へ行ってください。一貫校になるのであれば私は桑名市で育児をしたいと思いませんので引っ越します。
十分な意見聴取がなされていないと感じる。
合意形成には今回は程遠く今後何十回と協議をすすめるべきだ。
是非！！再編すすめていただきたい。確かに小中学校が一緒になる事への不安や学童がどうなるのかの不安はある。具体的なところは今後になると理解している。よりよい再編が出来るよう十分検討いただきたい。
計画完成後に配慮するのではなく計画中に考えるべき。 最終的には住民の意思を問う為に住民投票が必須である。→条例を創るべき→議会の責任
質問された事について説得する立場で回答している。納得できる回答はなかった。十分に検討して10年ぐらいかけて検討するべきです。
少ない人数になるからということが背景だが性急に進めることが必要なかどうか未知数である。
子どもたちにとって、一番いい形のことを子どもたち、保護者、地域の方々、そして教職員も巻き込んで決めていってほしい。
普段の学校の清掃や地域の行事に関わらない人まで再編を望まないという意見を出すことに違和感を覚えます。
原案で大まかな事は決まってないとの事ですが、白紙になる事は無いと言い切っていました。ですが、市民の意見を聞きながら白紙になるという選択も考えた方が良くと思います。
住民アンケートをとってほしい。いくら反対が多くても廃案にはならないのですがね。
現在の小学校の建て替えは不可能とあるが土地の狭い東京の学校でも同じ敷地内でプレハブを立てて建て替えを行なっているケースはいくらでもあります。（東京に住んでましたのでわかります。）なぜ不可能と言い切れるのか？また成徳中学校は田んぼに囲まれており私が田んぼを所有しているものもあるがそもそも中学校を建て替えたいので土地を使いたいとの相談も受けたことがないが実際に検討したのか？またすでに法的耐用年数を超えている学校があると資料にあるがなぜ今まで建て替えることを市民に全く相談しなかったのか？一校ずつ順番に立て替えていけば今のような状況にならなかったのでは？この計画には賛否両論あると思いますので最後は市長と議会（と簡単なアンケート）のみでなく正式な住民投票を経て決定してほしいと思います。
子供達に不利益がないように、丁寧に検討をしてすすめていただきたいです。

自由意見（意見）
簡単に結論が出る議案ではないと考えるので、回数を重ねて意見交換をしっかりと行い、どちらか一方の視点だけではなく多角的に考えて結論を出さなければいけないと思います。長島は地理的に分かれているので桑名・多度地区とは違った考えが必要だと思います。各小学校区での意見交換会、学校に通っている世帯での意見を聞く等本当に回数を重ねてしっかりと決めていって欲しいです。
難しいとは思いますが、将来子供達が再編計画をしてもらってよかったと、誰もが思えるように、市民の意見などに耳を傾けていただけると嬉しいです。
予算を抑えて学校再編計画を立てているような内容にしか思えなかったです。今後さらに少子化が進むことも踏まえて、令和45年までの予想だけではなく、もっと先の事も考えた方がいいと思いました。通学バスを活用して、近隣の東員町や四日市市にも居住地外通学できるように提携しながら話を進めることはできないのでしょうか？災害や子供の安全性、教師への負担、通学面での課題、学区の縛り等、もっときちんと考えて欲しいです。
地域とともにある学校。こどもの生きる力育成。桑名のまちづくりなど行政の都合でなく、教育として大切なことで進めてほしい。教員籍の行政職員なら本音はどうなのか。議会や教職員団体、校長会、連合、PTAの考えはどうか。また財政面で大規模な校舎改修は計画的に進んでいるのか、中学校給食や小学校民間プール活用など待った無しの課題も財政負担が大きいと思うが、義務教育学校の校舎設置などできるのか。丁寧に市民の総意を組まないと、市長や議会、世論の状況ですぐに方向性は変わる。無駄な時間とならないよう丁寧に広く意見を聞き、本当にこども、地域のためを考え進めてほしい。また教員の負担も考えてほしいが義務教育学校となれば特に校長は本当に大変であることは考えてほしい。そのように進めてできた計画にはしっかりと協力していきたい。
施設一体型小中一貫校に考えが固まっていますか。地域によって道路事状（通学に対する）が異なると思います。施設（学校）の老朽化もすべての学校が同時に利用できなくなるわけではないはずです。施設分離型も含めて議論、十分な議論が必要だと思います。人口減による再編は必要だと思いますが、市内全域を画一的に同じ形で行うのは弊害がでるのではないのでしょうか？市民の声を良く聞いて下さい。～ありきではいけません。子どもにお金をかけない（←建物ではありません）自治体はすたれていきますし、人口も増えません。 アンケートは聞き方で答が変わってきます。
この説明会のあと意見集約を公に発表してほしい。
地域コミュニティへの配慮は理解できるが、子育て世代の大人の意見をしっかりと組み込んで取り入れてほしい。
各自治会への意見集約するなどもっと市民の思い、地域住民の思いをすい上げる努力してほしい。
建物が新しくなるといった面だけでなく、子どもにとってどうか？先生方の負担はどうか？地域の拠点学校を無くすことがよいか？もっと幅広い意見を聞いていただきたい。
これを実行するなら住民投票ぐらいで市民の反応を見るべきである
大成小→成徳中に通っております。成徳ブロックが一度すべての大成小が成徳中へ行くときいて、すぐその話が消えました。圧力があったとききました。今回も同様かと思います。子どもたちの気持ちは置いてきぼり、大人たちの意見によって決められていきます。友だちと一緒にいいのを学区で引き離して、今度は廃校と。もう少し子供たちの意見も聞いてあげてほしいです。税金を払っていくのはこれからの子供たちです。 大人だけの場ではなく、子どもと一緒に、がよかったのでは？せめて高学年、中学生いっしょに。
子供達に意見を聞く、アンケートを取る予定はありますか？個人的には大反対です。 なじめない子供達が多数いると思います。教師も当てにならない。いじめ問題が増えると思います。
大事なものは現役子供と親世代の意見をよろしくお願いします。
あわてずに、しっかり検討してから進めてほしい。

自由意見（意見）
住民投票を実施してほしいです。廃止はないというのはもう決まっていると理解しますが、なぜ望まない事を強引におしすすめるのですか？住民投票で意見を聞いて下さい。
学校運営側の課題の他に生徒・父兄や地域の課題も含め再編計画を進めてほしい！ 誰の為の再編かを理解してもらう必要性有り！ 地域コミュニティへの配慮として、学校の役割として避難場所としての役割もあると思うので統合後の小学校の活用計画等はあるのか？
今回の説明会の賛成と反対の両方の意見をまとめた報告書か報告会も実施してほしい。
メリットしか言わないから…Q&Aでもした返答しかなくてじれったい。本当に子供たちが健やかに育つ自信がありますか？？実証してからではおそい…そんなことない！失敗してからではおそいんじゃないですか。何をもってこの計画が進められるのか。 もう一度1から考え直して下さい。 こんな大事案を30分のスライド説明ですませようってのがそもそも市民に失礼。市民ホールで市長、議員、PTA会長、自治会長＋市民での説明話し合いが必要なのでは！！ 検討した検討したってこちらのいけん聞かんと検討したって何なん。
「R45に望ましい規模になるように」ということだがそれまでは大規模でもがまんしろということでしょうか。 小規模での弊害より大規模での弊害の方が大きいと思う。 現場の先生たちにはまだ意見を聴いていないとの返答だったが、まずはそれが大事ではないだろうか。 現状を一番知っている先生たちの声をぜひ聞いてほしい！！
少子化、財政の問題、学校の老朽化の問題あるので、再編は仕方ないにしても、一体型の学校なのか、統廃合をして現行の小中学校とするのか、地域と話をしながらすすめていきたい（私も住民として当事者として）と役所の方にもすすめていただきたいと思います。
令和4年度のアンケートはだれに何人の人にしたのでしょくか？もう一回やり直してほしい！！
説明会で担当の方が白紙の部分が多いと言われている中での再編は、危険であると思う。→十分に議論してメリットデメリットを把握した上で進めるべき。←不安に思う。
市民のことを考えた説明会や原案とは思えない。
地域住民の理解も必要であり、令和4年に小学校の生徒と先生にアンケートを取っただけで、地域で十分な説明会がないまま計画案が発表されたことで反発も大きいと思います。市民全体にアンケートを取ったり、幼稚園に通う園児達にもアンケートを取ってほしかったです。
子どもの意見をしっかり聞いて欲しい
とても大事な説明会ですが、今日は子どもの授業参観、引き渡し訓練があり、午前も午後も説明会に出向くのが難しい状況にあります。これからの小学校、中学校がどうなっていくのか、とても興味があるので、説明会に参加したかったです。それなのに、学校行事と時間が重なっているのはとても残念で仕方がないです。このまま、参加できぬまま、原案通りに計画が進められるのは大変遺憾に思います。どうぞ、市民の声、子どもたちの声、保護者の声を傾聴いただき、慎重に進めていただきたいと思います。
質問に対して回答がなされていない。例えば多度学園についてはすでに登下校の時間等、具体的に数字がでていて当然だと思うが、全てのことにおいて「皆様のご意見を今後きいて…」「これから検討して…」という解答ばかりなのに、計画ありき、で進めていく姿勢について、不信がつのりました。
とても良く考えられていると思います。 説明が聞けて安心しました。

自由意見（意見）
多度学園のように10年掛かるのはどうかと思う。多分反対意見のせいだと思う。そのあたりをなんとか上手くやっていると掛かる年数が減ると思う。 桑名の人は怖いですね。でも皆、将来子どもの達の為に考えている事なので（多分）なんとか市には頑張ってもらいたい。 区分けとかはあまりわからないが一貫校を良いと思う。私立が出来ているのだから。
まずはもっと計画を練り直してもう一度説明会を開いて下さい。
反対・疑問に思う市民の思いは想定されていたと思いますが、それに対し、答える思いを持たず一方的にお伝えされている様にも感じました。 計画に変更はあっても中止はないとおっしゃった…それはこれから意見を聞いてからのことではないですか？ 変化に応じていくことは必要だと思います。しかし反対・疑問の声を納得させるだけのものを持って伝えてほしいと思っています。ふろしき広げすぎ！？とも感じます。
もっと地域、小学校、中学校へ説明する必要がある。今の計画は唐突すぎる。
「計画策定の配慮」1～4について詳細な検討内容と結果（方針と計画）が示されていない。
順位とは地域からの声と言われますが、子供の声を聞かれた事があるのでしょうか（現在の子供もこの問題は関心があるのか） 私たちが聞かせてもらっても、計画から10年かかって開校となる時間があり力にはなれないと思いますので、今後PTAさん中心に説明はされますか？ 住民住民と言われますが、歳を重ねてくる方々で高齢社会の中でどうすすめられていくのかまちづくりのあり方をもっと考えてほしいです。まちづくりに頼られても困る部分もあります。反対ではありませんが、本当に子供達の事を考えてもらいたいと思います。
義務教育学校である多度学園の検証がされていない中で、義務教育学校と校種を決定するのは、早いと思います。 地域ごとに合った校種とし、小中一貫校型小学校・中学校として、小学校と中学校を残すことで、教員も確保でき、生徒一人ひとりにより沿った教育ができると考えております。 ご検討の程、よろしくお願いします。 義務教育学校である必要性（ビジョン）が明確にしめされていないのではないかと感じました。義務教育学校である必要はないと思います。
計画を策定する前に義務教育学校について理解する時間を確保するため、策定を少なくとも1年遅らせるべきだ。開校する多度学園を多くの市民に見学できるようにして、義務教育学校への理解を促すようにするべきだ。
建設は地域の要望があつてのことだと説明がありましたが本当に市の方から先行はしないのですね。
なぜ、小中一貫校なのかその必然性をきちんと説明してほしい。この説明動画ではその必然性がさっぱり感じられなかった。今回のアンケートや質問をもとに第二回説明会が必須だと思う。
説明内容に矛盾があるため理解に苦しんだ。
まだ叩き台ということで計画の具体性が全く見えず、賛成反対を語れるところまでの情報が説明会にはありませんでした。
計画への理解が深まりました。
わかりやすい資料でした。
ナレーションが早くて聞き取れないところがありました
再編の賛否は、まず、予算、建築計画のビジョンが見えないなかできないです。無駄な説明会でした。

自由意見（意見）
1 回聞いただけでは、全てを理解するのは難しかった。
背景と目標、現状と課題からの、学校再編成という流れは、概ね理解できましたが、そこから出た、基本方針に関して、なぜそんな方針になったのか。まっすぐ繋がりませんでした。また、説明会の会場を知ったとき、校区ごとにわけているとはいえ、小さすぎないか。と心配していましたが、半分もうまっておらず、この件に関して、市民の無関心さに驚きました。それとは別に、一般人ではない人(日頃から何か市政に口を出すような活動をしている人?)が多く、質疑も、そのような方に時間を取られたように感じました。私たち一般市民が手を上げにくい雰囲気になっていったと感じました。前日に説明会に参加した保護者から、ヤジがとんでいた。と、聞きました。子どもと一緒にいくなら、そういう雰囲気だったから、わかっていて行った方がいいかもしれない。と、心配し、連絡をくれました。まともに話も聞けない大人が混じっている会場に子どもたちを連れてくるわけにはいかないと思い、母親である私だけが参加しました。今、小中学校に通っている子どもたちは、再編の影響はあまり受けません。けれど、今の学校を一番よく知る子どもたちが、再編についてよく理解し、意見が言えたら、もっとよくなると思います。ルールを守れない大人が子どものそういう場を奪ってはいけません。実際に参加してみて、聞いていた通り、ヤジがありました。再編を進める市と、反対派との対立の場ではありません。今回は原案の説明会でした。今後また、何か説明会がある時は、子どもたちも参加できるような、会の雰囲気作りをお願いしたいです。学校では、人の話を聞く、話している時は静かに。挙手をして当てられたら発言する。他の子は遮らない。担任の先生から、そのようにご指導いただいております。1年生であっても守っています。それが学校の未来を考えて行く会で、守られていないということは、恥ずかしいことだと思います。ですから、挙手をせずに発言した女性議員さん(と、思われる方)に、きちんと注意してくださったことは、とても嬉しく思いました。その方は正しい意見であれば、ルールを守らず発言して良いと思っている、ご様子でしたが、その正しさとは、その方の思う正義であり、他者には関係ありません。今後も、ルールを守らない発言に関しては毅然とした態度でいていただきたいと思います。私は最後尾に座っていましたが、後ろの壁の方にいる方々の私語も目立っていて、マイクを使っている方の声でも聞きづらいことがありました。数人お子さんも出席されていましたが、その子達の方がとてもお行儀良く参加されておりました。その点だけ見れば、大人数の中で教育を受けてきた今の大人よりも、少子化の中で、1クラスもしくは2クラスなど小さな集団で教育を受けている子どもたちの方が社会性がある。と思います。
現状についても、実際の児童や保護者、教職員の聞き取り結果などなく、机上やデータの話だったのでリアルさがなかったです。予算などについても、でておらず、桑名市の計画の甘さなどを感じて、理解できるものではありません。
配布資料学校再編の必要性のアンケート結果表について。「積極的に学校再編を進めるべき」という回答数の方に色付けされているが、「現行の学校配置を維持するべき」という方が各回答者とも高い。なのに「進めるべき」の方に色付けし、1番%の高かった「やむを得ない」と合わせて、学校再編に市民も賛成している方が多いと錯覚させる資料づくりとなっており、恣意的であり悪意を感じる。計画、結果ありきで進めているということがよく現れている説明会であった。
子供達のための小中一貫校とは、全く思いませんでした。未来を切り拓く生きる力の育成が大人数の中で、どうしたら育まれるのか謎でしかないし、頂いた資料も、中味がなく本当にがっかりしました。これでは、子育てを掲げている桑名に何の魅力があるのか全く分かりません。
説明会の際、反対意見が多数出ましたが、それに対する解答が全く納得できるものではありませんでした。小中一貫校を原案通りに必ず作るのだという結論ありきで絞り出した解答でした。ほぼ全ての意見が反対意見だったのにも関わらず、このままこの計画を推し進めていくのであれば、今後の市長選で現市長に投票することはできません。
どなたが言っていた様に、資料の数字が信用できない。資料作成時に、地元の能力のある人を入れるべきだ。
質疑応答の答えが毎回欲しい答えになっていないです。
YOUTUBE で流している動画を冒頭に流す時間がもったいない。

自由意見（意見）
あっさりしていて熱意が伝わらない。 くわしくてよくわかった。資料の提示や説明がサクサクすすんでいくので理解が追いつかないところもあった。説明しているところを棒などでさし示してくださるとありがたい。特にグラフや表のところ、新しい学校配置案フローと配置について、もっとくわしく説明していただきたいかった。
論理的な説明が無い。
説明に使われている数字が信頼できない。都合のよい数字だけが使用されているので計画にあていしない。「よろしむべし、知らしむべからず」ではダメ。やり直し。
もっと何回も市民に説明してほしい。市民に目を向けて！！国の方針も無視できないのは分かるけど。
上っただけで何も AI の声は耳に入っていない！笑えてきました。
説明する方、もごもご話さないでハッキリ話してほしい。真ん中の方。
市民にもっと早く伝え、各地域の住民にくわしく説明すべきだと思います。それにしてもこんな短期間に歴史ある桑名市の教育を破壊するような案には絶対に許せないと思います。
質問に対する回答の後に、再度質問をさせてくれない。質問する人を選んでいる様で、内容の薄い質問タイムになってガッカリしました。老朽化による再編の必要性は理解しますが、それ以外の3つの必要性は理解できない。制限時間をもうけずに質疑応答させてほしかった。
背景や目的と、小中一貫校でしか解決できないという説明が、全然理解できなかった。現体制でできないなら校舎を作ってもできないことを説明に入れるのは混乱を招くだけ。人数も 600－1000 人に収まっていない学校の方が多い。
今後もう少し説明が必要だと思う。
質問と回答のマッチしていない点がありすぎる。
子育て世代に土日のみの説明会に参加は難しい。どのような人へ向けた会なのか、もう一度考えていただきたい。
拡張の可能性について説明不足。
質問した内容に充分に答えられていない。 質問の内容がきちんと反映されるのか心配だ。
質問の手があがっているにも拘らず途中で（時間で）切られてしまい、とことん聞けなかった為。
流ちょうな説明すぎてあまり頭に入っていない。
人口減少をくいとめるため市のとっている予算はどうなるのか。それとの相関関係がわからないグラフ。小規模校の新築なら、同一敷地内に可能。アンケート結果は、質問の仕方や資料の提示が不当。
すべて説明は理解できたが、内容は論理的に破綻していると思いました。
いろんな課題があり、今日の質疑応答でも明確に答えてない中でおしすすめていくのは、納得できない。
反対派の人たちの圧力が強く、純粋に質問が出来る雰囲気ではありませんでした。未来を考えれば、今の施設を維持できないことは目に見えているのに、反対することが理解できません。次回こういった説明会を開かれる場合には、反対派の人の過度な意思表示の拍手等は制限してもらいたいです。賛成の意見を持っている人もいるのに、声の大きい人たちの意見が多数派のようにとられるのは、大変不愉快です。
場所がはっきり分からないのに、進めて欲しいなんて言えないです。

自由意見（意見）
今の小中学校と幼稚園、保育園全ての場所での説明会が必要だと思う。知らなかった、聞いてないという方がいる中で進める計画ではないと思います。説明会ではどんなに反対意見があっても、このまま計画が進んでいってしまうのかなという強引さを感じてとても不安です。うちの子どもは伊曽島小へ通っていました。少人数の地域で子どもと先生、地域の方が密接な関わりを持って過ごしているところです。先生が全校生徒の児童の名前を知っていて、地域交流も盛んで子どもは見守ってもらえてるという安心感がありました。小中一貫校になると先生や地域の方との関わりが希薄になったり、多い人数での行事が大変だったり、子どもの逃げ場がない、先生の負担が増える…などデメリットのほうが大きいように思います。再編計画を進めようとするばかりではなくて、もっと慎重に色んな方の意見を聞いてから取り組んでください。あの説明会はただただ不安になるばかりで、小中学校再編計画がいいものとは思えませんでした。司会の方も高圧的で不快でした。
小学校区の説明会を希望します。
基本的には計画に賛同の立場であるため速やかに進めていただきたい。その他、質疑応答で長々と意見を述べるような人に対しては司会の方が制していただけるとよかった。
今日の説明会では理解するには時間が足りない。 もっと小学校区単位で、疑問については納得いくまで十分時間をかけて頂きたい。
説明が不十分すぎると思います。
コンセンサスが全くない、質問時間もない、にげるな！
この説明会では不十分。
もっと時間がほしい。手を挙げている人がたくさんいる！！
マイクを通すので聴き取りにくかった。
再編は地域の合意がなされたところから進めるべきです。定期的な丁寧な説明が小学校区ごとに必要と考えます。
個人的にわかりやすかったが、今回の説明会が今後のスタートになれば良いと思いました。
もう少し詳細な内容が計画されたらまた説明会を開催してほしいです。
年度中に案を固めず、もう少し慎重に市民、職員、子供の意見を聞いて欲しい。小中一貫校がゆえに、将来、桑名に住む人も減るかもしれない。小学校、中学校ごとに保護者向けに説明会をして欲しい。地区ならではの保護者の意見を反映してほしい。多度でも何度も議論したなら、各地で市政がやってほしい。
本日の担当者は現場の先生が入っていなかったですが、次回の説明会では先生を複数入れていただいて実際先生たちが小中一貫校の必要性についてどのように考えているのかを直接伺いたいです。深谷地区でもぜひ説明会を開催してください。（以前希望があればとおっしゃっていたが希望はあります。自治会に説明して終わりではなく住民全員対象の説明会で直接意見を聞いてほしい。）
今後の説明会では、子どもたちが参加しても、こわくない環境づくりをお願いします。
説明会の質疑応答の内容と、アンケートで出た意見は、選別せずすべてホームページなどで公開をお願いします。
説明会のやり方がビデオを見せてから質疑応答で質問しにくい上に時間も十分でない。住民に真摯に説明するならビデオでなく担当者がスライドを一枚ずつ説明しながら随時質問を受け付けるべき。当然時間はかかるが重要な事案なので4-5時間ほどは時間を取るべき。それから小学校ごとに説明会を設けるべきです。さらには教育の話だけではなく地域社会全体の問題としてできるだけ多くの参加者を募るべきで最後はきちんと住民投票を行なってほしい。
言いたいことは解りましたが、標が見にくいことが配られた資料には感じました。AIに頼らず、職員、上下関係で交流して話し合っって皆さんで案を出し合っってください。

自由意見（意見）
説明会の場では明らかに子供達のことを思ってではなさそうな非難や圧力、野次なども多く、矢面に立っている職員さん達はさぞ心労が多かろうと思いました。質疑応答の際に、「辛い思いをする人がないよう」「子供達を真ん中に」との意見をおっしゃっている方がいましたが、本当にその通りだと思いました。どうぞ個人で抱え込まないよう、桑名市の未来に関わること、市全体で取り組んで頂けますようお願いいたします。
説明会に参加した方の大半が年配の方であった。今回の説明会はターゲットをどこに定めたものであったのか。参加者を高齢者が占めれば反対意見が出るのは容易に想像出来たことであろう。高齢者から反対意見をもって適当に返答をして終わりか？的外れな質問をするのも高齢者。高齢者の文句言い放題の会にしか思えなかった。日程をいくつかに分けて開催しているが、今回の計画は当事者である子供達やその親である子育て世代をもっと巻き込まなくてはいけないのではないだろうか。参加しなかったのであれば良いが、仕事や家庭の都合で参加出来なかったという方にはどう説明や質疑応答を行うのか。そもそも私は広報で今回の説明会を知ったが、それ以外ではどのように説明会をPRしていたのか。若年層の参加が少なかったのはPRが不足していたのではないか。
説明をどこまですれば良いかは大変難しいとは思いますが、重要な部分が抜けているように思いました。協力していこうと思っていてでさえ、誘導されているように感じてしまいました。
外野が市役所の資料や説明に野次が多くて当事者が質問できない。学校またはオンラインで、学校に通っている子どもがいる、またはこれから通う予定のある両親（祖父母は両親がいない状況のみ、仕事は抜きで病気や死亡等のみ）だけの説明会を開いてください。当事者以外の声も必要なことはもちろんわかっていますが、正直揚げ足取りのように感じて参加する意義がなかったです。当事者への説明とその他町民への説明は分けて改めて説明会の開催を希望します。個人としては、生徒数や教師数で教育に差が出るならば、再編はありがたいと思っています。
市長がやりたいのなら、市長本人が来て説明するべきだ。やる気の感じられない職員の説明では、聞いているだけで腹が立つ。
説明会を小学校の運動会の日に充てる時点で誠意も何も無い。変更をお願いしたが、却下された。
説明会で「多くの市民が反対しても廃止になることは無い(修正・変更のみ)」との桑名市からの回答。市民のための市が言う言葉じゃない。頭固すぎて狂ってる。
質問したかったのにできなかった。 小学校区での説明会を要望します！
出来ればもっと例えば小学校区毎に開催していただきたい。
修徳小学校区の者です。本日は運動会で、保護者の出席ができる状態ではありませんでした。小学校区での説明会を開催し、地域の意見も含め計画をして下さい。
各小学校区でもう一度しっかり説明会をしてほしい。 今日の説明は納得できない。
要望がなくても説明をつくせ、と思います。
質疑応答にまともに答えないのは、誠実性に欠けると思う。
弱い！！市の運用費削減の為です、と言えはいいのに→言えないと思うけど、、、
何のかくしょうもないのに進めますという風に聞こえますが。
地域・教育のあり方を大きく変えようとする説明会であるのになぜ市長が出席しないのか！市長が出席すべき。
各小学校区毎に説明会を2～4階程度開催すべき！

自由意見（意見）
今回の参加者をみて、子どもの親や PTA の参加が少ないと感じました。もちろん、今の子どもたちでなく、10 年後の子どもたちが影響の出ることなので、関係ないのかもしれませんが、それなら、各中学校で説明会を開く方が良いと思うし、今の子どもたちの親を対象に意見を聞いて計画に入れていきたいと思うのであれば、PTA の集りで説明を行った方が良いと思います。 それと初手としての説明会であること、もう少しにつまんでからの説明会、最終的な説明会など、工程で説明される方が、余計な意見がなくなるのではないかと思います。 今は賛成、反対をする場でないのに、反対集会の形になっていますので、今回はここまで、次回はこのことをもっと深掘りして説明しますと言った方が良いと思います。多度学園の検証を行ってから再度説明会を開く方が良いと思います。もちろん検証には時間がかかりますが、途中経過で良いので、整理して計画に入れて第 2 回目の説明会とされてはいかがでしょうか？通学の問題ももう少し具体的に第 2 回目の説明会には入れて欲しいと思います。
少子化、老朽化の問題は全国同じ。 他県の良い方法を研究して、できるところから手をつけていくこと。 今回の原案はキョクタンすぎる！ ホームページなんかよむ人少しですよ 時間みじかすぎ！！にげるな！！
正直に言って、いろいろな意見を聞いて、いろんな視点、経験、思いなどがあり、立場によって違ってくると思います。なので、絶対に 1 つにまとめる事は出来ない大きな問題を感じました。今の自分のとぼしい知識では、賛成ともそうでないとも言えません。すみません。 ただひとつ思ったのは、来場なさっている人が高齢の方が多く思いました。絶対的に自分の子供がかかわってくるだろう人達の参加が少ないのはなぜ？と思いました。
説明の話すスピードが早すぎてつぎつぎと言われてもついていくのが無理です。もっとゆっくりと生の声で説明してほしいです。
小学校区単位で説明会
まとめ方や設置の場所について少し疑問の残る説明会でした。 今日来たくても来られなかったり、小さい子がいて説明会を遠慮されたりした人もいないので、出来れば校区単位で学校の体育館などでの説明会だとみんな来やすいかなと思いました。その方が実際その年令に当たりそうな子に聞いてもらえるんじゃないかな、と。今日はありがとうございました。
各小学校の体育館で説明会をきちんと開くべきです。
再編の背景はよく理解できた。
質問者の多くは否定的な意見が多かったが、子供が少なくなっている現実を考えれば、今までと同じ方法ではしりすばみになることを心配する。今回のようにソフト内容をもっと説明した方が良いと思う。
小学校区でもっと説明会を開くべきだと思う。
貴重なご説明会の開催ありがとうございました。また事実、データに基いた小中学校の再編計画の策定ありがとうございます。参加者の皆様からのご意見も貴重なものであり、大人になってから桑名市に住んでいる自分としては勉強になりました。 全体としては、理屈を踏まえた計画の立案・進行をお願いしつつも、市民の“感情”に寄り添った姿勢を今後も維持いただければと思います。我々市民としては、市民の視点で見える意見を伝え、民主的に物事が進行されるよう務めるべきだと考えております。「少子化」「施設老朽化」「時代の流れへの対応」という骨太の議題に題する代替案も合わせて意見交換することで穿設的に進めていければと思います。 個人的には「桑名市の税収」「財務会計資料」「小中一貫校のメリット事例、デメリット事例」「小中一貫校遂行費用」以上を基に、スピード感を再検討できればと思います。初めて説明会に参加させていただきましたが、情報が足りず判断がつきませんでした。今後とも子ども達や市民の継続的な笑顔のため、ご尽力いただければと思います。

自由意見（意見）
再編計画を今年度末までに策定するという計画には反対です。 計画の策定までにまず各小学校区で説明会を実施し、その意見を反映させた計画を策定してほしいと思います。各小学校区での説明会、強く希望します。
聞いていて結果ありきで市民の意見を聴こうとしない姿勢がよくわかった。
遠方の学校に通うことになる子供の通学手段やどの学校が、いつから等の具体的な話が全く今日は聞けなかったのは残念です。
小学校単位での意見公聴会を必ず開くべきです。分散進学の問題や、跡地利用は単位小学校区の問題です。
各小学校、中学校でも説明会をしてほしい。自治会等に参加していない方は情報を知らないので子供さんが通われている学校で説明会を行って下さい。（小4のお子さんをお持ちの方が知らなかった） 小中一貫ではなく小学校の統合も有りと思います。 もっと市民の声を聞くべき！！
こんな大切な問題でまだまだ質問がいっぱいあったのに打ち切りとはひどい。
小学校単位での説明会をして下さい。
時間を決めるべきでない。やはり、計画に自信がないのだろう
前のページに書きました。反対の人が多く様に思いました。その人達の方が声が大きいです。あまり高齢者が声高に意見を言い過ぎない方がいいと思います。わかいめの女性の発言があったのは良かったです。
説明会は何度でもおこなってほしいです。 今回の説明会もたとえば益世地区から一番近いメディアライブの説明会でも学区外で歩いて行けるとは言えないので学区別に行ってほしいです。説明は同じ内容がAIによってなので何回でも同じ事が出来ると思います。昼間の説明会で働いているこれからお子さんが学校へ入る親は説明会に来れない人もいるので夜の部も行ったらと思います。
計画原案はこれからの子どもたちに対して最善の教育環境を提供したいとの思いや理念があつてのものだということを感じることができました。 計画には関係ありませんが、質問者の声に対して、それ以外の方からの不規則発言が飛びかったのは大変残念でした。もっと「将来の子どもたちにとってよりよい環境をどう準備するのか」という視点で冷静な意見交換ができるといいのにと思いました。 事務局の皆様、ありがとうございました。
「説明会をしました」で了解を得たと考えないでください。広く住民に知らせ、話し合いの時間を十分にとってほしい。
再編計画を進めるための数合わせのような説明には納得できません。
この計画案に関わりをもって進めている市の職員は、自分の信念・プライドをしっかりと取り組んでいると、命をかけて取り組んでいると、言えますか。将来、自分がかかわったと堂々と言えるように対応してほしいと願っています。説明会の応答の態度でもっと堂々と答えてほしかった。
桑名の児童・生徒達に対して、どのような教育環境を提供すべきなのかといった観点が、原案の中にあるといいと思いました。
3月21日に市から小中学校再編計画が突然発表され、説明会をえて来年3月に計画を正式に策定するとしている。これにむけて市民の声を聞くとしているが、説明会は説明30分質疑60分として質問があっても時間ですと打切る。この点で小学校での説明会を行うことが必要と思う。
もっと時間をとり、質問をとりあげてほしい。

自由意見（意見）
小中一貫校設立ありきの説明会だったと思います。教師のやりがい、質の向上につながる事を先ず優先、子どもの環境を先ず優先。 地域の住民がここに住んで子育てができて良かったと思える事を先ず優先 その際にどの様に桑名の教育の場を描いていくかが見えてくると思いますが…
もっと身近な小学校区ごとに説明会を開き、父兄の意見を聴くべきだ。
丁寧な説明でよく理解できた。 反対される人はどのように説明しても結局反対するんだろうなと感じた。 先週の説明会では反対する市民議員が扇動して反対派の集会の様相を呈していたと聞いた。今回は、その動きはほぼなかったのが良かったが、反対する人の演説はいらない。この再編計画についてのみの質問に限ってもよかったのではないかな。 早く進めるべきだと強く感じた。 説明者の方、おつかれ様でした。
以前新聞に出ていた学校再編計画についての講演会でのつくば市の例のデメリットなどを調査して、なぜデメリットが目立つようになったのか、今後は増やさない方針転換した背景をきちんと調べた上で、そのデメリットがあっても行う必要があるのか、他の方法はないのか、いいところを取って、今のやり方を残せないのか検討してもらいたいです。小中を一貫にすることのメリットが交流ができる、教職員の連携協力、などがありますが、一貫にせずともできることで、デメリットよりも優先すべきことなのか、一貫校の方が校舎が1つで予算を少なく老朽化に対して対応できるためならばその背景も伝えてもらいたいです。今までにたくさん調査して検討してきてもらって来ていることと思いますが、その経緯もすべて知りたいと思いましたので、今後示してもらいたいです。
私は大山田南小学校のまちづくり役員しているものですが、大山田南小というか松ノ木連合会自治会にも説明会をしていただくと有りがたいので、それも、出来たらよろしくお願いします。
再編計画、たいへんだと思いますが、がんばって下さい。
話にならないと考えます。科学的根拠のない計画、民意をねじ曲げて進めようとする計画に正当性はないと思います。
時間が足りなさすぎます。わかりにくいので、もう少し理解しやすいような話をして下さい。案は「義務教育学校ありき」の案です。 アンケート用紙を各人に配らなかったのは、意見表明権の無視です！！大山田では配られました。机がないとかwebでとか言われましたが、机は用意すればすみます！
5/31 午後の説明会に参加しました。動画とてもわかりやすかったです。担当の方の説明を聞いていて、再編の時期を知りたかった私としては、きちんと地域の声を聞いてから進めていただけたことがわかりました。だからいまの段階では時期を明言できないというのも理解しました。桑名市の担当の方は十分わかりやすく説明してくれたのに、桑名市議会の女性議員がやじを飛ばしたり、煽ったり、拍手をしたりして、話が聞こえず残念でした。品位のない議員は早く辞職してほしい。このような行為を議場で傍聴者がすることは、桑名市議会の傍聴規則で固く禁止されているはずなのに、自分は平然と地域説明会でそれをやるんだなとあっけにとられました。地域説明会では禁止されていないからやってもいいの？だめですよ。そのくらい大人ならわかります。今日子どもを連れて行こうか迷いましたが、あんな恥ずかしい議員（桑名市民の代表）を子どもに見せたくないだったので、連れて行かなくてよかった。だからいま定数削減しろと言われていたんだなと納得しました。今日の説明会ではこういった議員の煽りが怖くて言えませんでした。私はこの原案に賛成です。早く光風小中一貫校をやってほしいです。
小学校単位で説明会を開いて欲しい。
再編計画(原案)に関する意見とは別に、今回の説明会の目的が良く理解できなかった。市としては何をゴールにしているのか、計画原案をただ伝える機会なのか、市民からの意見を募るにしても、そのあとどう進めるのか。目的と今後のロードマップを明確にしてください。
また、多度学園開校後、数年経過後の成果と課題を反映したところの計画案を策定したほうが良いと思う。

自由意見（意見）
まずは、先行的に設置された多度学園を数年間かけて着実に運営し、その中で得られた成果や課題を丁寧に検証したうえで、将来的な方向性についてあらためて慎重に議論していただきたいと思います。十分な検証もないまま、すべての学校の統合を急ぐような現在の進め方には、率直に申しまして、強い疑念を禁じ得ません。
多度が開校し、子供たちにどのような反応などあるのか検証してからでも遅くはないです。多額の税負担も未代までのもの。考え直して下さい。必ずです。
小中義務教育一貫校という計画について こどもの教育、育成の意義を説明されていましたが、子供の意見や教職員へのアンケート、専門家の意見を事前に集めることもなく説明会が設けられることから少子化や老朽化の問題から箱物を作ることが目的なのだなと思いました。超マンモス校になり、小学生と中学生という歳の離れた子供たちが関わり合う授業になるなら、カリキュラムが現場では激変するだろうに、教職員のすることは今まで通りかわりませんというなら同じ場所に集めて授業を受けてるだけになると思います。新しい取り組みをしないといけなければ先達の多度学園の現場の課題について子供たちのために取り組んでほしいです。
説明会をもって合意形成を行うとあるが、こんな説明で合意できる訳がない！莫大な予算、多度学園の検証もしないまま進める方針に納得できない。
説明会原案としては理解しているが、この計画通りで良いのかは別。特に義務教育学校については、アンケート、事前説明も無く、多度学園の開校前なのに、それありきの原案はムリすぎる。
大反対です！もういいかげんにしてください！！多度校も未だ開校されておらず小中一貫の検証もされていないうち、この計画はないと思います。とりあえず保留で！予算的にも桑名は厳しい。このつけは市民の税金ですか？駅前開発（病院・駅）など問題多発、不満まるけ、失敗ではないのですか！
多度学園が発足してもいないのに、全市一斉小中一貫義務教育学校を押しつけようとするのはよくない。
多度学園の結果が出ていないのに、計画を進めるべきではない。
最近の中日新聞において、ある市では再編を進めたがいろいろな問題が出てきたので、一度立ち止まり見なおすと出ていました。多度学園の様子を見てからでも遅くはないのでは。
説明に具対性がなく小中一貫校になったらどうなるかもっと話しあいをしてから決めてほしい多度の状況をみてから考えてもおそくはない。
小中一貫は反対です。光風地区ですが今まででよい大きくなればなるほど子供本人がとまどう、ゆっくりできない。少ないところでゆっくりのびのびしてほしい。多度だけでもまだわかっていないのにおうぼうすぎる。
一定の集団規模は必要だと思うが、規模が大きすぎると感じます。望ましい学校規模をこえている。 多度学園の開校して9年たってから、問題点を洗い出してから考えてもおそくないと思う。会社も同じだが大規模になると目がいきとどかない。
多度学園の開校後にしっかりと問題点を公表し、検証してほしい。
今後数十年にわたり、何万人もの子どもたちの人生に関わる重要な判断を、机上の計算だけで進めるのは、あまりにも拙速かつ危ういと申し上げざるを得ません。まずは、先行的に設置された多度学園を数年間かけて着実に運営し、その中で得られた成果や課題を丁寧に検証したうえで、将来的な方向性についてあらためて慎重に議論していただきたいと思います。十分な検証もないまま、すべての学校の統合を急ぐような現在の進め方には、率直に申しまして、容認致しかねます。
多度学園の状況が分からない状況で、計画ありきで進んでいる状況で、自分の校区を優先してほしいとは思えません。住民、児童、保護者、教職員と話し合いをした上ですすめていただきたいです。
まずは多度学園の検証、その後しっかりと協議を経て、方針を決めていくべきである。
多度学園の検証が先だ。

自由意見（意見）
まだ多度学園がはじまっていないため、不安が先に立ってしまう。
現在進めている多度での状況を確認して、桑名市全体の計画を見直すのが良いと思う。
今のままの取り組みで、成果があがっている点と、多度学園の開校後の状況を知り、課題、メリット、デメリットをきちんと確認してから進める方が安心だから。
他の方の意見にもありましたが、多度学園の例もまだわからないので、急いだ学校再編をすることが不安です。
多度学園がベースになるとと思いますが、小中一貫校の計画が市として変更なしであれば、多度との温度差があってはいけないと思います。
多度学園に注目して行きます。
多度学園の開校を待って欲しい。まだわからないことが多いので不安な方が多いと思う。現場で日々、子どもに関わる中で、メリットも沢山あると思っています。多度でも期待している人もいるので、そういった不安を感じている方へ市の思いがうまく伝わってほしいです。
最初は小中学校一貫校には賛成していましたが、発表された一貫校区の人数の多さに驚き戸惑いを感じました。つくば市で行われた小中一貫校で不登校児が急増したと聞き、メリットもあるがデメリットも大きいと思います。不登校児が多くなっていると聞くのに、大規模校になったら益々、先生の目が行き届かなくなるし、ついていけない子供達は学校にも行けなくなるのではないかと感じますし、その分、先生方の負担も大きくなると思います。それに今まで行われてきた小学校区単位での地域の活動もなくなってしまう事は非常に残念に感じ子育てしやすい桑名市ではなくなってしまうのではないかと考えます。つくば市での検証で教育上のメリットはほとんどないとの結果が出たのであれば、そのデメリットを踏まえて今後の事を考えないといけないのではないかと思います。まずは多度学園の小中一貫校が開始されてからメリットデメリットを見極めて、そしてつくば市の事例も見た上で総合的に判断してからそれから他校についてもどうしていくべきか考えても決して遅くはないと思います。地域説明会で終わらせるのではなく、生徒、保護者、住民の意見をよく聞いて十分な議論が行われてから教育改革を行って頂きたいです。
再編の必要性につきましては、概ね理解はいたしましたが再編におけるデメリットに対しての策があげられていない点がひっかかっております。バス通学になった場合の維持費等はどのように確保されるのでしょうか。小学校、中学校においての授業時間が異なるかと思いますが、それによる両生徒への負担はないのでしょうか。多度学園がまだ完成しておらず、その結果を待たずに他校も再編に踏み出すのはあまりに無謀のように感じられます。
今後数十年にわたり、何万人もの子どもたちの人生に関わる重要な判断を、机上の計算だけで進めるのは、あまりにも拙速かつ危ういと申し上げざるを得ません。まずは、先行的に設置された多度学園を数年間かけて着実に運営し、その中で得られた成果や課題を丁寧に検証したうえで、将来的な方向性についてあらためて慎重に議論していただきたいと思います。十分な検証もないまま、すべての学校の統合を急ぐような現在の進め方には、率直に申しまして、強い疑念を禁じ得ません。
多度の経過を見て、慎重に判断をしてほしい。
多度学園が始まってからの状況を聞き取りした上ですすめるべき。
学校は、ある程度の規模があるからこそできることもあると思います。子供達と先生方が、落ち着いて関係を作っていけるような再編計画になるといいなと思います。一所懸命子供達のことを考えてくれている先生方がいます。負担が軽減され、教育に集中できる環境が整うことが、子供達の安心にも繋がると思います。働き続けられる環境でなければ、新しいなり手もやってきません。賛否両論様々な意見を交わすことは重要ですし、多度で実際に稼働してみても軌道修正をフットワーク軽く取り入れられるような計画案であってほしいです。
最低でも、多度を6年間見てから決定して欲しい。学校の修復費や子どもの多様性とやら正論言う前に、実際の健全な精神を大切にしたい。

自由意見（意見）
少子化、老朽化から効率化しなければならないことは明確です。多度学園が開校され、問題点が明らかになってくると思います。それを隠さずオープンにし、ひとつひとつ解決していくことが皆さまの心配を解消することになると思います。時間をかけてゆっくりと試行錯誤しながら子どもたちの安心・安全の確保を一番に考えていただきたいと思います。
早急すぎる。（せめて 100 年経てからで良い） 日本の他の地域を観てから考えるで良い。
大事な問題で在良小なくなり明正中から正和中となりますが大きな計画案のため理解し賛同していきたいですが、多度学園の良さを大事にコツコツ子ども自身のため、父兄の理解を求めてすすめて下さい。 出来上がったら良かった、幸せな環境で幸せだとなる様に願っております。参加は大変参考になりました。
全体を通して、市内全域で小・中学校再編計画を進めていく必要があるのかどうかという回答には結びついていなくて、話が飛躍している印象は無くならず、残念でした。少なくとも多度学園の検証を丁寧にしてから進めるべきと感じた。
学校跡地の利活用について地域防災を考えると各小中校の校舎や校庭は罹災者や救援活動上必要不可欠な設備であり、有効な跡地活用を求めます。 まずは多度地区の実情を検証した上で改めて再編について市民の意見を改めて聞く必要があると思います。
小中一貫教育への優越を感じる説明であったが、実際に行われている地域のデータをもっと例としてあげてほしい。もっとデータを集めて、評価をしてからでも遅くない。 学力的なデータ、地域がら平穏な子どもばかりでないこどもも多い所もあるが、その状況を日常的に見せたくないのに、小学生を同校舎で学ばせるメリットの大きさを感じ得ない。
多度学園の検証を少なくとも 3 年は行ってから、全市的に検討すればよい。
多度学園が開校しておらずの時に全体計画は早すぎる。実証して意見を集めてからで良いのでは。小中一貫を作りたい為に予想人数などを作ったようにみえる
多度の小中一貫校のようすをみてから又考えていったらいいと思います。
抽象的なメリットのお話ばかりで現実的な具体的な説明、内容が聞きたい。仮に計画を進めるにあたって通学路の安全性、手段をきちっと確保した話もするべきではないか。気候変動も事業も進める理由とするならば通学距離が長くなればそこに不安を感じざるをえない。 多度の事業（学園開校）を見守って判断したい。 ごうまんな計画遂行は市民の不安や懸念をまねくだけです。
多度の結果を 10 年ぐらいみてから他の地区も再編した方がいいんじゃないの？他の県では良い結果が得られたかもしれないが、桑名で成功するとは限らない。あと 30 年以内に南海トラフ地震が来るかも…と言っているのに 1 号線より東側に新しい学校を建てるのはアホやと思います。考え直しなよ。近くに避難できる学校がなくなるのは困る、と思っているお年寄りはいいかも。小学 1 年生でいじめられたら 9 年間ずっといじめられる可能性もあるんよね。やで、違う中学校を選べるとかできないと不登校が増えると思う。 少人数で運営しないと学校ほうかいしている学校多いので生徒数多くなることに心配しかない。
多度学園の経過をふまえて改めて考えて行ってほしい。 明正の人数が増えすぎて正和中ができた世代です。8 クラスあって何十年ぶりの同窓会ではじめましての人が半数近くいました。9 学年の大人数では人との関わりがうすくなるのでは？
多度の開校から何年か検当していただいてそれから市内の学校をどうするかという事でも遅くはないと思う。 あくまで「子供にとってどうなのか？」というところで考えてほしい。

自由意見（意見）
多度学園を設立される経緯を見守ってきました。来年開校をひかえ、これが桑名市にあたえる影響は何だろうと注視したいと思っています。その矢先桑名市学校再編計画の話を知り、驚きました。計画を急ぎすぎではありませんか？ 少子高齢化で子どもの数が減少しているのは感じているので、これから先再編されていくのは仕方がないと理解しています。また、この説明会で、建物の老朽化で防災にあった時、守れる状態ではないこと、AI教育を進めていくために設備が必要なことも新たに理解させていただきました。 しかし、再編計画事体を今、作り上げることは急だと感じています。また、施設一体型の9年間の学校には反対です。幼・小・中・高の保護者を経て、節目というのはすごく成長するものだと感じるからです。子どもを取りまく社会情勢がどんどん変化する中、より良い教育環境を考えていただき、ありがとうございます。計画を立てれば、実行するだけです。多度学園の結果をふまえた計画をお願いしたいと思います。
多度の結果を検証してから、他学区の計画をたてるべきと考えます。早急すぎると考えます。伊藤市長のいつもの実績づくりとしか思えません。
桑名市全体で一斉にすすめていくには納得いく理由が得られませんでした。 多度のモデル校の様子を見てからでないと賛成はできません。 逆にどうしてモデル校の実態がないままこの計画をそんなに急いでいるのか教えてほしいです。
多度学園は開校までなぜ10年かかった。
多度学園建設にあたって、問題、課題があって、地域の人の理解度をどうクリアしたのか、Q&Aでのせて欲しい。
R45をそうしていると思うのですが、多度学園のケースで、テストしてからでも考えるのは、おそくないと思います。
来年度に子供たちが多度学園に入学し、卒業するまで、9年間の経験を得てから、他の学校にも利点があるのかないかをデータ化し、それから他も再編してもいいのではないかと？それまでは人数の少ない小学校のみ統合して、2～3クラスにしてもよいのでは？
多度を最低4年は検証して、その後問題点を洗い出して進めて下さい。
来春から運用の多度を見てからもう一度考えて。
多度学園がまだ施行されていない中、全市に広げることを見切り発車だと思う。最低でも6年間、発達に配慮が必要な子ども含めて、健全に子どもが育つ環境なのかどうか、現実に出てくる課題も含めて、慎重に検討を進める必要があると思う。
多度のことを考えて結果が出てから必要な地域をはじめていけばよいと思う
多度学園が来年4月に開校予定ですが、これまでにさまざまな問題点があり十分に解決されないままの開校と思う。この多度学園の検証を数年してから考えるべきだ。
来年開校する多度学園の内容を2～3年検討し、メリットデメリットを明らかにし、デメリットを改善して先へ進んでも良いのでは。何をそんなに急ぐ必要があるのですか。
多度学園のスタートしてからの状況を見てから小中学校の統合をしていっても十分に待に合うのかと思います。又、小1年生から中学3年生全員が義務教育にする意味は、少しわかりにくいと思います。
小中一貫校を失敗と断ずる自治体がある中、新たに再編する際、小中一貫校（施設一体型）を検討するのは、あり得ないと思います。多度学園の結果が出てからならまだしも。
多度地区で進めたことによって何がみえたのか？メリット、デメリットがあったはずではないか？子供達の話にしているが、桑名市の予算がなく校舎建設するのに費用が必要となり国から補助をもらうために進めていくと説明が必要ではないか。とにかく地域のせつめいをしっかりとしてもらいたい。
大人になれば社会に出るため他の所へ行くことは教育してほしい。

自由意見（意見）
原案は中断し、多度学園を10年ぐらいいは、児童・生徒の学力、心理的発達を検証し地域からの統廃合の要望があれば、地域ごとに話し合い合意を得て進めるべきです。調べる内容は①9年間4・3・2制、②チーム担任制、③低学年からの教科担任制、④各学年の学力と心理的成長、⑤バス通学の子どもに及ぼす影響、⑥社会スポーツ団体への影響、⑦跡地利用が地域・子ども達に与える長期的影響、⑧小中学校とも45分の授業にすることの学力への影響など
計画が進むのならば、現在小中学校に関わりの深い市民だけでなく、これから関わりが深くなる未就学児に関わる市民に向けても、もっと周知を図り、意見を求めた方がいいと思います。
まだ「案」が出されている、くらいにしか受け取ることが出来ません。説明会を開いたからそれでよし、ではなく、その後の経過も随時市民も把握できるようにしていただきたいです。そうしないと、ただ不安です。
この再編計画(大枠)が決まったら、大和地区と深谷地区はバス通学になるのか、どうやって安全性を確保していくのかなど、やることはきっと山ほどあります。人の足を引っ張ることが仕事であると思われても無理はない議員たちの行為に左右されず、早く計画を決定し、進めていってほしい。説明会ありがとうございました。
計画は大変ですがよくなるように。
桑名市の将来を展望し、国がもっと動くべき。
代替地の実現可能性についてふみこんだ内容を知りたい。
精義（宮のたまいし校名）、立教（桑名藩藩校）などの伝統が絶たれる。 桑名市民としてのプライドが成長には必要。
住民の理解、合意、大変ですががんばって下さい。
桑名市近郊の市町村の対応が分からない。（今回の説明会にはない）
同居の子供がいないので実感がありません。
理解はできましたが、賛同はできません。新しい建物をつくることに力がそそがれているようで、ムダに、市税が使われるようで不信感が多い。教育の制度や現場の教員の働き方の改革をすすめる方が先。
市が定義する基準に達しているため。
校舎が市内では1番新しい校舎のため。
自治会にやわらかな対応を求める。
教育も大切ですが他にも大切な議案があり、バランス良い市政を期待しています。
文化の消滅「立教」。
我田引水はダメ。
大変だと思いますが平等・公平性を持って下さい。
現在進行中。
集約化はすばらしいの一边倒に聞こえたが一気に着手できないと思うので着工時差による利益享受は不平等にならないように配慮してもらいたい。
市民の意見を全く聞こうとしていない。あまりにひどい。
桑名全体のことを考えてください。
長島からいろいろなものがなくなり、けずられ、住みにくいまちになっています。市長さんに、長島のことを考えていただき、具体的な方策を示してほしい。

自由意見（意見）
人口が減る中、未来に誰がどのように維持するのかを考えてもらいたいです。
多度より遅れた理由を明確化して、公表すべき。
説明会の内容は理解できたが、自分の居住地で今すぐ再編計画が必要かと問われれば、わからない。
財源と工期と生徒数をみて、計画全体の実現可能性を探っていくことが大切だと考えます。
新学校の名称は新たなものにすべきと思う。（多度学園はすでに決定されていると思うが）小学校でも中学校でもない小中一貫の新学校にふさわしい校名を考えるべきかと思う。 再編の取組みは困難であると思うが、これまでの進捗に、あらためて敬意を表したいです。様々な意見のある中、原案としてまとめたご苦労を思うとき、今後は挫折することなく、方向性だけは変えずに進めて行ってほしい。
説明会おつかれ様でした。
今年度から桑名市では「こどもの権利条例」が制定されました。この条例は国連「こどもの権利条約」の理念を基にして作られたものです。日本は国連子どもの権利委員会から「インクルーシブ教育」の実施について長年勧告を受けています。「桑名市こどもの権利条例」第3条の特に大切なものとして保障されなければならない権利として、(1)差別されない権利が挙げられています。 桑名市の小中一貫教育にはインクルーシブ教育への対応が全く入っておらず健常児のみを対象にした学校のように思われます。 桑名市こどもの権利条例、差別されない権利とはどのような子どもでも自分が望む生き方、臨む教育が受けられることでもあります。その視点を新しい学校に入れていくのかどうかをうかがいたいです。また、議員立法で作られた条例ですが、議員の方がこの点について何も疑問に思わないことにも大いに失望しています。
2枚目となりますが裏面があることを知らなかったので書かせて頂きます。 市の計画はわかりましたが、別の案、考えもきいて頂きたい。
市の理想はわかりますが、現状むつかしいと思う。
ハード面だけ先行していて、ソフト（情緒）が無視されている。
大きな建物をたてただけな感じ。
教育の問題 行政の問題 別物。
市民は反対多数ですが、この意見に向き合って欲しいと思います。
経済が一番にきていると思います。未来をになう子どもたちの健やかな育ちを望みます。
モンスターペアレント対策をもっとされてもよいかと思います。桑名市は先がけてカスハラ条例もできましたし、度を越えたモンスターペアレントには警察との連携など先生方を守ってもらいたいです。
学校再編の正和校区は、町屋川に関する貴重な効果を有する歴史的にも文化的にも特長のある地区です。現在、行政もメディアも河川法の都合により員弁川の名称が全流域に適用されていますが…最北の七和から最南（？）の正和まで町屋川の名称で統合される校歌は、新しい学校が作られる際にも学区内の総意として是非尊重していただきたいものと思います。 AI校歌により町屋川が葬り去られることはないと思うが、AIに町屋川の風は認識できるのか。
桑名市の方針を直接聞きたくて参加させていただきました。個人的には丁寧な説明だと思いました。声を大きく意見する方もいましたし、罵声に聞こえる内容もあり、しんどい時間でした。まずは、自分たちの課題として考えていきたいと思いました。本日はありがとうございました。
地域の合意が必要な為、時間がかかるし、あき学校の利用も並行して考えなければならない。

自由意見（意見）
新規校舎の建設費用を算出する時期を教えてください。本日時点では不明との事ですが、予算不明の計画を了承できる訳がありません。
建て替えともなれば先立つものへの不安がある。全国的にインフラの整備投資も必要な時期。長い目で見た計画とはいえ、色々なことを見誤らないでいただきたいです。
財政計画の持続可能性と透明性について 新しい学校の建設には莫大な費用がかかります。その負担が未来の市民サービスを圧迫する事態は避けなければなりません。懸念点:長期的な財政負担（市債の償還など）の全体像が不明確です。既存校舎の改修を続けた場合とのコスト比較が、市民に分かりやすく提示されていません。将来の人口減少や経済変動による税収減のリスクが、計画に十分に織り込まれているか懸念があります。市への要望:複数の財政シミュレーション（今後の税収変動リスクを考慮した楽観・悲観シナリオなど）を、図やグラフを用いて市民に分かりやすく公開してください。
子どもにとって良い環境になると思う。工事の際に予算をかけすぎないようにすることも大切だと思う。
まだ具体的には決まってないのですが予算についても教えてもらえるとありがたいです。
規模が規模なので仮の条件でも良いので費用感の提示は必須だと思います。
是々非々で議論を進めて頂ければと思いますが、今回の様に丁寧なコミュニケーションをお願いします。 現存との予算比較も具体的な数値を教えてください。実際、今のままの運営でお金は問題ないのでしょうか。問題なければ今のままでもよいと思ったりもします。 問題の提示がぼんやりしている様に感じました。予算（お金）の話をもっと聞きたいです。
今回の計画と今の編成の建替での予算の比較がないのはおかしい
金額を出してください。修正の金額と再編の金額、どちらが市としてメリットあるのか？ どうせ出してこないと思いますが。
桑名市の財政が破綻する。行政は有利な補助制度、起債（借金）、交付金の活用というだろうが、光風中ブロックであれば約 200 億～300 億円必要となる。その他も 100 億～200 億円必要となる。
子供の数が減っていくことで、学校の数減らすことを最優先にせず、学校の給食費を無償化するなど、他の面でお金を使うことも考えていただきたい。
建設費を出来るだけ細かく、何に（目的は）いくらかかるのかを見える化しないと投資に対する効果の理解が出来ません。
全市内の小中を一貫にすると、財源はあるのか？という不安はある。
桑名市の財源が足りるのか心配です。
コストについても試算があるのであれば、説明入れてほしいと思いました。
子どもたちによりよい教育を現状の場所でできたらと思います。低予算で小さい学校も、これから先の社会で有意義だと思います。建替時期を一度やり過ごし、次の次の建替時期頃に、ようやく結果が見えてくるのでは、と思います。

自由意見（意見）
私は愛知県から長島へ引っ越し、この地域の利便性の良さ、ほどほどの田舎さ、地域の人々の良さに大変満足をしています。桑名市の移住促進政策の成果により移住者が増え地域の人口が維持されること、それに伴い、地域唯一の住民が集まることができる小学校が維持されることを期待しています。小学校がなくなっても、学校跡地が利用できるようにするとお考えになると思います。小学校が地域の人にとって利便性のよい場所にあり、何かのついでにと言えるような立地であれば何かと利用するだろうということが想像できます。しかし、立地もイマイチ、思い入れのある方が減るにつれ、小学校に集まる人も減り、地域のコミュニティーもコミュニティー拠点も消滅することは想像に難くありません。長島北部では地域の方々が地域の子どものために祭りや、田植えなど色々な事を企画実行して、地域の特色を活かして地域全体で子育てしているという事を実感します。特に長島北部のように地域内に地域の人が集まる拠点が小学校しかない地域においては小学校の廃校が地域コミュニティーの消滅につながるため統廃合計画の見直しをお願いします。多度地区の地域アンケートなど資料を読みました。アンケートを書いた人の意見が全てではないことは承知しておりますが、多くの方々の意見が行政の行いに反映されているかと言うと全く反映されていないと言っても過言なのではないのでしょうか。既に青写真が出来上がっている学校再編計画に対しても、地域の意見を聞く姿勢は見せるものの、行政と一部の方の想いで計画された事を粛々と実行していくのでしょうか。少し話が逸れますが三重県の移住促進フェアにも参加して地域への移住者を取り組む自治体の活動もいくつかみました。特に桑名市は名古屋圏に隣接し、通勤通学にはとても便利で生活しやすく、多度や長島、桑部のようにほどほどに便利な田舎もあります。移住促進のやり方をブラッシュアップし、地域を魅力的にアピールすれば、地域の人口を増やすことができる可能性を秘めた三重県内では数少ない自治体の一つだと実感しています。多度地区の新しい取り組みの成果もわからないうちに、性急にことを進めるべきではないと思います。何もやらずに無駄に時間を過ごすことはできないので、今は地域内への移住促進に本腰を入れ地域の活性化、人口増を目指してほしいです。
もう少し考えて行動すべきである。地域の状況をもっと考えるべき。
現状、データの場所、数値が無さすぎて納得が出来ない。人口がへるので学校へらす、学校修理金かかる、進めたい、それだけ。 先生も忙しい、働き方改かくの1つ、負担をへらす。
今、2才の子がおり、今現在西小が1クラスしかないの、視野が狭くなり、友達が増えない、色々な人がある、という経験ができないことよりは、人数が多い方がいいと思っています。ただ、他県での公立での小中一貫の実績がわからないので、他のロールモデルがあり、うまく行っている実例を知りたいと思いました。それと、5年後に子供が1年生になり、西小は全校89人、他校は2~300人なので、その隔差はうめてほしいと思いました。
反対です。必要がないと思うからです。今のままでいいです。絶対に白紙にして欲しい。
納得いかないことばかり。もうすでにコンサルで2000万も使っていると聞いています。市民の税金をだだくさに使わないで下さい。学校再編何を重きにおくのか、子供の健やかな成長！と考えた時にもっと先に考えることはありますよね。給食、充実した教育、良き教育。この計画は金だけの利権が絡んでいるとしか思えない
本田忠勝の町割以来の「桑名」の大変革である。400年の歴史を数えれば、多度・長島・大山地地区の様にこの改革に向いている地区をのぞいて、旧桑名市内の中学校の合併で十分である。
減らすことは簡単ですが増やすことはなかなか難しいと思います。場所がないといわれていましたが、場所は探せばあると思います。 まず生活していくのに住みやすい町にして欲しいです。人が集まる市にして欲しいです。再編はもう一度考えて欲しいです。深谷の調整区域の解除をまず行って欲しいです。
計画策定にあたり配慮すべきJ校を後まわしにするな。 ただ人数合せの計画案を示してはいけない。
計画作成の際にもっと想像力を働かせてほしい。想定質問を考えて資料や計画を作ってください。もう少し優秀な人材にハンドリングさせた方がいいと思いました。 下男説明で市民側とわかり合えないようなやり方しかできない人たちにはこのプロジェクトはやり切れません。自分のために市民のためにもできないと上司に相談してみよう。

自由意見（意見）
先生方には説明もせず、桑名はすごいことしてると他に（誰に？）自慢したいだけの計画ですね。アンケートとレジメにありますますが答えたことありません。市役所を学校に変えるのは許せないです。赤須賀はバスもなくなってどうやって山の上まで行きたいときに移動するのでしょうか。今の東小の規模でも先生はバタバタしているとのこと。大規模でどうやって子どもみれますか。先生にきてください。学校見学行かれたことありますか？→精義のママこまっています。ごぞんじですか？教育長が子どものこと考えてないのでびっくり。残念です。
私は生まれ・育ちは大成・成徳地区ですが、昨年に七和地区に一軒家を買ひ、引っ越してきたものです。20代女性で、現在は夫婦で住んでおります。昨日七和地区の説明会に参加いたしました。率直な感想と、要望をお送りいたします。・感想 私ども夫婦は、家建てる計画を進める際に、桑名市、四日市市、菰野町、東員町などの土地を検討しました。その結果小学校が近くて通いやすいという理由もあって、七和地区に土地を買ひ、家を建てました。そのため、10年後には七和小学校が無くなってしまう可能性があるというのは、正直とてもショックでした。将来的には子どもを持ちたいと考えてはいますが、子育てへの不安が大きくなりました。桑名市で子育てしたいと思える人が、減ってしまうのではないかと感じます。小さい小学生のうちから、遠いところに通うということは、やはり心配だと思います。小規模学級がよくないとありましたが、小規模・大規模、どちらにもメリット・デメリットは存在しております。子どもたちは吸収力が高く、環境が変わっても順応できると思います。もちろん、教員の方々や家族の心のサポートが不可欠ではあります。そもそもの大前提として、クラスの人数が多い、少ないに関わらず、教員の方々の指導の質を向上していただくことを切に願っております。また、分散進学がよくないというような理由も出ておりました。私は小学校から中学校に上がる際、分散進学でした。特にそれが悪いと感じたことはなく、別れがあれば新たな出会いがあり、そこでまた新しい人間関係が築くことができました。分散進学であろうとなかろうと、進学するにあたって心の負担は少なからずあると思いますので、分散進学をそこまで注視する必要はないと感じます。
再編計画に反対です。
40年後ともなると、子供の居ない私にはピンとこないが、これからの在り方を市が考えていることは理解した。これからを担う子どもたちにとって、そして居住する者にとって、よい方向へ向かうのなら悪くはないとも思える。が、両手を上げて賛成だとは思っていない。
小中一貫校になることにたいしては反対ではありません。今ある中学とほぼ変わらない場所に新しく建てることも理解できます。
概ね理解できるが、明正中卒業生として、明正中がなくなってしまうのは残念。一番古い中学校であり、親子3世代通ったものとして思い入れがある。
回答の仕方がわかりません！市側の説明は理解します。ですが、理解したので『納得』『賛成』ではありません。
再編計画、反対です！
配慮すべき事項等について、これからとのことですが、住民としては関心が高く、知りたいところだと思います。
全く理解できない。比較的少人数でも、地域の方の目は行き届くし、子ども達や保護者同士の間人間関係もうまくいっている。「多様性」の言葉ばかり並べ、馬鹿の一つ覚えのようなことばかり言っていないで、もっと市民の意見を聞くべきである。
原案ということもあると思いますが、具体的な計画がないと判断出来ない。
もう少し具体的に各論に進んだ際に意見が持てると思います。
理由は納得できないことが理解できた。（赤字で囲んで「重要である」と記載）
アンケートの実施方法はHPにあるとのことだが、配布資料にも明示するべきだと思う。
理解できたことが賛成となりません。
新しい家族が増える対策を先に考えて欲しいです。

自由意見（意見）
すみません、全て理解できませんでした。なぜなら、根拠がなく説明になっていないと感じたからです。もう一度公平な視点で根拠のある計画案を作り直して頂きたいです。
説明は理解できたが納得はまだ。
小中再編の説明は理解できた。
理解はできたが OK とは言えない。
予算削減ありきの、再編ありきの説明で全く理解できない。ひとつの学級の生徒数が減って何がダメ？小中の子供たちの環境、意識がちがうのに統合はデメリット。区割も、今のコミュニティの分断を招くとしか思えない。コミュニティの理解は得られていない。あまりにも早急すぎ。
学校の今後の維持は人口減少で難しくなっていて、水道光熱費や人件費の維持が人口に対してムダになると市の財政的にキビしいと思うので、再編は良いと思います。
計画については理解できました。
全く話にならんよ！
市の意見をおしつけている。行政の姿勢が悪い。
市がこの再編を課題としていることはよく理解できる。50 年先にも子どもたちが満足できる施設をお願いしたい。
内容は理解したもの、全体的に反対です。メリットよりデメリットの方が大きく感じるため。また案を提示する前に、検討すべき内容が全く考えていない中で提示されても賛成できないですね。
学校再編計画策定にあたり配慮すべき事項 1～4 について内容が薄く、計画不足で理解できなかった。もっと詳しく、細かいところまではっきり示すべき内容だと思う。
原案段階としての内容は概ね理解できました。
アンケートは、現在の学校配置を維持するために知恵を出すことを選択肢に含まず回答できない。
R6 年生まれの息子が居ますので、実施するなら 1 年生になるまでに進めて頂きたい。
まずは様子を見てからでないとどうなるか心配です。
小中一貫校化に反対です。
必要性は理解できました。
再編そのものに待った！です。
現時点でも学校は十分に古く、子どもたちが快適な環境で学べるよう、早く再編を進めていただきたいと思います。友人の子で、イジメの加害者と同じクラスの間、学校に通うことが出来ず、クラス替えでようやく学校に行けるようになった子を知っています。たくさんの子供と触れ合うという点はもちろんですが、そういった場合の配慮からも、クラス替えが出来ることは、とても大切だと思います。また、学校の先生が忙しすぎて、子どもたちのケアに十分時間をかけられていないのではないかと感じる事がよくあります。再編されれば、先生たちの数にも少し余裕が出来て、子どもたちにその分寄り添ってもらえるのではないかと期待しています。
内容がまだ理解出来ていない為。
原案に反対のため。
課題が多すぎる・財力・時期・教育レベルの低下。（いじめ含む）
”自分の所を優先に”ではなく、市が優先する順で大丈夫です。

自由意見（意見）
無意味だと思う。
年中の子どもがいるので、一貫校建設するならなるべく新しい施設で通ってほしい。
全く思わない。
子どもの人数ではない！！問題は！！教師や教育委員会に問題あり！！
再編を早くして欲しいとは思っていないのですが、施設や設備の老朽化で子ども達が不便な思いをし続けるのはちょっとかわいそうだな…とは思っているので、少子化に伴い再編が必要なのは分かりますので、市民の意見を取り入れて進めて欲しいなと思いました。
いつ、どのようになるかわからないし、見通しもわからないのでいつでも大丈夫です。
義務教育学校は余りにもリスク多し、デメリットだらけ。 他の市町村は充分計画立てている。急ぐな 市が亡びる！！
どちらかという今ストップして、再編計画をみなおしてほしい。
附属中学校見たって小学校、中学校は別々で良い。
小学校と中学校は別であるべき。
益生小・明正中は桑名市で一番すばらしい学校です。絶対無くしてはいけません。
益世小、明正中地区ですが、計画をやめてほしい！
詳細な計画がなければ判断できない。
自分の子供たちを通わせたいと思えない。
小中一貫校建設自体反対。
外国人優遇ばかりせずその予算を市民に（子育て世帯や困きゅうしているお年寄り）あてて下さい！子育てに手厚くなれば、子供も増えて明るい町になるのでは。お金かけるところが完全に間違ってる！民意がしっかり反映された町に！市民が喜ぶ町になれば、人口も増えますよ！大阪の泉大津市、見習ってください！
少人数校区であるので是非実施してほしい。
将来を見据えても、小中一貫校にする必要性を全く感じない。
考え直すべきだと思う。
陵成中学校の築年数が43年となっており、再編と合わせた中学校の新設は早急に必要な事業であると考えため。更に古い施設の新設は待ったなしの取組みだと考えます。
少子化を考えればやむをえない。（消極的賛成）
計画に納得ができないから。
子育て支援に力を入れて人口を増やす様に努力してほしい。
大前定から真実に基づいていない再編計画については進めるべきでない。
義務教育学校に反対です。今ある小学校・中学校のトイレなどを改修してください。
全て白紙に戻し、じっくり時間をかけて検討して再提案すべきである。市民や子どもの意見が全く反映されていないものだと感じた。
光風中学校近くの旧桑名市役所を小学校として利用するという案は進んでいるのでしょうか（たしかニュースで見ました）実現されるといいなと思っております。

自由意見（意見）
自分が小学校から住んでいる地域(益生⇒明正)に今も住んでいて、息子が自分と同じ学校に通えないのは寂しいですが、これからの社会を考えると必要なことと感じましたので是非とも早急に進めて頂きたいと思います。
再編成に断固反対します。
説明会の開催と、丁寧な質疑応答ありがとうございました。質問されている方々が、かなり強い調子で批判的に話されたので、驚きました。実際にお子さんがおられる、ステークホルダーの方々なのか、気になりました。丁寧なコミュニケーションは必要ですが、声の大きい一部の意見に流されないよう、こうしてwebなども用いながら、意見を拾う事は大切だと思います。校舎が古いのが心配ですし、新しいスタイルの学びが必要ですので、できる限り早く実現して欲しいです。一番気になるのは、いじめや学級崩壊などがなく、子供たちがのびのびと学び、成長、挑戦できる環境かどうかだと考えていますので、多難かと思いますが、桑名、社会の未来のために、何とか早く実現して下さい。また、再編前に、教育を改善できる部分はどんどん進めていただきたいと思います。市民も、役場の方々も協働して進めるスタンスが大切かと思っています。
再編計画原案には反対です。多度や長島地区に小中一貫を作ることにおいては人数面においての問題はさほどないのかなと思いますが、光風小中一貫校を筆頭に他の地域の再編の案に関しては予見される問題点が多すぎます。特に光風に関してはどう考えてもあまりに生徒を集約しすぎですし、深谷からは遠すぎます。そしてマンモス校の弊害で不利益を被るのは子供たちです。このままの原案で進んでしまうと子供たちが不幸になる未来が予測されるため、強く反対しています。もう少し子供たちの負担が少ない案を再考して頂きたいです。
在校生や保護者にアンケートを取ったそうだが、在校生やその保護者はこの学校再編が行われる頃には小中学校に通っていない。これから進学する予定がある未就学児の保護者にもアンケートを取って欲しい。少子化対策もしっかりやってほしい。桑名市は保育園の待機児童0を謳っているが、実際桑名駅近くの保育園は人気で入ることが難しい。自宅から保育園が遠いと始業時間に間に合わないため保育園を諦め、仕事を辞めるしかないと嘆く人もいる。希望の保育園に入れない人も多く中で子供や保護者に寄り添った施策ができているとは言い難いと個人的には感じている。小中学校の施設の老朽化は感じているので、建て替えで対応できないのか再検討してほしい。
大規模化することのメリットもあるとは思いますが、弊害のほうが大きいと思います。計画には反対します。次の市議選では計画に反対の議員が多数派となるように SNS を中心に運動します。
桑名市の将来の教育、子ども達の未来のため、本計画を推進していただきたいと思います。説明会では反対の声も多くありましたが、そもそも賛成の人はわざわざ説明会に足を運んで賛成の声を上げることは少ないと思いますので、一部の声の大きな市民の意見で桑名市の未来が歪められることのないよう、よろしくお願いいたします。
全体的な方向としては特に問題ないと思います。将来世代への負担がなるべく少なくなる様にしてもらいたいと思うので、今後の説明会では数字的な裏付けを示していただければありがたいと思います。説明会の質疑応答ですが、計画に反対していると思われる方々の言葉使いや野次が気になるというより不愉快でした。小さなお子さんも来ていた様なので、最初にこの様な言動は控える様に言っても良いかなと思いました。いろいろ大変だと思いますが、これからの子供達の為に頑張ってもらえれば嬉しく思います。
先日、反対派が多いようでしたが、私は子供を持つ親として1日でも早くすすめてほしいです。少人数でよく見てもらえると言うメリットもありそうですが、集団行動のできる子になって欲しいのでクラス替えのあるような学校へ行かせてあげたい。気の合う子がいない。
私は、小学校は親から離れての初めての社会性を学ぶ為に小さな単位での学習する機会だと思うし中学校は一人前の大人に成長する為に小学校よりは、人数を増やしての義務教育の仕上げる3年間と思うので9年間の義務教育学校には、反対です。
大人数が苦手な子どもは不登校になる。時代を考え、無理にあつめなくてよいのでは。
桑名市は生まれ育った街で、自慢できる大好きな市だった。今回のことで幻滅しかない。残念すぎる…このままなら桑名を出ることも考えるし、知り合いにも桑名をおすすめできない。人口は集まらない。市長は目立つことばかりするが、負債を増やし、大山田ばかり優遇し、津波地区はないがしろなのかそんな心の無い人に今後一切現市長にも投票しない。

自由意見（意見）
小学校中学校の一貫には反対です。中学校と高校ならばだいぶ大きくなって自分で判断出来るようになっていくからまだいいですが。
ただちに中止！
この計画は無理だと思います。 子供のことを第1に考えてあげてください。（大人の考えですよ） 桑名市の学力が平均より上なのは塾のお陰かと思っています。
話にならない 論外
アンケートの質問等への回答は、HP ではなく広報への掲載を求めます。大切なことなので、ページ拡大等もご検討ください。
小中学校再編の必要は必要ではないと思う。小学校、中学校のままの方が良いと思う。小学校でも小6の子が小1の子の面倒を見るとし、中学校と一緒に必要はないと思う。お金もかかる。必要があるのか！！
義務教育学校導入ありきは見直すべきだと思います。
少子化が進む前提で再編計画を進められていますが、少子化が進まないような市でできる対策を進めることの方がよほど重要だと思います。
とにかく再編原案はストップ。
色々と意見は出るとは思いますが進めて下さい。どんな形であれ進めていかないと現実は待ってられないと思います。
「桑名市はこんなすてきな学校」ということを宣伝したいみたいですが、正直桑名から出たくなりました。名古屋出身ですがとても残念です。
ありよししょうがっこうをなくしたくない。
計画自体の再考が必要と強く感じた。次回市長選の論点となることまちがいないとも感じる。
原案の範囲が広すぎると思います。再編計画は反対です。
少子化による学校の統合と小中一貫校（義務教育学校）の推進は本来、別々で議論されるべきであると思います。
このように子どもが減ってしまわないようにもっと少子化対策に力を入れて下さい。
今ある問題に対応したいと言いつつ完成するのが不明である。その議論をしていることで、本質的に解決しないといけなく、今の問題があとまわしになり、無視される。5年後10年後は、今の児童・生徒は卒業していくし、保護者は保護者でなくなる。 もっと地域のことを考える気があるならば、市として少子化対策委力を入れるべき。教育委員会ならば義務教育よりも、幼稚園の幼保一元に力を入れて、少子化にとりくむことができる。
1クラス35人をベースとして再編が必要??→全く思いません。先生たちも決して効率よいと思っているとは思えない！⇒今すぐやめてほしい！
小中一貫校は反対です。 今の小学校を建て直して。小学校の合併は良いが、中学校との合べいは反対です
人口の推移 H27 年をピークに減少している中で必要だと思います。
話しにならない、小中一貫きまりじゃないか！！
小中一貫は願っていません。その小中一貫を進める出所はどこなのでしょう？市民が望んでいないと聞いたことがないです。突然でござります。

自由意見（意見）
私は桑名出身ではないので学校に特別な思い入れはありませんが、子どもたちは3人共に小中とお世話になりましたので大切だと思っています。先ほどアンケートにも記入しましたが、日進小の老朽化は私も気になります。安全安心な学びの場の提供は行政の仕事だと考えます。地域の皆さんのいろいろなお声もあるとは思いますが1日でも早く小中一貫校を進めてほしいです。多度学園で10年間かかったのであるならばなおさらです。 学校は地域コミュニティの場でもあります。跡地をどう利用していくのかここもまた重要な課題です。安易に売却するのではなく地域の皆さんの声を聞き、意見もとり入れていただきたいと思っています。陽和学区は浸水区域でもあります。南海トラフ地震などの大災害が発生した際にも足が不自由な方、高齢の方が高台に避難できない時の一時避難場所としての機能も充実していただきたいです。（新しい学校には） いろいろと課題もありますが陽和中義務教育学校が1日でも早く開校できることを願っています。
小中一貫再編計画に反対です。
反対意見もあるかと思いますが、施設管理コストも教員不足の問題もあり、統廃合は進めるべきだと思います。通学の問題、地域の理解、反対派の存在などありますが、課題はあってあたり前なので、是非頑張ってください。光陵中の話が出てきたら賛成します。
あり得ない。反対します。
新しい学校配置案が必要であることは理解できるも、地域によって人数規模の差が大きく、また多い地域では1000人弱にも及ぶことから、この配置案は再検討すべきと考えます。小学校と中学校を一貫校にする必要性については理解し難く、施設隣接型で良いのでは…。先生の異動もあり、9年間ずっと見る先生はいないのでは。児童生徒目線というより教職員の都合の良さの方が優先されているように感じます。 結局、多度学園の効果検証前に進めようとしているのは、地域を考えているというより、市側の諸々の都合にしか思えません。また、新しい学校配置案は、P10の不可能と記載された方法で建設すると回答しており、矛盾していると思います。 全体的に具体性に欠け、とても納得はできません。
児童が減少していること、教員不足、運営費の点からは再編には賛成です。ただ、小中一貫となると低学年と15才のほぼ大人が同じ場所で安全に生活を送ることができるのかが不安です。細かなことはこれから決めていかれると思いますが、理想論やいいとこどりだけではなく、現実的な課題や起こりうる問題、対策についてご検討頂きたいです。 あと、現代は学校だけでは子どものコントロールは不可能にも関わらず、子に無関心な親、全て学校に押しつけているような親も少なくないと思うので、学校の規模が大きくなる程、そういった家庭からの影響も増えるかと思います。とにかく子どもたちが安心・安全な環境で過ごせるよう、これからよろしくお願いします。
教員の免許の問題等、義務教育学校は問題ありすぎる まだまだ早すぎる！ 今ある地域の資源（学校）を大切にしてほしい。
現在の子どもの数に対して校舎の数が多すぎるので、全ての校舎を、子どもたちが快適に過ごせるようにメンテナンスし続けると、とても維持費がかかりすぎます。限られた予算の中で、現在の校舎をどうにか子どもたちが過ごせるようにメンテナンスするとなると、中途半端な、最低限のことしかできないと思うので、常に快適に過ごせる校舎を維持し続けられるように、早急に再編を進めるべきではないかと思っています。1つの学区を整備するだけでもとてもとても大変なことだと思いますが、未来を担う子どもたちにとって、安心して学べる環境が整備されることを願っています。 長島地区は、1人1人の要望の強さが大きくても、住民数が少なすぎて「要望の数」では勝てないと思います。整備時期が後まわしになるのではないかととても不安になりました。 一度に、一貫校を建てきってからスタートではなく、既存の建物が活かせる立地の校区であれば、それを活用しつつ、中身だけでもスタートさせていっても良いのではないかと、思いました。お金が足りません。校舎を建設する際に、地震や津波などの災害に強い立地を選ぶのもとても重要だと思いました。

自由意見（意見）
教育制度を、変える義務教育学校や再編をしないで下さい。 教育の関点で子どもにとっていい方向で今の子どもに施策を！学校施設は劣悪です。まずは、今の子どもを救って下さい。 再編反対。白紙撤回を求める
再編計画の理由に少子化があるが、もっと子育てがしやすい市政を行い、子どもをはじめ、人口増加をめざすべきです。
このアンケートの性別の「その他」とは何なのか？「答えたくない」とかそういう表現が適切ではないか。
計画も意味不明ですし、説明はもっとわかりません。1年ですべて済ませてしまおうというやり方も疑問しかありません。デメリットを説明する気もなく、年の軸が等間隔でないグラフを出すなど、市民をだましたいように思えてなりません。もっと誠実にやって下さい。
課題も多々あると思いますが、1日でも早く計画が実行に移るといいなと思います